

茨城の文化財

第59集（令和2年度）

茨城県教育委員会

序

豊かな自然と歴史に恵まれた郷土茨城には、有形・無形の貴重な文化財や自然の造形が数多くあります。長い歴史の中で育まれてきた文化財は、わが国の歴史、伝統、文化を正しく理解するために欠くことのできない国民的遺産であり、文化のさらなる向上発展の基礎となるものです。

平成 31 年 4 月の改正文化財保護法においては、地域における文化財の計画的な保存・活用の推進などが明記されているところであります。このような中、本県におきましても、令和 2 年 5 月に「茨城県文化財保存活用大綱」を策定し、文化財継承の担い手を確保し、社会全体で支えていく体制づくりや取り組みが円滑に進むよう、県内文化財の保存・活用の基本的な考え方や方針を示したところであります。

本書では、令和元・2 年度に指定された国指定文化財及び令和 2 年度に指定された県指定文化財等について収録するとともに、国・県指定及び国登録の文化財一覧表を掲載いたしました。

さらに、令和 2 年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要や令和元年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要なども収録いたしました。本書が多くの方々に活用され、文化財の保存・活用の一助となれば幸いです。

なお、令和 3 年 1 月に県指定文化財を焼失する火災が発生いたしました。文化財は、いったん滅失すれば再び回復することができないかけがえのない地域住民共有の財産です。今後もこれら貴重な文化財を後世に継承するため、文化財の所有者等におかれましては防火対策の一層の徹底をお願いするとともに、関係各位に対しましては、日常の維持管理につきまして御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の拡大により、先を見通せない不安な日常を強いられた中、本書の刊行にあたり御協力をいただきました茨城県文化財保護審議会委員をはじめ、関係市町村文化財主管課並びに文化財の所有者及び保護団体の皆様方に対して深く感謝申し上げます。

令和 3 年 3 月 31 日

茨城県教育委員会

教育長 小泉 元伸

例 言

1 本書は、文化財保護法の規定に基づき、令和元・2年度に史跡に指定された2件（うち1件は追加指定）、令和2年度に重要文化財に指定された2件、無形文化遺産保護条約政府間委員会においてユネスコ無形文化遺産代表一覧表に登録された「伝統建築工匠の技」1件及び茨城県文化財保護条例の規定に基づき、令和2年度に県指定文化財となった1件（追加指定）について、解説を収録したものである。

2 国・県指定文化財等総数は令和3年3月31日、市町村別指定文化財数は令和3年3月1日現在のものである。

3 茨城県文化財保護審議会委員は、次の各氏である。

会 長	糸 賀 茂 男
副会長	小野寺 淳
委 員	伊 藤 紫 織
委 員	串 田 紀代美
委 員	瀬 谷 貴 之
委 員	谷 口 陽 子
委 員	徳 丸 亞 木
委 員	日 塔 和 彦
委 員	藤 井 英二郎
委 員	藤 川 昌 樹
委 員	八 木 健 彦
委 員	山 田 利 博
委 員	山 本 隆 志

4 令和2年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要は、茨城県埋蔵文化財センター（いせきびあ茨城）運営方針及び令和2年12月までの事業実績をもとに編集したものである。

5 遺跡発掘調査報告は、令和元年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要を、市町村教育委員会、公益財団法人茨城県教育財団及び調査担当者が作成した埋蔵文化財発掘調査概要調査票に基づき、茨城県教育委員会が集約、編集したものである。

目 次

序

例 言

1	令和元・2年度に指定された国指定文化財	1
	(1) 国指定史跡 磯浜古墳群	3
	(2) 国指定重要文化財（歴史資料） 一橋徳川家関係資料	5
	(3) 国指定重要文化財（歴史資料） 長久保赤水関係資料	7
	(4) 国指定史跡 金田官衙遺跡（追加指定）	9
2	ユネスコ無形文化遺産代表一覧表に登録されたもの	11
	伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術—茅採取	13
3	令和2年度に指定された県指定文化財	15
	歴第9号 有形文化財（歴史資料）	
	色川三中関係史料（追加指定）	17
4	国・県指定文化財等一覧	21
	(1) 国・県指定文化財等総数	23
	(2) 国指定文化財等一覧	24
	(3) ユネスコ無形文化遺産一覧	36
	(4) 県指定文化財一覧	37
	(5) 国登録文化財一覧	66
5	市町村別指定文化財数	75
	令和2年度新規市町村指定文化財一覧	80
6	令和2年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要	81
7	令和元年度茨城県遺跡発掘調査報告	87

1 令和元・2年度に指定された 国指定文化財

(1) 国指定史跡

磯浜古墳群

指 定 日	令和2年3月10日
所 在 地	東茨城郡大洗町磯浜町2865-8ほか
面 積	12,690.8㎡
管 理 者	大洗町

磯浜古墳群は、那須岳山麓に源を發し太平洋に注ぎ込む那珂川の河口から南西約3km、太平洋に面して南北に細長い鹿島台地の北端近くに立地する古墳時代前期を中心とする古墳群である。全長100mを超える前方後円墳の日下ヶ塚ひさげづか（常陸鏡塚ひたちかがみづか）古墳、直径80mを超える規模をもつ円墳の車塚古墳くるまづかこふん、古墳時代前期前半の築造と考えられる前方後方墳の姫塚古墳をはじめとする6基の古墳からなる。常陸地域では霞ヶ浦や那珂川・久慈川下流部や河口付近といった内水面と太平洋との結節地点付近に大規模な前期前方後円墳が展開しており、磯浜古墳群もその一つである。

磯浜古墳群の最初の発掘調査は、昭和24年に國學院大學による日下ヶ塚古墳の発掘調査である。この調査により、埋葬施設は墳丘主軸と一致する方向の約8.95mの長大な粘土槨ねんどかくで、その内部から内行花文鏡ないこうかもん・変形四獣鏡へんけいしじゅうきょう各1面、石釧いしくしろ6点、勾玉5点、管玉23点、ガラス製小玉47点、大刀1点、鉄製農工具類24点、石製模造品46点、滑石製白玉3,989点、木製櫛10数枚などの約4,000点に及ぶ副葬品が出土した。墳形は佐紀陵山古墳さきみささぎやまこふんとの類似性が、石製模造品は富雄丸山古墳とみおまるやまこふんと構成や製作技術の類似性が指摘され、ヤマト政権との密接な関係が想定される関東の前期後葉の代表的な前方後円墳と考えられた。

この成果を受けて、茨城県は昭和29年に日下ヶ塚古墳と車塚古墳を県史跡に指定して保護を図った。その後、昭和40年以降周辺の宅地化が急速に進み、周濠部での宅地開発や墳丘の削平などが発生した。こうした状況を受けて、大洗町教育委員会は磯浜古墳群全体の保存を図るために、平成21年から24年にかけて測量調査及び発掘調査を実施した。その結果、磯浜古墳群は前期から中期初頭までの間、約300m四方の狭い範囲に6基の古墳が連綿と築造された可能性が高まった。

磯浜古墳群で最初に築造されたと考えられる姫塚古墳は、発掘調査着手以前は円墳と考えられていたが、調査の結果、墳長29.4mの周濠を備える前方後方墳であることが判明した。前方部が未発達な墳丘の形状や周濠内部から出土した小型丸底土器の特徴から、日下ヶ塚古墳よりも先行する前期前葉に築造されたと考えられる。

姫塚古墳築造後には、墳丘が削平されているため墳形、規模や時期などの詳細は不明であるものの五本松古墳や五本松下古墳が、続いて日下ヶ塚古墳の西側に位置する墳長60m前後の前方後円墳ぼちやのやまこふんの坊主山古墳などが築造されたと考えられる。

日下ヶ塚古墳は、墳丘の発掘調査により墳長が101.4mに及ぶ二段築成ちくせい以上の前方後円墳で、西側の急傾斜地を除き幅7.4～15.6mの周濠が巡ることが明らかとなった。墳丘斜面や周濠内から、長胴化した体部をもつ壺形埴輪や円筒埴輪が出土した。

車塚古墳は、直径88mの円墳で前期末から中期初頭の築造と考えられる。墳丘は、三段築成で斜面に

葺石、テラス面に敷石が認められる。墳頂部と各テラス面には球形の体部をもつ壺形埴輪、円筒埴輪や朝顔形埴輪が樹立されていた。また日下ヶ塚古墳と同様、西側の急斜面を除き幅16～20mの周濠が巡ることが明らかとなった。

磯浜古墳群は、前期前葉から中期初頭まで古墳の系譜が^{たど}辿れるとともに、葺石・埴輪をもたない前方後方墳の姫塚古墳、埴輪を有する大規模前方後円墳の日下ヶ塚古墳、葺石・埴輪を有する円墳の車塚古墳への変遷が確認できる。このことは、磯浜古墳群の首長層が古墳築造に係る新たな要素を受容したことを示し、地域における古墳文化の受容の実態を具体的に示している。このように磯浜古墳群は、ヤマト政権における東国経営の在り方のみならず、ヤマト政権と地域首長との関係性を知る上で重要な古墳群である。よって、史跡に指定し、保護を図ろうとするものである。

(文化庁文化財第二課「新指定の文化財―記念物―」『月刊文化財』令和2年2月号、第一法規より転載)



磯浜古墳群全景（北東より）

【写真提供：大洗町教育委員会】

(2) 国指定重要文化財（歴史資料）

ひとつばしとくがわ け かんけい しりょう 一橋徳川家関係資料

指 定 日	令和2年9月30日
所 在 地	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館保管
所 有 者	茨城県
制作時期	江戸時代

一 文書・記録類	4,017点	一 書画・典籍類	224点
一 器物類	460点	一 写真	14点

一橋徳川家は、8代将軍徳川吉宗の四男宗尹を家祖とし、10代茂栄の代に明治を迎えた。通称の一橋は江戸城一橋門内近くに屋敷を構えたことに由来し、田安・清水両徳川家と共に御三卿と称された。同家から11代将軍家斉、15代将軍慶喜が出た。

本資料群は、一橋徳川家の家臣団が完全に解体した明治3年（1870）以前に同家に伝来したことが明らかかなものを指定の対象とした。

文書・記録類では、まず朝廷が発給した位記・口宣案・宣旨等が授受された当時の形状でまとまって伝存し、同家の高い家格を示す文書として貴重である。ほかでは、日記・御用留類、家臣・領地関係、儀礼関係、家譜類などが質量ともにまとまって伝来する。これらは一橋家の家政や所領支配、または幕政への関与、将軍家や大名家との交際の実際をうかがうことができる史料群である。そのほか特徴的な文書として、2代治済自筆の文書がある。これらは「御書付」「御筆」と呼ばれた文書で、奉書紙を料紙とし、家老等へ宛てた下達文書である。家老等からの伺書に対し、了承の旨や別の指示を付札に書いて回答した文書とともに、同家の意思決定に、治済が（前）当主として参画した具体を伝える史料である。

書画・典籍類および器物類は、儀礼や行事の場で用いたり、調度として誂えられた道具類、歴代当主が教養や趣味として揮毫・書写・収集した作品などから構成される。器物類は刀剣、拵、武具、染織・装束、能面、漆工、金工、木竹工、陶磁器、印章類など多彩である。これらは、落款や銘文、付属品、または御道具帳類の記載内容などにより、各々の作品の由緒や同家の御道具となった過程をうかがえるものを多く含み、同家の文化を考える上で資料価値が高い。

写真は、いずれも幕末期のもので、アンブロタイプ1枚と鶏卵紙写真13枚である。前者は、「元治丑（1865）三月」と画像面にある徳川茂徳（茂栄）の半身像である。後者のうち12枚は将軍在任期間中を含む慶応2年（1866）から3年頃の徳川慶喜の姿を写したもので、同人の姿を如実に伝える江戸時代に遡る写真群として貴重である。

これらは、文書・記録類、器物類等が相俟って同家の歴史を明らかにし、御三卿研究上に唯一のまとまった資料といえ、江戸時代の政治史・文化史、古文書学等の研究上に価値が高い。

（文化庁文化財第一課「新指定の文化財—美術工芸品—」『月刊文化財』令和2年6月号、第一法規より転載）



文書・記録類（一部）

【写真提供：文化庁】



書跡「誠」

【写真提供：茨城県立歴史館】

(3) 国指定重要文化財（歴史資料）

ながく ほ せきすい かんけい しりょう 長久保赤水関係資料

指 定 日	令和2年9月30日
所 在 地	高萩市高萩8-1 高萩市歴史民俗資料館保管
所 有 者	高萩市
制作時期	江戸時代

一 地図・絵図類	84点	一 文書・記録類	279点
一 典籍類	274点	一 書画・器物類	56点

長久保赤水（1717～1801）は、水戸藩の学者で、水戸徳川家6代治保^{はるもり}の侍講を務め、『大日本史』地理志を執筆したほか、日本図、中国図、世界図の出版を行った。特に『改正日本輿地路程全図』^{かいせいにほんよちろていぜんず}（通称赤水図、安永9年（1780）初版、寛政3年（1791）再版）は、種々の文献を博搜することにより、当時において格段に正確な地形と、豊富な地名・路程を記載した地図で、赤水没後にも版を重ね、江戸時代中後期において最も社会に普及した日本地図として著名である。経緯度をあらわした方格線を記入して出版された地図としても注目される。また、中国の歴史地図を時代順に11枚連ねた『唐土歴代州郡沿革地図』^{とうどれきだいしゅうぐん}は、我が国で初めての中国歴史地図帳といえるもので、こちらも人気を博し、版を重ねた。

本資料群は、赤水の子孫にあたる複数の家に伝来した赤水手沢の一括資料である。

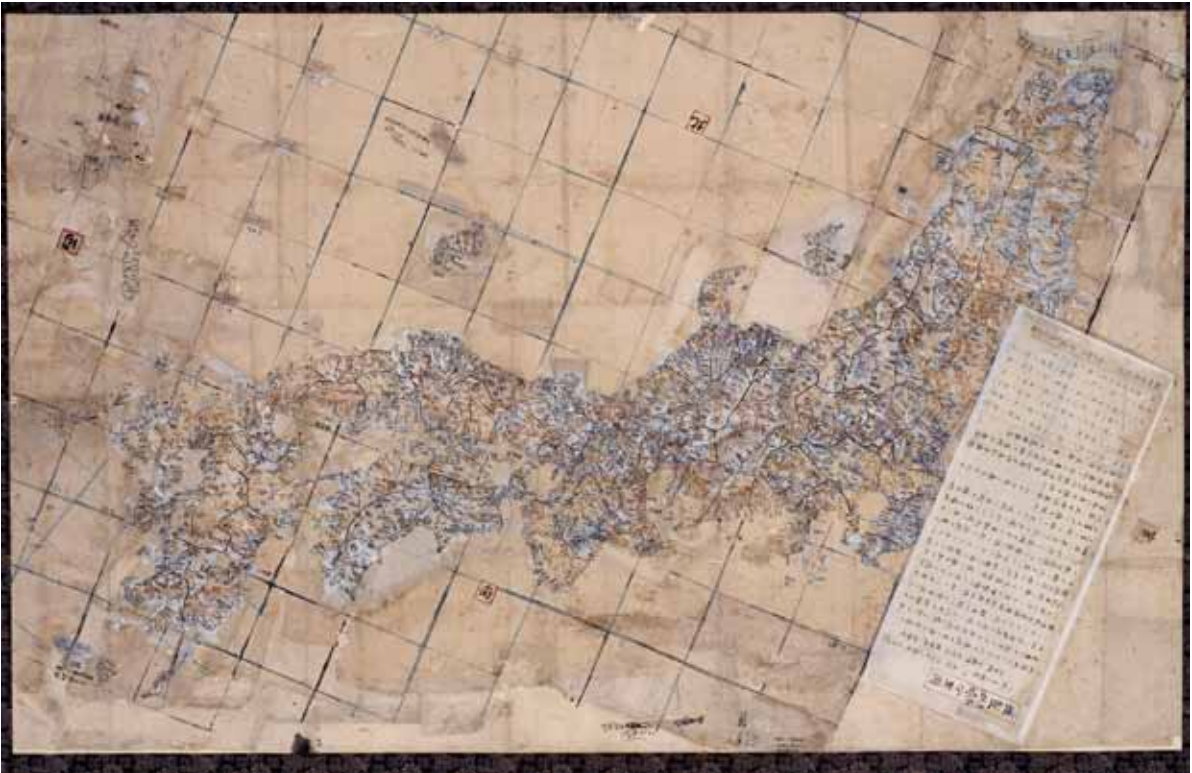
地図・絵図類は、日本図・中国図を中心とし、出版した地図の草稿類と、地理・歴史情報収集のために参考とした地図に大別される。草稿類では、明和5年（1768）の赤水の識語をもつ「改製日本分里図」^{かいせいにほんぶんりず}が最も注目される。本図は、訂正の貼紙が無数に貼付され、『改正日本輿地路程全図』の校正原図と位置づけられる。

文書・記録類は、著述稿本類や覚書類、書状類、文書類、漢詩文に大別される。著述稿本類や覚書類では、一部のみになるものの『大日本史』地理志の草稿や、地図制作のための地名や距離の書付、典籍からの抄出書などがある。書状類は、赤水書状と赤水宛書状である。前者は、子息に対し、郷土としての矜持や、奉公・勤勉・読書などの意義を教諭する内容が多いことが特徴である。後者は、史館総裁立原翠軒^{たち}や史館員藤田幽谷^{ゆうこく}をはじめとする水戸藩士や、木村蒹葭堂等諸国の文人からのものが残り、典籍や地図について情報交換を行っている様子をうかがうことができる。

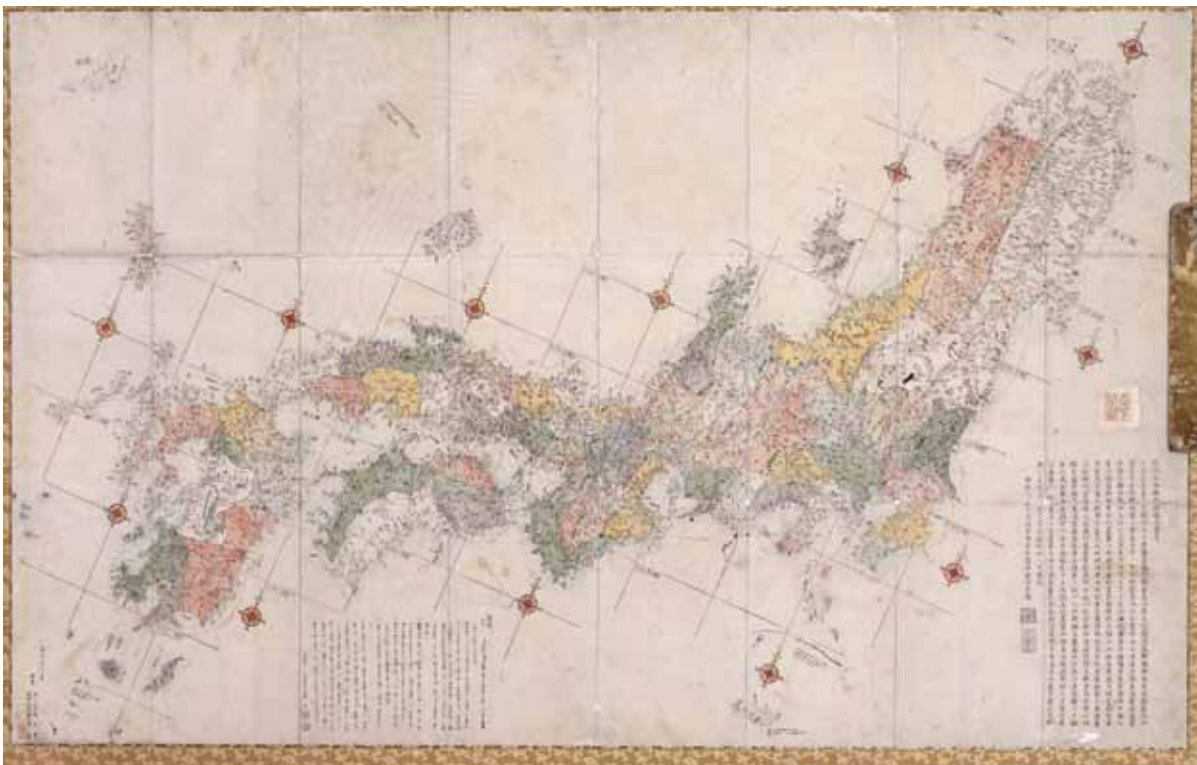
典籍類は、漢籍、和書から構成される。史書、地誌が多く、詩書や韻書、天文書も含まれる。赤水の注記、訓点が付され、修学の跡を伝えるものが多い。

これらは、赤水が出版した地図の制作過程を明らかにするだけでなく、赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群であり、江戸時代中後期の文化史、地図史等の研究上に価値が高い。

（文化庁文化財第一課「新指定の文化財－美術工芸品－」『月刊文化財』令和2年6月号、第一法規より転載）



改製日本分里図



改正日本輿地路程全図

【写真提供：高萩市教育委員会】

(4) 国指定史跡

金田官衙遺跡 (追加指定)

指 定 日	令和2年10月6日
所 在 地	つくば市さくらの森 28番6、28番7、33番5
面 積	1,284.0㎡ (合計面積97,436.0㎡)
管 理 者	つくば市

金田官衙遺跡は、筑波山の南15km、桜川西岸の沖積低地を望む台地縁辺上に立地する古代の官衙遺跡である。本遺跡から北西に9km桜川をさかのぼった地点には、常陸国筑波郡正倉と考えられる史跡平沢官衙遺跡が所在する。昭和34年の桜村（現・つくば市）立桜中学校校庭拡張工事において、総柱の掘立柱建物跡、大量の炭化米が発見されたことから、この地に古代の官衙遺跡が存在することが確認され、その後茨城県教育委員会、茨城県教育財団、つくば市教育委員会の調査により遺跡の範囲がほぼ確定された。

本史跡は、東西約600m、南北約530mの範囲に、正倉院域、郡庁・館等を含むと推定される官衙域、郡家に関する廃寺の3つの施設群からなる。このうち、正倉院は、台地縁辺部に所在し、礎石建物9棟、総柱の掘立柱建物3棟が検出された。最も本格的に展開された時期には、幅約4m、深さ約1.3mの溝によって、最大東西約110m、南北約310mの長方形の範囲が区画されていた。

官衙域は正倉院の北西に展開し、北部から中央部の東西約320m、南北約250mにかけて広がる。8世紀前葉から9世紀前葉には、おおむね4群に分かれる約100棟の掘立柱建物・礎石建物が、4期の変遷をもって展開した後、9世紀中葉には廃絶する。

官衙地区の西隣に所在する寺跡は、四面廂しめんびさしが付く特殊な建物、基壇建築、多数の瓦の出土などが見られ、瓦の年代などから8世紀前葉から9世紀中葉に存続したものと考えられている。

なお、本遺跡からは郡名を特定する遺物は出土していないが、『常陸国風土記』に現れる河内郡かわちの位置、仏教関連施設から西に300mの位置にあるつくば市中原遺跡で出土した「常陸国河内郡真幡郷 戸主刑部歌人」と墨書された土器などから、本遺跡を常陸国河内郡の郡家関連遺跡とする説が有力である。

このように本遺跡を構成する3つの施設群は、それぞれ規模や構造を変えながらも、8世紀前葉から9世紀中葉に併存しており、郡家の実態を解明する上で極めて重要であることから、平成16年に史跡に指定された。

今回条件の整った部分を追加指定し、保護の万全を図るものである。

(文化庁文化財第二課「新指定の文化財－記念物－」『月刊文化財』令和2年9月号、第一法規より転載)



正倉院跡の総柱礎石建物検出状況（西から）



郡衙関連廃寺瓦溜め土坑遺物確認状況（北から）

【写真提供：公益財団法人茨城県教育財団】

2 ユネスコ無形文化遺産代表一覧 表に登録されたもの

「伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術—」

茅採取

登録日 令和2年12月17日
保存団体 一般社団法人日本茅葺き文化協会
代表者 代表理事 安藤 邦廣
(筑波大学名誉教授)
事務所の所在地 つくば市北条

茅採取は、屋根葺の一種で農山村の民家に多く見られる茅葺に用いるための、ススキやヨシ等を育成し、採取する技術である。本来は地域住民によって行われた農作業の一つであったが、建築資材としての需要減少、農業形態の変化により必要性が薄れた作業である。

茅刈り、乾燥させるための茅立て、選別して屋根葺材料に拵える茅選り、これら一連の作業を手際よく行う技術がなければ、屋根葺に用いる良質で大量の茅を得ることは不可能である。

茅の育成、茅場の管理も、地域の地勢や植物に関する知識や慣習の蓄積によって支えられてきたもので、質の確保のために火入れを行う場合にも、地勢や工程に関する知識や経験がなければ危険な作業である。

現在、重要文化財として保存されている茅葺の建造物を維持し、後世に伝えるためには茅採取の技術は欠くことができない重要な技術である。



茅刈りの指導



茅立ての様子

【文・写真提供：文化庁】

3 令和2年度に指定された県指定 文化財

茨城県指定有形文化財 歴史資料

歴第9号

いろかわ み なかかんけい しりょう

色川三中関係史料 22点（追加指定）

指定日 令和2年12月28日

所在地 土浦市中央一丁目15番18号

土浦市立博物館

所有者 土浦市

色川三中は、土浦城下の商家に生まれ、薬種業や醤油醸造業を営むかたわら橘守部の門人となり、江戸や常総地域の文化人と交流して和歌を好み、国学、度量衡、本草などの研究を行った。享和元年(1801)6月24日生まれ、幼名は豊太郎、通称を桂助(恵助、圭輔)、三郎兵衛と称し、号は東海、瑞霞園、諱は英明、安政2年(1855)6月23日に没した。文政8年(1825)に25歳で家督を継いだ三中は、本草に関する書物を集めて研究し、近郷の医者への薬種行商、さらに東北地方から仕入れていた大豆や小麦を土浦近在から仕入れて販路を拡充するなど家業の改革に取り組み、破産状態の家業を見事に立て直した。この経験で蓄積された主情主義・反儒教的な生活信条と、これを前提とした文献考証や郷土研究を中心とする国学を志向していく。三中の学問への営みは幼少期からの読書欲に始まり、家業とかかわる書物はもちろんのこと、歴史・和歌・民俗・動植物まで幅広い関心を示し、貴重な書物や文書を写し取り、こまめに記録して自らの考えを示した著作を遺した。この三中の一連の著作は、生前に一冊も刊行されることは無かった。しかし、明治中期には内閣修史館編修副長官重野安繹が『香取文書纂』に注目し、戦後は鈴木暎一氏や中井信彦氏によって三中の学問と思想が評価され、一連の著作は歴史学の貴重な史料群として高く評価されるようになった。今日では、色川三中は商業と学問を両立させた特色ある地方文化人として知られている。

色川三中の主要な著作は、中山信名の書物や史料の写しを購入して、信名の遺稿を校訂した『新編常陸国誌』、下総一宮香取神社の文書を編纂した『香取文書纂』、三中没後に門人によって増補された田制・田租の沿革と度量衡を記す『田令図解抄』をはじめ、弟美年へ薬種業を譲るのに際して店主の心得を記した『古叙廻布留道』、三中から美年へと引き継がれた日記『家事志』、国分家8代勘兵衛宛の書簡などが残されている。三中の多岐にわたる蔵書のうち、中山信名旧蔵本や来翰などは財団法人静嘉堂文庫に所蔵され(総数1,374部、4,939冊とされるが、若干の異同がある)、茨城県立歴史館史料部編『静嘉堂文庫所蔵 色川三中旧蔵書目録』が茨城県立歴史館より平成18年に刊行された。この目録では、総記、言語、宗教、文学、歴史、地理、政治、経済、書画・印章、産業、理学、医学、文芸・諸芸、書簡の14部門にわたることからも、三中の関心の広さがわかる。

一方、色川三中の自筆稿本、雑記、日記などは土浦市立図書館色川文庫に所蔵された。さらに土浦市に寄託された色川徳治家文書などを加えて、平成27年に三中没後160年を記念した土浦市立博物館第36回特別展『次の世を読みとく―色川三中と幕末の常総』が開催されている。翌28年1月21日、「色川三中関係史料」(内訳は、色川文庫444点、色川徳治家文書55点、色川三中肖像画1点。合計500点)として、

三中個人の軌跡のみならず、城下町土浦の生活や民衆のあり様を知る上で貴重な史料であるとして、茨城県指定文化財に指定された。

今回の追加指定の対象は「色川三中草稿」22点（P20目録参照）であり、大きく3つに大別できる。

①三中や弟美年のほか三中の友人の和歌を収録する和歌集である。「案上日記」・「六霜集」・「色川三中歌集」からは三中の尊王攘夷思想を読み取ることができるとともに、和歌を通じた地方文化人たちの交友関係がわかる。②常総地域の故事や国学・国史・本草などに関する考証的・国学関係の草稿類である。「衣手雑記」と「思ひ草」は平将門や香取文書、霞ヶ浦沿岸の風俗などを記す。「足柄日記」は三中が時折訪れた箱根滞在中の考証などを記す。「野中廻清水」は国学、歴史、本草などについて三中の考えを示している。③幕末における黒船の来航に関する「片葉雑記」の草稿の一部である。

これらは新発見の草稿類を含み、いずれも貴重な史料であるが、なかでも特筆すべきは「片葉雑記」2点、「野中廻清水」1点及び「足柄日記」3点が含まれることである。嘉永6年(1853)6月3日、ペリーが軍艦4艘を率いて浦賀に来航すると、この伝聞を書き留め、さらに門人菅右京を浦賀に向かわせて軍艦などをスケッチさせる（「片葉雑集紀行部」）など、「片葉雑記」は自らの意見や批判を時系列的に記述した著作である。これまで2・3・5・6巻が中井信彦『片葉雑記 色川三中黒船風聞日記』（昭和61年、慶友社）に収録されていたが、欠本であった1・4巻と「紀行部」の新発見は、より深い理解につながる。また、「足柄日記」にも黒船一件に関する記述が含まれている。「野中廻清水」は1・2・4・7・8巻がすでに県指定になっており、土浦市史資料集『色川三中 野中廻清水』（平成29年、土浦市立博物館）で公開されていたが、今回は3巻が発見された。

これら「色川三中草稿」は、色川三中の学問と思想、さらには当時の社会の変化や庶民の心情などを克明に伝える重要な歴史資料であることから、この度の追加指定となった。これによって「色川三中関係史料」は合計522点となり、茨城県郷土史の一層の解明に資するものとなる。

（茨城県文化財保護審議会 小野寺 淳 委員）



色川三中歌集、六霜集、案上日記（3点）



衣手雜記（3点）、思ひ草（5点）



片葉雜集（2点）、片葉雜記（2点）



足柄日記（3点）、隨筆後集、野中迺清水

表 「色川三中関係史料」追加指定分（「色川三中草稿」）目録

件	No.	外 題	年 代	内 容	形態・丁数	筆者	蔵書印
1	1	案上日記 壹	弘化3年頃	三中・美年らの歌会での和歌詠草。歌題「不服奴共」「新田殿」「笠城皇居」「高氏（尊氏）」など	半37丁	別人が三中らの和歌を記録	—
	2	案上日記 貳	弘化3～4年	三中・美年らの歌会での和歌詠草。歌題「夏月」「照射」「五月雨」など	半37丁	別人が三中らの和歌を記録	—
	3	案上日記 参	弘化4年頃	三中・美年らの歌会での和歌詠草。歌題「初雁」「田家初雁」など	半26丁	別人が三中らの和歌を記録	—
2	4	六霜集	嘉永6年	和歌詠草。詠み手は幸枝・美足・竹子・長好・三中・春影・老（大久保一学）・三樽・かね子・ひさ子・雅知・幹文・元綱ら。歌題「夕時雨」「夜木枯」など	半65丁	別人が三中らの和歌を記録	有
3	5	色川三中歌集	嘉永年間	門人高橋鞆負が選んだ三中の歌集。「春歌」「夏歌」「秋歌」「冬歌」「恋歌」「雑」の項目ごとに和歌を選んだ。	美52丁	三中	—
4	6	衣手雑記 壹	弘化～嘉永年間	常総地域の故事に関する考証。「将門記ノ事」など	半85丁	三中	有
	7	衣手雑記 二	弘化～嘉永年間	常総地域の故事に関する考証。「常陸国成田荘」「月出村」「左右台」など	半4丁	三中	有
	8	衣手雑記 三	弘化～嘉永年間	常総地域の考証。香取文書編さんにかかる「香取録司代家所蔵文書之序」など	半22丁	三中以外が記録したものを含む	有
5	9	思ひ草 一 卷第壹	天保15年頃	常総地域・葉種・本草等の考証。外国公益の有効性、国産品の活用など	半64丁	三中	有
	10	思ひ草 二 卷第二	天保15年頃	常総地域の考証。幕府から徳川斉昭に参府を要望する書状など	半47丁	三中	有
	11	偲ひくさ 二之下 卷第三	弘化3年頃	常総地域の考証。香取文書編さんにかかる序文「香取録司代家所蔵文書之序」など	半52丁	三中	有
	12	偲ひ草 四 卷第四	弘化3年頃	常総地域の考証。「井田を变ずるといふ事」（「史記商君伝」収録）の論証など	半57丁	三中	有
	13	思ひ草 卷第五	弘化3年頃	常総地域の考証。「旧本伊勢物語書抜」など	半55丁	三中	有
6	14	片葉雑記 壹	嘉永6年1月	異国船情報をまとめた日記。欠本となっていた第1巻	半41丁	三中	有
	15	片葉雑記 二（四）	嘉永7年1月	異国船情報をまとめた日記。欠本となっていた第4巻	半77丁	三中	有
7	16	片葉雑集 紀行部（一）	嘉永7年1月	門人高橋鞆負と菅原長好を浦賀に派遣し、ペリーが再来した状況を見分させた記録	美41丁	三中	有
	17	片葉雑集 紀行部（二）	嘉永7年1月	「大沙河原神奈川辺」「本牧領」「松田郷六浦の庄」「夏嶋葉島烏帽子島」など防御拠点の彩色図。高橋鞆負と菅原長好の浦賀調査記録	美51丁	三中の門人による記録	有
8	18	野中廻清水 三 卷第七	弘化4年～嘉永7年	国学・国史・本草など多種の項目にわたる三中の随筆・考証。欠本となっていた第3巻	半47丁	三中	有
9	19	随筆後集 全	弘化～嘉永年間	「香取文書纂序」「安藤氏所蔵文書ノ考」など三中の草稿や祝詞、古記録を貼り込んだ張込帖	美37丁	三中以外が記録したものを含む	有
10	20	足柄日記 二	天保11年	3月29日から5月11日にかけて、箱根滞在中の日記と、その間にしたための故事考証	横綴じ小本35丁	三中	有
	21	足柄日記 三 後の五月葉の日記	天保12年	3月晦日から5月にかけて、箱根滞在中の日記と、その間にしたための故事考証	横綴じ小本46丁	三中	有
	22	足柄日記 四 足柄むかへりの記	弘化2年	6度目の箱根行き。箱根滞在中の日記と、その間にしたための故事考証	横綴じ小本62丁	三中	有

【凡例】〔形態〕「半」半紙本、縦23cm前後 「美」美濃本（大本）、縦27cm前後
〔蔵書印〕「色川式中蔵書」（朱文方印）

【写真・目録提供：土浦市立博物館】

4 国・県指定文化財等一覧

(1) 国・県指定文化財等総数 (令和3年3月31日現在)

国・県指定文化財

区分	種類	国 指 定				県指定	合 計
		国 宝	特 別	重 文	計		
有形文化財	建造物			32	32	79	111
	絵画			7	7	82	89
	彫刻			15	15	162	177
	工芸品	2		15	17	128	145
	書跡					34	34
	古文書					8	8
	考古資料			5	5	28	33
	歴史資料			3	3	10	13
無形文化財				4	4	4	8
民俗文化財	有形民俗文化財			1	1	6	7
	無形民俗文化財			3	3	32	35
記念物	史跡		3	30	33	57	90
	名勝			4	4	5	9
	天然記念物			8	8	58	66
合 計		2	3	127	132	693	825

国選定重要伝統的建造物群保存地区

名 称	所在地
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市

選定保存技術の選定・保存団体の認定

選定保存技術	1	茅採取
保存団体	1	日本茅葺き文化協会

記録作成等の措置を講ずべき無形文化財・無形の民俗文化財総数 (国選択)

無形文化財	工芸技術	3
無形の民俗文化財	風俗慣習	10
	民俗芸能	9
	民俗技術	1
合 計	23	

ユネスコ無形文化遺産

名 称	所在地
結城紬	結城市
山・鉾・屋台行事	日立市
伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術—	つくば市

国登録有形文化財・国登録有形民俗文化財・国登録記念物

種 別	数 量	備 考
有形文化財	建築物	255 家屋・公共建築物等
	土木構造物	13 水路・水槽等
	その他工作物	29 門・煙突・橋梁・擁壁等
	小 計	297
有形民俗文化財	2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具ほか
記念物 (遺跡・名勝地)	2	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦 (※)

(※)「岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦」の登録基準は、遺跡関係と名勝地関係の両方。

(2) 国指定文化財等一覧

(令和3年3月31日現在)

ア 国宝

No.	種類	名称・数量	所有者	指定年月日	時代等
1	工芸品	直刀 黒漆平文大刀拵 1口 (附 刀唐櫃 1合)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭30. 6.22	奈良～平安時代
刀身長さ224.0cm、反り0.7cm。普通の大刀の3振分もある長大な大刀。無銘。「ふつのみたまのつるぎ」と呼ばれる神宝					
2	工芸品	短刀 銘「筑州 住 行弘 観応元年八月日」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭32. 2.19	南北朝時代
師である左文字(さもじ)の作風に近似し、その作風樹立を知る上で観応元年(1350)の年紀は貴重。土浦藩(つちや)土屋家旧蔵品					

イ 国指定重要文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
1	鹿島神宮本殿・拝殿・幣殿・石の間 (附棟札2枚) 4棟	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	明34. 3.27	江戸初期
祭神は武甕槌大神。常陸国の一の宮。元和5年(1619)徳川秀忠の造営。屋根・塗装修理(平23～25)				
2	鹿島神宮摂社奥宮本殿 1棟(附棟札1枚)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	明34. 3.27	慶長10年(1605)
旧本殿を元和5年(1619)に移築[棟札]。三間社流造、檜皮葺				
3	佐竹寺本堂 1棟	常陸太田市天神林町2404 佐竹寺	明39. 4.14	室町後期
天文15年(1546)造営。寄棟造、茅葺。江戸時代後期に改造				
4	大宝八幡神社本殿 1棟	下妻市大宝667 大宝八幡	明39. 4.14	天正5(1577)[棟札]
多賀谷尊経の造営。三間社流造。解(明42)。屋根現状変更(昭40)				
5	小山寺三重塔 1棟	桜川市富谷2190 小山寺	明39. 4.14	寛正6年(1465)
多賀谷朝経が願主。総高21.5m。関東以北では最古に属する和様建築。防災(昭57)・解(平2)。とち葺				
6	楞嚴寺山門 1棟	笠間市片庭761-4 楞嚴寺	大6. 4. 5	室町中期[建築手法]
四脚門。切妻造、茅葺。禅宗様式。解(大9)。屋根修理(平15)				
7	西蓮寺仁王門 1棟	行方市西蓮寺504 西蓮寺	大6. 4. 5	天文12年(1543)[柱盤墨書]
安政9年移築。三間一戸楼門(二階は寛政頃撤去)。寄棟造。解(昭34)				
8	西蓮寺相輪櫓 1棟(附棟札1枚)	行方市西蓮寺504 西蓮寺	大6. 8.13	弘安10年(1287)
元寇の弘安の役を記念して建立。錫杖のような形に特色。解(明36、昭51、平17)				
9	八幡宮本殿 1棟	水戸市八幡町8-54 八幡宮	昭29. 9.17	慶長3年(1598)
和様に禅宗様を混用し地方色濃厚。入母屋造、とち葺(平7～11解体時に柿葺から変更)。解(平7～11)				

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
10	旧弘道館（正庁・至善堂・正門附塀）3棟	水戸市三の丸1-6（管）茨城県	昭39. 5.26	天保12年（1841）
正庁・至善堂とも書院造建築の正統をひく大規模な藩校遺構。正庁自・半解（昭37）				
11	薬王院本堂 1棟（附厨子1基、附棟札2枚）	水戸市元吉田町682 薬王院	昭41. 6.11	享禄2年(1529) [墓股墨書]
大型の密教系七間堂。入母屋造、茅葺形銅板葺。解（昭43～45）				
12	鹿島神宮楼門 1棟（附旧雇十字柄 2組）	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭41. 6.11	寛永11年（1634）
三間一戸（二階建）。入母屋造、銅板葺。解（昭16）、塗（昭49・昭62～平元・平4）、部（平6）				
13	坂野家住宅（主屋、表門） 2棟	常総市大生郷町2037 常総市	昭43. 4.25	江戸中～後期
主屋：豪農住宅。茅葺。解（平14～17）。防災設備工事（平17） 表門及び附塀：江戸後期の薬医門。切妻造、茅葺				
14	旧飛田家住宅 1棟	古河市鴻巣1024 古河市	昭43. 4.25	江戸中期
旧金砂郷町の飛田家住宅主屋を古河総合公園に移築復原（昭50）。古い曲屋形式。寄棟造、北面土庇附属、茅葺				
15	中崎家住宅 1棟	水戸市鯉淵町2897 個人	昭43. 4.25	元禄元(1688) [土台墨書]
地侍の系譜をひく農家の直屋。寄棟造、茅葺。解（昭49）				
16	椎名家住宅 1棟	かすみがうら市加茂4148 個人	昭43. 4.25	延宝2年（1674）
現存する東日本最古級の民家、直屋形式。寄棟造、茅葺。解（昭46）。屋根修理（平24）				
17	塙家住宅（主屋・土間） 2棟	笠間市安居2009 個人	昭51. 2. 3	江戸後期
現状は曲屋と同じ外観だが当初は主屋と釜屋が別棟。主屋：寄棟造、茅葺。半解（昭56）				
18	山本家住宅 1棟	神栖市奥野谷4281 個人	昭51. 2. 3	江戸中期
網元名主の家。曲屋形式。寄棟造、茅葺。解（平5）。部（平24）				
19	平井家住宅 1棟	稲敷市柴崎155 個人	昭51. 2. 3	元禄頃 [伝承]
17世紀末の民家建築。せがい造りの軒や二重梁の小屋組に特色。茅葺。解（平11～14）				
20	大塚家住宅 1棟	つくば市栗原835 個人	昭51. 2. 3	江戸中期
平面構成が整形四間取りなど、新しい民家形式への移行段階。寄棟造、茅葺。屋根葺替（平2）				
21	旧茨城県立太田中学校講堂 1棟	常陸太田市栄町58 茨城県	昭51. 2. 3	明治37年 [学校沿革誌]
旧制中学校の講堂、駒杵勤治の設計。木造。建築面積296.7㎡。一階建、棧瓦葺。南面玄関ポーチ、東・西面出入口庇付。各鉄板葺				
22	旧茨城県立土浦中学校本館（附棟札 1枚） 1棟	土浦市真鍋4-4-2 茨城県	昭51. 2. 3	明治37年 [棟札]
本格的洋風学校建築の一部。木造。建築面積987.9㎡。一階建、天然スレート葺。駒杵勤治の設計。 屋根葺替（昭42 カラーアスベストコロニアル葺・平29 天然スレート葺）。現状変更（平29 フィニアル復原等）				
23	鹿島神宮仮殿 1棟	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭51. 5.20	元和5年(1619) [方立墨書]
元和造當時の社殿の一つ。本殿の造営に際して神霊を仮安置するための建物。入母屋造、檜皮葺。解（平9）				
24	竜禅寺三仏堂 1棟	取手市米ノ井467 竜禅寺	昭51. 5.20	永禄12年(1569)以前 [納札]
和様に禅宗様が混じる。向拝部分後補。寄棟造、茅葺。半解（昭61）。茅屋根修理（平18）				

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
25	善光寺楼門 1棟	石岡市太田940-1 善光寺	昭58.12.26	室町後期
小田氏の創建。三間一戸。寄棟造、茅葺。解・防災設備工事（平7）。環境整備（止水壁工事、平14）。葺替（令2）				
26	笠間稲荷神社本殿 1棟（附 棟札1枚）	笠間市笠間39 笠間稲荷神社	昭63. 1.13	万延元年(1860) [棟札]
本殿及び旧拝殿よりなる。社殿全体を覆う豊かな彫り物（江戸末期流行の立川流大工の技）				
27	佛性寺本堂 1棟（附 旧露盤1個）	水戸市栗崎町1984 佛性寺	昭63. 1.13	天正13年(1585) [隅木墨書]
側柱・入側柱とも円柱8本を立てた八角円堂。一重、茅葺。現状変更（平26 瓦葺から茅葺に戻す）				
28	横利根閘門 1構	稲敷市西代地先 国土交通省	平12. 5.25	大正10年（1921）
横利根川と利根川の合流点近くにある煉瓦造複閘式閘門。土木技術史上、煉瓦造閘門の一つの到達点を示す。利根川改修工事における代表的土木構造物				
29	来迎院多宝塔 1基	龍ヶ崎市馴馬町 来迎院	平18.12.19	弘治2年(1556) [宝珠銘]
三間多宝塔。柿葺。細部に禅宗様。室町期の北関東における寺院建築の特徴を示す。解（平10～12）				
30	シャトーカミヤ旧醸造場施設 事務室、醗酵室、貯蔵庫 3棟	牛久市中央3-20-4 オエノンホールディングス株式会社	平20. 6. 9	明治36年（1903）
明治中期の本格的な煉瓦造ワイン醸造所の主要部がほぼ完存しており、高い歴史的価値がある。				
31	石岡第一発電所施設 3所、3基、3棟 取水堰堤、沈砂池、第一号水路橋、 第二号水路橋、水槽余水路、 調圧水槽、本館発電機室 本館旧変圧器室、本館変電室	高萩市大字横川 北茨城市中郷町石岡 東京発電株式会社	平23.10.28 (旧指定平 20.12. 2 水 槽の解除に より新指定)	明治44年（1911） 本館変電室 大正5年（1916） 取水堰堤、沈砂池 大正12年（1923）
施設を構成する本館。橋梁等の類型を異にする構造物全般にわたり鉄筋コンクリート技術を用いたわが国で最初の発電所施設であり、中でも本館はわが国に現存する最古級の鉄筋コンクリート造建築物として貴重である。				
32	内外大神宮内宮・外宮・御遷殿 3棟 (附 内宮御門 1棟、外宮御門 1棟)	筑西市小栗 内外大神宮	平21.12. 8	内宮・外宮：延宝7年 (1679) 御遷殿：天正2年（1574）
両本殿は、本格的な神明造三間社本殿で、内宮、外宮の本殿二棟を並立させる社殿形式の古例として重要である。解（平7～8）。上屋設置（平12）				

【絵画】

	名称・数量	所有者	指定年月日	制作時代
1	紙本著色 拾遺古徳伝 9巻 (東京国立博物館寄託)	那珂市瓜連1221 常福寺	明36. 4.15	正安3年（1301）
親鸞の遺弟覚如が常陸門徒のために起稿した宗祖親鸞の拾遺				
2	紙本著色 聖徳太子絵伝 1巻	那珂市本米崎2270 上宮寺	大4. 3.26	鎌倉末期（推定）
顕如から賜ったと伝える。詞書1段・絵14段。大和絵の伝統				
3	絹本著色 法然上人像 1幅 (東京国立博物館寄託)	那珂市瓜連1221 常福寺	大5. 3.24	鎌倉後半
法然が曲ろく（僧が用いる椅子）上に座す形式は珍しい。				

No.	名称・数量	所有者	指定年月日	制作時代
4	絹本著色 十六羅漢像 16幅 (茨城県立歴史館寄託)	龍ヶ崎市若柴町866 金竜寺	大6. 4. 5	鎌倉末期
道元持ち帰りと伝わるが、宋代李竜眠様を学んだわが国の作か。				
5	紙本著色 拾遺古徳伝 (残闕) 1巻	銚田市鳥栖1013 無量寿寺	大6. 4. 5	正安3年 (1301)
覚如によって撰述された拾遺古徳伝の一つ。慶長13年 (1608) 火災に遭遇				
6	絹本著色 高峰和尚像 1幅 庚寅絶岸可湘の讚及甲午王剛中の賛がある 絹本著色 復庵和尚像自賛 1幅 附絹本著色 中峰和尚像 1幅 (土浦市立博物館寄託)	土浦市高岡1890 法雲寺	昭24. 2.16	室町時代
頂相 (肖像画)。法雲寺の開基は中峯。弟子の復庵が道場を建立。高峰は13世紀中国の人。法雲寺は、小田治久が後光厳天皇の命により七堂伽藍を創建する。				
7	絹本著色 聖徳太子絵伝 4幅 (東京国立博物館寄託)	坂東市みむら1793 妙安寺	昭43. 4.25	鎌倉末期
太子の事跡場面を自由に配置した掛幅形式の大和絵系譜の絵伝				

【彫刻】

No.	名称・数量	所有者	指定年月日	時代
1	木造 薬師如来及両脇侍像 (附 銅造胎内仏 1軀)	3軀 城里町石塚1423 薬師寺	明44. 8. 9	鎌倉初期
寄木造、漆箔。中尊坐像高137.8cm、日光170.8cm、月光171.2cm				
2	木造 浮彫如意輪観音像 1面	1面 城里町上入野3912 小松寺	明44. 8. 9	平安時代か唐代
木造・一部彩色。共木で浮き彫り精巧。縦8.5cm、横7.3cm				
3	木造 薬師如来坐像 1軀	常陸太田市下利員957 西光寺 (管理団体 常陸太田市)	明44. 8. 9	平安末期 (平17～18修理)
寄木造・漆箔。当初の光背、九重蓮華座あり。定朝様。像高143.7cm				
4	木造 観世音菩薩立像 (寺伝延命観音像) 1軀 (附 前立尊 1軀)	1軀 桜川市本木1 楽法寺	明44. 8. 9	平安前期
一木造、彩色剥落、翻波式衣文。前立像は同形八臂像で鎌倉時代				
5	木造 薬師如来坐像 1軀	1軀 笠間市来栖2696 岩谷寺	大3. 4.17	鎌倉初期
寄木造、漆箔、等身坐像。光背当初。台座鎌倉中期。定朝様。像高84.8cm				
6	木造 薬師如来立像 1軀 建長五年七月藤原時朝ノ銘アリ	1軀 笠間市来栖2696 岩谷寺	大3. 4.17	鎌倉中期
寄木造、漆箔、玉眼、像高185cm。像は大ぶり螺髪を旋毛形に彫出				
7	木造 聖徳太子立像 1軀 (太子堂安置)	1軀 水戸市酒門町2056 善重寺	大4. 8.10	鎌倉末期
上質顔料による盛り上げ彩色。十六歳孝養太子像。像高132.5cm				
8	木造 阿弥陀如来坐像 1軀 胎内ニ応長二年四月十五日修理ノ銘アリ	1軀 茨城町鳥羽田656 円福寺	大4. 8.10	鎌倉初期
寄木造、漆箔、定朝様。胎内に応長2年 (1312) の修理銘、像高84.3cm				
9	木造 不動明王及二童子立像 3軀	3軀 つくばみらい市板橋2370 不動院	大4. 8.10	平安末期
寄木造、古色。3尊とも衣文浅く面相も誇張なく温雅。像高100cm				
10	木造 釈迦如来立像 1軀	1軀 銚田市大蔵113 福泉寺	大5. 8.17	鎌倉末期
寄木造、素地。螺髪を縄状に巻く。平行線状の衣文。像高165.5cm				

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
11	木造 薬師如来坐像 1軀	土浦市下高津2-10-22 常福寺	大9. 8.16	平安末期
		寄木造、漆箔。量感のある体部などに特色。像高121cm		
12	木造 千手観音立像 1軀	笠間市片庭775 楞嚴寺	大9. 8.16	鎌倉中期
	背面ニ建長四年七月藤原時朝ノ銘アリ	寄木造、漆箔、玉眼。鎌倉地方様式の好例。像高193.9cm		
13	木造 弥勒仏立像 1軀	笠間市石寺429 弥勒教会	大9. 8.16	鎌倉中期
	像内に宝治元年四月、藤原時朝等の銘がある	寄木造、漆箔、玉眼。運慶開始の様式に宋風を加味、像高175.2cm		
14	木造 観音菩薩立像 1軀	筑西市中舘522 観音寺	大11. 4.13	鎌倉末期
	(寺伝延命観音像)(観音堂安置) 像内に貞治二年の修理銘がある	寄木造古色彫眼。延命観音として知られる宋風の六臂像。 像高102.2cm。名称変更(昭39. 5.26)		
15	鉄造 阿弥陀如来立像 西念、良覚作 1軀	常陸太田市中染町23 中染町(管理団体常陸太田市)	平26. 8.21	鎌倉時代
	背面に弘長四年四月、大大工権守入道西念、大仏師日向房良覚等の陽鑄銘がある	像高164cm。大きさや鑄上がりの良好さから鉄仏の代表作。原型の像が残り、当時の鑄造技術を知る上でも貴重		

【工芸品】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	太刀 銘則包作(附糸巻太刀拵) 1口	水戸市宮町2-5-13 東照宮	明44. 4.17	鎌倉中期
	(茨城県立歴史館寄託)	長さ76.6cm、反り3.0cm強。福岡一文字派名工の作		
2	銅鐘 1口	潮来市潮来428 長勝寺	明44. 8. 9	元徳2年(1330)
	元徳庚午十月ノ銘アリ(附 鐘銘拓本 1巻)	銘文刻字の勝れた名鐘。大檀那北条高時。大施主は千葉氏と記載		
3	太刀 銘吉宗(附 糸巻太刀拵) 1口	つくば市筑波1 筑波山神社	大7. 4. 8	鎌倉中期
	(東京国立博物館寄託)	長さ71.2cm、反り2.3cm。作者は福岡一文字派の名工		
4	太刀 銘備州長船家助応永廿一年二月日 1口	つくばみらい市南太田 個人	大9. 4.15	室町時代
		長さ73.6cm、反り3.2cm。応永21年(1414)の作		
5	銅鐘 1口	土浦市大手町4-16 等覚寺	大9. 8.16	鎌倉初期
	建永年中筑後入道尊念ノ銘アリ	八田知家が建永年間につくさせた梵鐘。鐘の銘文では本県最古		
6	銅鐘 1口	土浦市宍塚1461 般若寺	大9. 8.16	建治元年(1275)
	建治元年八月大工丹治久友等ノ銘アリ	有名な鑄物師丹治久友作。鎌倉時代の典型的な鐘の形をもつ。		
7	金銅板両界曼荼羅 2面	利根町布川3004 徳満寺	昭11. 5. 6	建久5年(1194)
	建久五季六月十三日筑後国清楽寺ノ銘アリ (東京国立博物館寄託)	押し出し、毛彫りが施された金銅薄板の両界曼荼羅。修理(平15)		
8	太刀 銘「備州長船住景光」 1口	つくば市小野川 個人	昭13. 7. 4	鎌倉時代
		長さ2尺4寸(約72cm)、反り8分(約2.4cm)		
9	太刀 銘「守家造」 1口	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25. 8.29	鎌倉中期
	(土浦市立博物館保管)	華やかな乱れ刃を焼く畠田一派の名匠。土浦藩土屋家旧蔵品		

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
10	太刀 銘「信房作」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25. 8.29	鎌倉初期
古備前と古一文字にみられる信房の作品。土浦藩土屋家旧蔵品				
11	太刀 銘「恒次」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25. 8.29	鎌倉初期
古青江派の代表鍛冶で同派中屈指の優品。土浦藩土屋家旧蔵品				
12	短刀 銘「国光」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭28. 3.31	鎌倉後期
短刀の名手、新藤五国光の作品。土浦藩土屋家旧蔵品				
13	網代笈 1背	桜川市西小埜1677 月山寺	昭32. 2.19	室町時代
箱形の笈で銅製鍍金の観音開き扉あり。背・側面に竹製網代				
14	梅竹蒔絵鞍 (附 四手蒔絵居木 1双)	1背 鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭34. 6.27	鎌倉末頃か
現在知られる蒔絵の和鞍の中では最も古い(追加 昭51.6.5)。				
15	朱漆足付盥 4口 六蔵寺二対内、細工根来寺重宗、本願法 印恵範の朱漆銘がある	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	平3. 6.21	室町時代
三足付盥で衆僧が罪を懺悔するために行う布薩盥に浄める盥				

【考古資料】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	銅印 印文「静神宮印」 1顆 (附 印笥1合 寛文丁未、源光圀在銘) (茨城県那珂郡静村出土)	那珂市静9 静神社	昭29. 3.20	平安時代
印面は方形で「静神宮印」の文字を刻む。印笥は印を納めるもの。				
2	埴輪男子立像 1軀 (群馬県藤岡市本郷出土) (茨城県立歴史館寄託)	石岡市高浜880 個人	昭34.12.18	古墳後期
全高139.9cm。つばの広い帽子をかぶった男子像				
3	茨城県武者塚古墳出土品 一括 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	平26. 8.21	7世紀
太刀や銀の帯状金具など特異な武器及び装身具96点で構成。みずら状の頭髪や経錦を含む(附指定)。古墳時代終末の葬送儀礼や服飾を復元する上で学術的価値が高い。				
4	茨城県泉坂下遺跡出土品 一括 (常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管)	常陸大宮市中富町1087-14 常陸大宮市	平29. 9.15	弥生時代
再葬墓群からの出土遺物が主体。人面付壺形土器1点、壺形土器53点、甕形土器残欠2点、滑石玉5点、総数61点からなる。東日本における弥生時代特有の再葬墓の在り方を理解する上で良好な資料群				
5	茨城県三昧塚古墳出土品 一括 (茨城県立歴史館保管) (明治大学に一部寄託)	水戸市笠原町978-6 茨城県	平30.10.31	古墳時代
霞ヶ浦に面した沖積低地に築かれた前方後円墳からの出土品一括。金銅製の装飾品や、銅鏡、鉄製の武器・武具、金銅製の馬具など。中でも馬形の立飾りが付く金銅馬形飾付透彫冠は、他に類例がない。東国における首長層の葬送や社会実態を考える上で、学術的価値が高い。				

【歴史資料】

No.	名称・数量	所有者	指定年月日	時代
1	<small>たかみせんせき</small> 鷹見泉石関係資料 文書・記録類 3,153点 絵図・地図類 686点 書籍類 768点 書状類 466点 絵画・器物類 912点 321点 (古河歴史博物館保管)	古河市長谷町38-18 古河市	平16. 6. 8 (平24. 9. 6 員数変更)	江戸時代
下総国古河藩家老鷹見泉石(1785～1858)の洋学、地理学をはじめとする科学技術などに関する幅広い学問の事跡と譜代大名の家老としての情報収集のあり方を示す資料群。保存修理(平17～)				
2	一橋徳川家関係資料 4,715点 文書・記録類 4,017点 書画・典籍類 224点 器物類 460点 写真 14点 (茨城県立歴史館保管)	水戸市笠原町978-6 茨城県	令2. 9. 30	江戸時代
各分野の資料が質量ともにまとまって伝存。一橋徳川家の家格、家政、所領経営、または幕政への関与、将軍家や大名家との交際、家の内外における儀礼の実際を窺うことができ、江戸時代の政治史、文化史、古文書学を研究する上で貴重				
3	<small>せきすい</small> 長久保赤水関係資料 693点 地図・絵図類 84点 文書・記録類 279点 典籍類 274点 書画・器物類 56点 (高萩市歴史民俗資料館保管)	高萩市本町1-100-1 高萩市	令2. 9. 30	江戸時代
長久保赤水の子孫にあたる複数の家に伝来した赤水手沢の一括資料。赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸時代中後期の文化史、地図史等の研究において学術価値が高い。				

ウ 国指定重要無形文化財

No.	名称・数量	所在地	保持団体・保持者	指定年月日
1	結城紬(平織)	結城市結城13-2	本場結城紬技術保持会	昭31. 4.24
真綿から指で紬ぎ出した撚りのない糸をそのまま使用した織物				
2	<small>いちちゆうぶし</small> 一中節 (総合認定)	保持者が水戸に在住	一中節保存会	平5. 4.15
18世紀初期 <small>みだこ</small> の都太夫一中にはじまる三味線音楽				
3	一中節三味線 (各個認定)	水戸市千波町	東 峯子(いわゆる人間国宝)	平13. 7.12
芸名は宇治文蝶。伝統的な一中節三味線の技芸を高度に体現				
4	<small>きゅうしつ</small> 髹漆 (各個認定)	筑西市玉戸1596-8	大西 勲(いわゆる人間国宝)	平14. 7. 8
装飾を施さず漆を塗ることだけで仕上げる技法				

エ 国指定重要有形民俗文化財

No.	名称・数量	所有者	指定年月日
1	<small>ふりゆうもの</small> 日立風流物(山車) 1基	日立市宮田町 神峰神社(管理団体 日立市)	昭34. 5. 6
高さ15m、幅3m、長さ8m、重さ5t。全国的にも著名な山車。修理(平9～12、平17)			

オ 国指定重要無形民俗文化財

No.	名称・数量	所在地・保護団体	指定年月日
1	綱火	つくばみらい市 綱火保存連合会	昭51. 5. 4
		空中に縦横十文字に張りめぐらした麻綱の上を花火を仕掛けた人形を自在に操りながら演技する。小張松下流と高岡流がある。	
2	日立風流物	日立市宮田町 日立郷土芸能保存会	昭52. 5. 17
		神峰神社の大祭のとき、4つの町内から1台ずつ出す山車において、操り人形芝居を繰り広げる。	
3	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	平29. 3. 3
		豊漁や海上安全を祈願して、巨大な木造船に神輿を載せて陸上を曳行する。	

カ 国指定特別史跡及び史跡

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
1	特別史跡	旧弘道館	水戸市三の丸1-6 管理団体（大11.11. 7）茨城県	鹿島神社ほか	大11. 3. 8（史） 昭27. 3. 29（特史）
		9代藩主斉昭が天保12（1841）に創立した水戸藩の藩校			
2	特別史跡	常陸国分寺跡	石岡市府中5-1 管理団体（大12.12.13）石岡市	国分寺	大11.10.12（史） 昭27. 3. 29（特史）
		奈良時代の常陸国の国分寺（僧寺）跡。金堂・講堂の基壇や礎石など残る。			
3	特別史跡	常陸国分尼寺跡	石岡市若松3-1 管理団体（大12. 12. 13）石岡市	石岡市	大11.10.12（史） 昭27. 3. 29（特史） 昭47. 6. 28（追）
		国分寺の北西500mにある尼寺（法華滅罪之寺）跡			
4	史跡	舟塚山古墳 1基	石岡市北根本597ほか 管理団体（大11. 5. 23）石岡市	文部科学省ほか	大10. 3. 3
		県下第一の大型前方後円墳（全長186m）。5世紀後半（推定）			
5	史跡	常磐公園	水戸市常磐町及び見川町 管理団体（大11.11. 7）茨城県	茨城県ほか	大11. 3. 8
		天保13年（1842）斉昭が開設した偕楽園を中心に桜山、丸山を含む庭園			
6	史跡	吉田古墳 1基	水戸市元吉田町345、347 管理団体（大11.11. 7）水戸市	明利酒類株式会社	大11. 3. 8 平22. 8. 5（追）
		横穴式石室の奥壁に線刻によって武器・武具などが描かれている。			
7	史跡	愛宕山古墳 1基	水戸市愛宕町2132～2134 管理団体（昭9. 7. 25）水戸市	愛宕神社ほか	昭9. 5. 1
		那珂川流域中最大の前方後円墳（全長136.5m）			
8	史跡	<small>だいほうじょう</small> 大宝城跡	下妻市大宝、筑西市関館・中村新田 管理団体（昭9. 7. 25）下妻市・筑西市	八幡神社ほか	昭9. 5. 1
		南北朝時代の城。南朝方の拠点（下妻氏の居城）			

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
9	史跡	関城跡	筑西市関館1-99	文部科学省ほか	昭9. 5. 1
			管理団体 (昭9. 7.25) 筑西市		
南北朝時代の城。南朝方の拠点 (関氏の居城)					
10	史跡	小田城跡	つくば市小田2377ほか	つくば市ほか	昭10. 6. 7
			管理団体 (昭10. 7.26) つくば市		
小田氏の居城。北畠親房が「神皇正統記」を著した地					
11	史跡	新治廃寺跡附上野原瓦窯跡	筑西市及び桜川市	筑西市ほか	昭17. 7.21
			管理団体 筑西市、桜川市		昭52. 2. 3 (追)
新治郡衙の北の寺院跡、及び寺院の瓦を供給した窯跡					
12	史跡	佐久良東雄旧宅	石岡市浦須314-1	個人	昭19. 3. 7
国学普及に努めた幕末の志士佐久良東雄が9歳まで生活した家					
13	史跡	新治郡衙跡	筑西市古郡180ほか	筑西市ほか	昭43. 5.20
古代の郡役所跡。多数の建物群が検出された。					
14	史跡	馬渡埴輪製作遺跡	ひたちなか市馬渡2881-3ほか	ひたちなか市	昭44. 8. 5
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡		昭60. 8.12 (追)
15	史跡	大串貝塚	水戸市塩崎町1015-2	水戸市	昭45. 5.11
縄文時代前期。シジミを主体の貝塚が3か所に点在					
16	史跡	虎塚古墳	ひたちなか市中根3494-1	ひたちなか市	昭49. 1.23
7世紀前半の前方後円墳。横穴式石室に本県随一の彩色壁画					
17	史跡	上高津貝塚	土浦市上高津・中高津・宍塚	土浦市	昭52.10. 4
			管理団体 (昭53. 5. 6) 土浦市		
縄文時代中期～晩期。5か所の貝層が環状に並ぶシジミ主体の貝塚					
18	史跡	平沢官衙遺跡	つくば市平沢353ほか	つくば市	昭55.12. 4
官衙 (役所) 跡。規格性をもって多くの掘立柱建物が並ぶ。					
19	史跡	広畑貝塚	稲敷市飯出広畑635-1ほか	稲敷市	昭57. 2.27
縄文時代後期～晩期。貝層はハマグリなどの貝塚で製塩土器を出土					
20	史跡	鹿島神宮境内附郡家跡	鹿嶋市宮中2306-1ほか	鹿嶋市、鹿島神宮	昭61. 8. 4
			(追 平元. 9.22、平11. 1.14、平13. 1.15、平17. 3. 2、平20. 7.20)		
21	史跡	小幡北山埴輪製作遺跡	茨城町小幡2735-45ほか	茨城町	平4. 1.21
古墳時代後期の埴輪製作遺跡					
22	史跡	真壁城跡	桜川市真壁町古城・山尾	桜川市	平6.10.28
中世から戦国末期までの真壁氏の居城					
23	史跡	陸平貝塚	美浦村馬見山字貝売391-2ほか	美浦村	平10. 9.11
縄文中～後期。明治12年に初めて日本人による本格的な発掘調査					
24	史跡	結城廃寺跡 附 結城八幡瓦窯跡	結城市大字上山川字古屋敷31ほか	結城市	平14. 9.20
			奈良～室町中期の大寺院跡、及びこの寺院の創建時の瓦を供給した窯跡		平29.10.13 (追)

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
25	史跡	金田官衙遺跡 <small>こんだかんが</small>	つくば市金田字吹上1473-1ほか	つくば市	平16. 2.27 令2.10. 6 (追)
奈良～平安時代（8世紀前葉～9世紀中葉）に営まれた古代官衙関連遺跡					
26	史跡	台渡里官衙遺跡群（台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡）	水戸市渡里町字前原ほか	水戸市ほか	平17. 7.14 平23. 9.21 (追)
奈良・平安時代に営まれた那賀郡衙に関連する正倉院跡及び寺院跡					
27	史跡	水戸徳川家墓所	常陸太田市瑞龍町字瑞龍山2845ほか	公益財団法人 徳川ミュージアムほか	平19. 7.26
管理団体（平23.12. 6）公財徳川ミュージアム					
2代藩主徳川光圀が定めた儒教葬の形式で営まれた大規模な大名墓所					
28	史跡	常陸国府跡	石岡市総社1-278ほか	石岡市	平22. 8. 5
古代常陸国の役所跡。7世紀末から11世紀にかけての高い計画性をもつ建物群の変遷が判明					
29	史跡	西山御殿跡（西山荘） <small>にしやまごてんあと せいざんそう</small>	常陸太田市新宿町字西山590ほか	公益財団法人 徳川ミュージアム	平28. 3. 1
徳川光圀が元禄4年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観が残されている。					
30	史跡	泉坂下遺跡	常陸大宮市泉字坂下894ほか	常陸大宮市	平29.10.13
弥生時代中期前葉の再葬墓遺跡。墓域の全貌が判明した貴重な事例。人面付壺形土器をはじめとする出土品61点が国指定文化財に指定されている。					
31	史跡	瓦塚窯跡	石岡市部原字高芝604-1の一部ほか	管理団体 石岡市	平29.10.13
古代常陸国の窯跡（35基）。操業は7世紀前葉から10世紀前葉。常陸国における瓦生産の導入過程から常陸国府・国分寺の造瓦体制を知ることができる。					
32	史跡	長者山官衙遺跡及び常陸国 海道跡 <small>ちやうじゃやまかんが ひたちのくに かいどうあと</small>	日立市十王町伊師字愛宕脇3586ほか	管理団体 日立市	平30.10.15
奈良・平安時代の官衙遺跡。古代官道と思われる道路跡に東接する8世紀中葉から10世紀の掘立柱建物群と礎石建物群					
33	史跡	磯浜古墳群	東茨城郡大洗町磯浜町字日下ケ塚 2865- 8ほか	管理団体 大洗町	令2. 3.10
古墳時代前期から中期初頭の古墳群。前方後円墳2基、前方後方墳1基、円墳1基ほか6基から構成され、関東における古墳の展開を考える上で重要					

キ 国指定名勝

No.	種類	名称	所在地	所有者	指定年月日
1	名勝	常磐公園	水戸市常磐町・見川町	茨城県	大11. 3. 8
岡山市の後楽園、金沢市の兼六園と並ぶ日本三名園の一つ。					
2	名勝	桜川（サクラ）	桜川市磯部135ほか	管理団体（大14.8.13） 桜川市	大13.12. 9 昭49. 6.25 (追)
磯部稲村神社の参道をはさんで、約1kmに及ぶ桜並木。古くは磯部の百色桜					

No.	種類	名 称	所 在 地	所有者	指定年月日
3	名勝	袋田の滝及び生瀬滝	大子町袋田	管理団体 大子町	平27. 3.10
			約1,500万年前の火山角礫岩層の断崖を流れ落ちる風致の優れた2つの滝。 袋田の滝は「四度の滝」の異称をもつ。空海の命名伝説に始まり、近世の水戸藩主、近代の文人墨客等が訪れた風致の優秀な滝		
4	名勝	西山御殿跡（西山荘）	常陸太田市新宿町字西山590 ほか	公益財団法人 徳川ミュージアム	平28. 3. 1
			徳川光圀が元禄4年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観		

ク 国指定天然記念物

No.	名 称 ・ 数 量	所 在 地	管理者	指定年月日	樹勢回復事業等
1	ハマナス自生南限地帯	鹿嶋市大小志崎527ほか	鹿嶋市	大11. 3. 8	
2	いぶき山イブキ樹叢	日立市十王町伊師2204	日立市	大11.10.12	平13
3	安良川の爺スギ 1株	高萩市安良川1173	八幡宮	大13.12. 9	平14・15
4	白旗山八幡宮のオハツキイチョウ	水戸市八幡町8-54	白旗山八幡宮	昭4. 4. 2	
5	大戸のサクラ 1株	茨城町大戸1539	茨城町	昭7. 7.23	平9
6	片庭ヒメハルゼミ発生地	笠間市片庭	楞厳寺	昭9.12.28	
7	軍鶏（シヤモ）	東京都、茨城県、秋田県、 高知県、千葉県、青森県		昭16. 8. 1	
8	桜川のサクラ	桜川市磯部135ほか	桜川市	昭49. 7.16	

ケ 国選定重要伝統的建造物群保存地区

No.	名 称	所在地	区 域	面積	選定年月日
1	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市	桜川市真壁町真壁字下宿町、字高上町及び字大和町の全域並びに字上宿町及び字仲町の各一部	約17.6ha	平22. 6.29

コ 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財（国選択）

工芸技術

No.	名 称	所在地・保持者	概 要	選択年月日
1	<small>あわのしゅんげい</small> 栗野春慶	東茨城郡城里町粟 稲川 義良（昭58.11. 5 死亡） 稲川 昌三（平10. 1. 8 死亡）	城里町粟に伝わる、透明な漆を塗って器物の木地の木目を透かしてみせる春慶塗の技法を保持	昭51. 4.20
2	<small>にしのおちがみ</small> 西の内紙	常陸大宮市諸沢 菊池 五介（平3. 2.14死亡） 菊池 一男（平16. 3.31死亡） 小野瀬角次（平27.10.15死亡）	地元で生産される那須楮を原料とした手漉き和紙の技術を保持	昭52. 6. 1
3	<small>ししゅう</small> 刺繍	龍ヶ崎市 相沢吉太郎（昭58.12. 6 死亡）	高度な刺繍の技術で、旧武家華族や神官の装束などを手がけた。	昭53. 3.25

サ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）

（ア）風俗慣習

No.	名 称	所在地	概 要	選択年月日
1	田植に関する風俗	茨城県内	田植え唄・田植え踊り・田の神祭をはじめ、田植に係る風俗（昭和42年記録保存）	昭30. 3. 2
2	狩猟風俗	茨城県内	野生の鳥獣を捕らえる狩猟に際し受け継がれてきた風俗（昭和48年記録保存）	昭30. 3. 2
3	日立風流物	日立市宮田町	日立郷土芸能保存会（昭和51年記録保存）	昭49.12. 4
4	盆行事	茨城県内	旧暦7月13日に祖霊を迎え、16日に祖霊を送るまでの盆中に行われる行事（平成12年記録保存）	昭52. 5.19
5	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町	常陸大津の御船祭保存会（昭和59年・平成27年記録保存） 5年毎の佐波波地祇神社の祭礼	昭54.12. 7
6	大畑のからかさ万灯	土浦市大字大畑	からかさ万灯保存会（平成29年記録保存）	昭57.12.21
7	五所駒滝神社の祭事	桜川市	五所駒滝神社祭事保存会（平成28年記録保存） 世話人制度で運営される夏祭りを中心とした年間の祭礼習俗	昭61.12.17
8	北関東のササガミ習俗	茨城県、栃木県	2月8日と12月8日のコトヨウカ、あるいは片方に、庭にササガミサマを祭る習俗（平成16年調査）	平12.12.25
9	お柁廻しの習俗	福島県、茨城県	柁そのものや柁を入れた柁を神体にして複数の集落が祭祀を引き継いでいく特色ある習俗（平成27年記録保存）	平21. 3.11
10	東関東の盆綱	茨城県、千葉県	盆行事の一つで、墓地と家々の間を子どもたちが藁で作った綱を曳いて歩き、先祖の霊を送迎する行事	平27. 3. 2

（イ）民俗芸能

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	金砂田楽	常陸太田市	金砂田楽保存会（昭和51年記録保存）	昭46. 4.12
2	綱火	つくばみらい市	綱火保存連合会（昭和51年、同61年記録保存）	昭46.11.11
3	真家のみたま踊	石岡市真家	真家のみたま踊保存会（昭和52年記録保存）	昭47. 8. 5
4	大串のささらと大野のみろく	水戸市	大串のささらと大野のみろく保存団体連合会	昭48.11. 5
5	鹿島の祭頭祭	鹿嶋市、神栖市	祭頭囃保存会（昭和55年記録保存） 鹿島神宮で毎年3月9日に行われる春を告げる勇壮な祭り	昭51.12.25
6	あんば囃子	稲敷市	あんば囃子保存会 航海・漁撈の神として信仰を集めた大杉神社に伝わる囃子	昭53. 1.31
7	那珂湊の獅子とみろく	ひたちなか市	六町目の獅子保存会、元町のみろく保存会 (昭和57年、58年記録保存) 毎年8月末に行われる天満宮祭礼の御神幸行列に供奉する。	昭55.12.12
8	龍ヶ崎の撞舞	龍ヶ崎市	撞舞保存会（平成24年記録保存） 八坂神社祇園祭最終日、高い柱に登り様々な曲芸を演じる。	平11.12. 3

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
9	鹿島みろく	鹿嶋市	保護団体なし（平成25年記録保存）	平21. 3.11
		太鼓を伴奏に鹿島信仰にかかわる歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりする民俗芸能		

（ウ） 民俗技術

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	霞ヶ浦の帆引網漁の技術	土浦市、かすみ がうら市、行方市	土浦帆曳船保存会、霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会、行方市帆引き船保存会	平30. 3. 8
		折本良平が明治初期に考案。複数の布をつないだ大きな一枚帆で風を受け、風力を利用して船体を横滑りさせながら、袋状の網を曳いて漁獲する漁撈技術		

シ 選定保存技術の選定・保存団体の認定

No.	選定保存技術	保 存 団 体			選定・認定 年月日
	名 称	団体名	代表者	所在地	
1	茅採取	一般社団法人日本茅葺き文化協会	代表理事 安藤 邦廣	つくば市北条	平30. 9.25
		茅採取は、茅葺きに用いるためのススキやヨシなどを育成し、採取する技術。茅刈り、茅立て、茅選りという一連の作業を手際よく行う。同協会は、「ふるさと文化財の森」に設定されている高エネルギー加速器研究機構茅場において、同技術の保存・伝承に尽力している。			

（3） ユネスコ無形文化遺産一覧

No.	選定保存技術	保 存 団 体	登録年月日
1	結城紬（茨城・栃木）	結城紬は、結城市及び栃木県小山市を中心に製織されている。糸はすべて真綿から手つむぎしたもののみを使用し、 ^{かすり} 縞模様は手くびりにより、織りには ^{たていと} 経糸を腰で吊る織機を用いるなど、伝統的な技法を継承している。古代より受け継がれてきた技術と文化が世界に認められた。	平22.11.16
2	山・鉾・屋台行事 〔日立風流物〕	地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となって執り行う「山・鉾・屋台」の巡行を中心とする祭礼行事。平成21年に無形文化遺産に登録された日立風流物（茨城）、京都祇園祭の山鉾行事（京都）に、国指定重要無形民俗文化財31件を追加し、計33件の行事として平成28年に拡張登録された。	平21. 9.30 平28.11.30
3	伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術— 〔茅採取〕	古代以来途絶えることなく伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきた17件の国選定保存技術。自然素材を建築空間に生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、建築当初部材と取り替える新材との調和や一体化を実現する高度な技術が含まれている。	令 2.12.17

(4) 県指定文化財一覧

ア 有形文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
1	三重塔 1棟	桜川市真壁町椎尾3178 薬王院	昭30. 6.25	宝永元年(1704) 再建。棟梁桜井瀬左衛門
2	^{ほうぜんじ} 逢善寺仁王門 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭32. 6.26	万治年間。東京日枝神社より移築(明2)。解(昭50)
3	^{おおう} 大生神社本殿 1棟	潮来市大生814 大生神社	昭32. 6.26	江戸中期。銅板葺。解(昭48～49)
4	^{ずし} 厨子 1基	稲敷市神宮寺146 神宮寺	昭33. 3.12	室町末期。本瓦型板葺。解(平2)
5	長勝寺本堂 1棟	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	元禄年間。禅宗建築。入母屋造、茅葺。内部土間。解(昭56～60)
6	長勝寺楼門 1棟	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	桃山期に建立し、移築か。二重二階門。解(昭56～60、銅板葺に変更)
7	水海道小学校玄関 1棟	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭33. 3.12	明治14年(1881) 建築。移築復原(昭48)
8	八坂神社本殿 1棟	つくば市玉取2617 八坂神社	昭34. 5.22	宝永年間。流造
9	鹿島神社本殿 1棟	桜川市真壁町上谷貝1390 鹿島神社	昭34. 5.22	江戸中期。茅葺。茅屋根修理(平19)
10	薬王院仁王門 1棟	水戸市元吉田町682 薬王院	昭34. 5.22	貞享期の八脚門。解(平元～3) 自屋根葺替(平25)
11	^{しょうこうじ} 石造祥光寺多宝塔 1棟	桜川市本木78 祥光寺	昭35. 3.28	建仁2年(1202)。石造
12	不動院三重塔 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭35.12.21	安永5年(1776)。瓦棒銅板葺。解(平7)
13	石造五輪塔 1棟	つくば市小田 小田中部区	昭37.10.24	天文7年(1538) [刻銘]
14	石造五輪塔 1棟	かすみがうら市山本 かすみがうら市	昭39. 7.31	天文14年(1545) [銘]
15	不動院本堂 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭40. 2.24	安永年間。重層の密教本堂
16	国王神社本殿 1棟	坂東市岩井951 国王神社	昭41. 3. 7	天和3年(1683) の流造。茅葺
17	巖島神社本殿 1棟	銚田市子生877 巖島神社	昭43. 3.28	元禄年間の禅宗様系
18	石岡の陣屋門 1棟	石岡市総社1 石岡市	昭43. 9.26	文政11年(1828)。府中藩陣屋門。解(平15)
19	^{かんのんじ} 観音寺本堂 1棟	^{うわど} 潮来市上戸624 観音寺	昭44. 3.20	室町中～末期。寄棟造、茅葺。解(平10)
20	阿弥陀堂本堂 1棟	常陸太田市大里町3708 来迎院(管理責任者 大里町)	昭44. 3.20	享保3年(1718)。方形造、茅葺。屋根(平29)
21	阿弥陀堂楼門 1棟	常陸太田市大里町3708 来迎院(管理責任者 大里町)	昭44. 3.20	宝暦10年(1760)。入母屋造、茅葺。屋根部(平25)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
22	笠間城櫓 1棟	笠間市笠間323 真浄寺	昭44.12.1	江戸末期。笠間藩物見櫓。廃城の際に移築（明10）
23	旧茂木家住宅 1棟	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭45.5.28	江戸中期。旧牛堀町から移築復原（昭48）。茅葺。屋根（平11）
24	旧所家住宅 1棟	潮来市日の出4-7 潮来市	昭45.5.28	18世紀後半。桂村から移築復原（昭47）。茅葺。銅板葺覆屋
25	阿弥陀堂 1棟	行方市羽生745 万福寺	昭45.9.28	貞享4年（1687）。茅葺。屋根（平25）
26	仁王門 1棟	行方市羽生745 万福寺	昭45.9.28	天正年間。八脚門。茅葺。 逢善寺から享保9年（1724）に移築〔伝承〕。 屋根（平25）
27	西光院本堂 1棟	石岡市吉生2734 個人	昭45.9.28	寛政3年（1791）。懸造、銅板葺。 半解（昭47）
28	大洗磯前神社本殿・拝殿 2棟	大洗町磯浜町 大洗磯前神社	昭45.9.28	本殿：元禄期、拝殿：江戸中期 塗装（平18～19）
29	堀江家書院 1棟	常陸太田市大方町 個人	昭45.9.28	江戸末期。御殿風書院、茅葺
30	長勝寺（方丈・書院・玄関・庫裡・隠寮） 1棟	潮来市潮来428 長勝寺	昭46.3.29	元禄年間。瓦葺
31	小山寺本堂・仁王門・鐘楼 3棟	桜川市富谷2190 小山寺	昭46.10.28	本堂：元禄10年（1697）。大修理（平4～5） 仁王門：享保16年（1731）。解（平23～24） 鐘楼：享保16年
32	四脚門 1棟	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭46.12.2	室町末期。茅葺。屋根（平18）。 解（平29～30）
33	前野家住宅 1棟	土浦市永井694 個人	昭47.12.18	直屋。文化3年（1806）〔棟札〕
34	八柱神社本殿 1棟	桜川市真壁町塙世968 八柱神社	昭47.12.18	天明期建立。大聖天（歓喜天）を祀る。
35	鈴木家住宅 1棟	那珂市額田南郷 個人	昭47.12.18	貞享4年（1719）。御殿と呼称。茅葺
36	旧中山家住宅 1棟	古河市鴻巣1045 古河市	昭48.8.27	17世紀末。坂東市から移築復元（昭49）
37	富岡家住宅 1棟	土浦市白鳥町602 個人	昭49.3.31	江戸前期。茅葺。屋根修理（平22）
38	二十三夜尊堂（旧延方学校聖堂） 1棟	潮来市辻197-7 月読神社	昭49.3.31	文化4年（1807）。唐様、銅板葺。内田山から移築（明11）。塗装（平18）
39	無量寿寺本堂 1棟	鉾田市鳥栖1013 無量寿寺	昭49.3.31	元禄15年（1702）。真宗本堂様式。 解（平13～16）
40	無量寿寺鐘楼 1棟	鉾田市鳥栖1013 無量寿寺	昭49.3.31	享保12年（1727）。茅葺。避雷（昭57）・屋根自（平15）・部自（平15）
41	無量寿寺山門 1棟	鉾田市鳥栖1013 無量寿寺	昭49.3.31	元禄頃。銅板葺（当初は茅葺）
42	小野家住宅 1棟	日立市諏訪町2-18-11 個人	昭49.11.25	18世紀前半。曲屋形式。山横目住宅。茅葺
43	木村家住宅（旧水戸街道旅籠皆川屋） 1棟	かすみがうら市下稻吉1393 個人	昭49.11.25	安政4年（1857）。水戸街道稲吉宿。 解体（昭51）
44	不動院楼門 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭49.11.25	元禄年間。瓦棒銅板葺。解（平20～23）
45	雨引観音本堂 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭50.3.25	宝永7年（1710）。棟梁桜井瀬左衛門。 密教本堂

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
46	雨引観音仁王門 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭50.3.25	宝永年間。本瓦葺(明23変更。当初茅葺)
47	旧宍戸城表門 (附宍戸氏家紋) 1棟	笠間市土師622 個人	昭51.7.5	天保15年(1845)。長屋門形式。棧瓦葺。 明治初移築。大規模修理(昭60～61)
48	雨引観音 ^{らくほうじ} 楽法寺東照山王 社殿(附棟札2枚) 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭51.7.5	享保12年(1727)。解(平元)。 現状変更(平元。鉄板葺から柿葺へ)
49	雨引観音楽法寺多宝塔 (附棟札1枚) 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭51.7.5	嘉永6年(1853)[棟札]。大規模多宝塔。 部(昭56～58)・解(昭63)
50	香取神社本殿 1棟	坂東市 ^{くつかけ} 沓掛4124 香取神社	昭52.5.2	18世紀前期。木羽葺。塗(平3)・部(平4)
51	鹿島神社本殿 (附棟札1枚) 1棟	つくば市大形 鹿島神社	昭52.5.2	延享2年(1745)。柿葺。覆屋は瓦棒トタン葺。部自(平15・浜床)
52	国王神社拝殿 1棟	坂東市岩井951 国王神社	昭52.7.18	文化14年(社伝延宝3年)。茅葺。現状変更(昭63、銅製グシ)。屋根(平15・平19)
53	筑波山神社神橋 1棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年(1633)。柿葺。元禄15(1702) 改修。塗(昭63)。部(令元)
54	筑波山神社境内社春日神社本殿・日枝神社本殿及 両社拝殿 3棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年(1633)[小屋裏墨書銘]。もとは柿葺。現状は3棟とも瓦棒銅板葺
55	筑波山神社境内社巖島神社本殿 1棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年(1633)。春日造、柿葺。 塗装自(平8)
56	^{ほうぜんじ} 逢善寺本堂 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭55.2.28	天保年間。密教本堂様式。銅板葺。 解(昭56～61)
57	逢善寺書院・庫裡 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭55.2.28	文久2年(1862)。豪壯。茅葺。屋根(平17)。 庫裏屋根(平19～20)
58	矢口家住宅 (附家相図7枚) 3棟	土浦市中央1-6-13 個人	昭55.12.25	天保末年。土蔵造、棧瓦葺。部(昭55、台所・ 食堂など)。屋根部(平3)。解(平27)
59	旧水戸城薬医門 1棟	水戸市三の丸3-10-1 茨城県教育委員会	昭58.3.18	桃山末期。茅葺風銅板葺。移築復原(昭56)
60	^{ほづみ} 穂積家住宅 (主屋1棟・長屋門1棟・ 前蔵1棟・衣裳蔵1棟、 敷地4,172.71㎡、 附屋敷図屏風1雙) 4棟	高萩市上手綱2337 高萩市	平元.1.25	主屋：寛政元年(1789)。茅葺。 自解(平12～15)。自屋根(平22)
61	大場家住宅 (主屋1棟・表門1棟・ 通用門1棟、敷地2,485.29㎡、 附家相図等2枚) 3棟	行方市玉造甲4533 公益財団法人 大山守大場家保存協会	平元.4.6	江戸中～後期。大山守住宅。茅葺。解(平16～20)。 主屋：部(平2)・屋根(平4)。 長屋門：屋根(平5・平30)。通用門：屋根(平5・平30)。 現状変更(平8、主屋役宅部脇・廁解体保存)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
62	^{とりのこ} 鷺子山上神社本殿（附棟札2枚）・随神門（附棟札1枚） 2棟	常陸大宮市鷺子3627 鷺子山上神社	平2. 1.25	本殿：天明8年（1788） 随神門：文化12年（1815） ともに大修理（明治24）
63	吉沼八幡神社本殿・本殿 覆屋 2棟	つくば市吉沼1456 吉沼八幡神社	平2. 1.25	本殿：貞享2年（1685）[墨書]。茅葺 覆屋：慶応3年（1867）。棧瓦葺
64	観音寺本堂・仁王門 （附宮殿1基・須弥壇1基・ 棟札14枚・銘板1枚） 2棟	牛久市久野町2976 観音寺	平3. 1.25	本堂：宝永4年（1707）大修理。茅葺形 銅板葺（本堂）。鉄板葺（仁王門）。半解 （平元）
65	^{かなむら} 金村別雷神社本殿・本殿 覆屋（附棟札1枚） 2棟	つくば市上郷8319-1 金村別雷神社	平3. 1.25	正徳元年（1711）
66	綿引家住宅主屋・倉 2棟	水戸市元吉田町 個人	平3. 1.25	江戸後期。ともに茅葺
67	^{かもとり} 鴨鳥五所神社本殿 （附棟札2枚・銘札1枚） 1棟	桜川市大泉1480 鴨鳥五所神社	平5. 1.25	室町中期。銅板葺（昭32、茅葺から変更）
68	熊野神社本殿 （附棟札8枚） 1棟	行方市島並1298 熊野神社	平7. 1.23	万治年間。銅板葺
69	旧取手宿本陣染野家住宅 主屋・土蔵 （附表門1棟） 2棟	取手市取手2-16-41 取手市教育委員会	平8. 1.25	寛政7年（1795）。茅葺。土蔵（昭62・63）、 主屋（平4～6）解。附追加指定表門（平 26. 1.27）
70	^{がっさんじ} 月山寺書院 1棟	桜川市西小埜1677 月山寺	平10. 1.21	江戸初期。茅葺。自差茅（平10・平13）。 解（平27）
71	羽黒神社本殿 （附棟札1枚） 1棟	筑西市甲37 宗教法人羽黒神社	平14. 1.25	寛永年間。享保年間に大修理。 自屋根修理（平11）
72	上羽黒神社本殿及び拝殿 2棟	筑西市岡芹968-1 宗教法人上羽黒神社	平14. 1.25	本殿・拝殿とも寛永期。 本殿屋根トタン塗装（平18）
73	長禅寺三世堂 1棟	取手市取手2-9-1 宗教法人長禅寺	平16. 1. 8	宝暦13年(1763)再建。 享和元年(1801)再営 [ともに棟札]。 寛政12年(1800)修理 [擬宝珠刻銘]
74	旧畑家住宅（麻生藩家老 屋敷記念館） （附表門1棟） 1棟	行方市麻生1153-1 行方市	平20.11.17	安政4年（1857）再建 [棟札]。 屋根葺替、部分修理（平3～5）。 自屋根葺替（平22～23）
75	木村家住宅 1棟	茨城町長岡229-1 個人	平26. 1.27	江戸末期（安政5、6年頃（1858-1859頃））。 自・半解（平17～19）
76	東漸寺観音堂・山門 （附宮殿1基、棟札1枚） 2棟	取手市本郷3-9-19 宗教法人東漸寺	平27. 1.22	観音堂：寛文7年（1667）。茅葺型銅板葺。 自・解（平18～20）。 山門：元禄3年（1690）。茅葺

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
77	佛性寺観音堂・仁王門2棟 (附観音堂宮殿1基・棟札1枚)	八千代町大字栗山476 佛性寺	平29.12.25	観音堂：延宝8年（1680）。鉄板葺（昭38） 仁王門：安永3年（1774）。棧瓦葺（昭38） いずれれもと茅葺
78	旧土肥家住宅 2棟	ひたちなか市阿字ヶ浦町字千駄切552-13 国営ひたち海浜公園「みはらしの里」 国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所	平30.12.27	主屋：17世紀中期頃 隠居屋：宝永3年（1706） 旧新利根村太田から移築復原（平22）。 茅葺
79	旧小松家住宅 1棟	小美玉市下玉里1831 小美玉市	令元.12.26	18世紀後期 上玉里から移築復原（平9）。 茅葺。曲屋「二つ曲がり」

【絵画】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
1	梵字曼陀羅 1幅	桜川市西小墾1677 月山寺	昭28. 7. 9	室町初期。刺繍曼茶羅
2	ごだいそんえぞう 五大尊絵像 2幅	常陸太田市玉造町495 愛宕神社	昭30. 1.25	鎌倉末期。表装（昭55）
3	絹本曼茶羅 1幅	坂東市生子 ^{おいご} 1617 萬蔵院	昭30. 6.25	鎌倉時代。金剛界曼茶羅
4	ふげんぼさつ 絹本普賢菩薩像 1幅	土浦市文京町1-27 神龍寺	昭30. 6.25	室町時代。修理（平9）
5	絹本当麻曼茶羅 1幅	結城市結城1591 弘経寺 ^{ぐぎょうじ}	昭32. 1.25	鎌倉末期
6	襖絵（紙本） 10幅	結城市結城1591 弘経寺	昭32. 1.25	江戸時代宝暦頃。与謝蕪村筆
7	武者肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32. 1.25	桃山時代。結城政朝 ^{まさとも} 像
8	両部曼茶羅 2幅	桜川市西小墾1677 月山寺	昭32. 6.26	文亀2年（1502）[箱書]
9	はるとも 結城晴朝肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32. 6.26	慶長年間
10	まさとも 結城政朝夫人肖像画 1幅	結城市結城461 孝顕寺	昭32. 6.26	天文年間。比丘尼姿
11	むそうこくし ちんぞう 夢窓国師頂相 1幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	室町時代。修理（昭59）
12	がっさん ちんぞう 月山和尚頂相 1幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	応永12年（1405）
13	十六羅漢像 16幅	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	りりゅうみん 李竜珉様。修理（昭61～62）
14	と きよりふさ 土岐頼英夫人肖像画 1幅	稲敷市下太田79 智心院	昭33. 3.12	万治3年（1660）
15	だいがく 太嶽大和尚頂相 1幅	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	元禄年間
16	絹本着色 愛染明王画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34. 5.22	鎌倉時代
17	絹本着色 弁財天画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34. 5.22	鎌倉末期。八臂 ^{はっぴ} 像
18	絹本着色 十一面観音画像 1幅	桜川市本木1 楽法寺	昭34. 5.22	鎌倉末期
19	絹本着色 釈迦十六善神画像 1幅	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.13	南北朝時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
20	絹本着色 興教大師画像 1幅	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.13	鎌倉末期～南北朝初期
21	絹本着色 黄不動明王画像 1幅	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.13	鎌倉時代
22	絹本着色 御廟天神画 1幅	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	室町時代
23	絹本著色 神酒天神画 1幅	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	室町時代
24	紙本着色 北野天神縁起絵巻 2巻	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	応永22年(1415) [銘]
25	紙本着色 三十六歌仙絵 36幅	常総市大生郷町1234 大生郷天満宮	昭35.12.13	室町時代
26	紙本著色 三十六歌仙 (紙本歌帳を含む) 35枚(36枚)	那珂市静9 静神社	昭37.10.24	松月軒等善筆
27	絹本著色 八景の図 3幅	筑西市中館522 観音寺	昭37.10.24	延宝元年(1673)。 狩野探幽筆
28	絹本著色 十三仏 1幅	境町1146 個人	昭37.10.24	室町時代か。
29	絹本著色 阿弥陀如来像 1幅	茨城町鳥羽田656 円福寺	昭37.10.24	鎌倉末期
30	絹本著色 両界曼荼羅 2幅	古河市小堤1405 円満寺	昭38. 8.23	鎌倉時代
31	絹本著色 来迎弥陀三尊像 1幅	坂東市岩井1111 延命寺	昭38. 8.23	鎌倉末期
32	絵馬 1枚	筑西市甲37 羽黒神社	昭38. 8.23	寛永15年(1638)。軍馬絵
33	絹本著色 土井利勝肖像画 1幅	古河市大手町7-1 正定寺	昭39. 7.31	江戸時代
34	絵馬 1枚	筑西市岡芹968-1 上羽黒神社	昭39. 7.31	羽黒神社の絵馬と一対
35	絹本著色 弁財天画像 1幅	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭39. 7.31	室町時代。修理(平16)
36	絹本著色 涅槃像 1幅	かすみがうら市中志筑1353 長興寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭41. 3. 7	室町初期
37	絹本著色 釈迦涅槃像 1幅	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	宋画の影響。修理(平3)
38	紙本着色 小田政治肖像画 1幅	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	大永2年(1522) [賛]
39	紙本着色 小田氏治肖像画 1幅	土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	天正16年(1588) [賛]
40	絹本色糸 蓮糸織出六字名号 1幅	つくば市若栗498 念向寺	昭44. 3.20	室町時代。刺繍
41	絹本着色 愛染明王像 1幅	つくば市中根530 慈恩寺	昭44. 3.20	室町時代
42	絹本着色 阿弥陀如来画像 1幅	小美玉市与沢776 個人	昭44. 3.20	鎌倉時代か。修理(平8)
43	絹本着色 善導大師画像 1幅	小美玉市与沢776 個人	昭44. 3.20	鎌倉時代か。
44	絹本着色 聖徳太子勝鬘經 御講讚図 1幅	小美玉市与沢776 個人	昭44. 3.20	鎌倉時代か。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
45	絹本着色 金剛界大日如来画像 1幅	大洗町大貫町802 西光院	昭44. 3.20	室町時代
46	絹本着色 両界曼荼羅	2幅 常陸太田市玉造町495 愛宕神社	昭44. 3.20	廃寺明王山弥勒寺伝来のもの。
47	絹本着色 阿弥陀三尊来迎仏	3幅 かすみがうら市宍倉787 最勝寺	昭44.12. 1	鎌倉末期。修理（平16）
48	来迎の弥陀	1軸 筑西市大字森添島1107-1 観音院	昭45. 9.28	鎌倉中期
49	華山潮来明月舟遊の図	1枚 潮来市辻1 個人	昭46.10.28	渡辺崋山が榊原家滞在中に描く。
50	涅槃図	1幅 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	鎌倉末期。釈迦八相を描く。
51	智光曼荼羅	1幅 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	著色金泥画
52	清海曼荼羅	1幅 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	紺地金泥画
53	親鸞聖人画像	1幅 大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	真向御影。修理（平16）
54	絹本著色 阿弥陀如来来迎図	1幅 日立市宮田町5-2-22 日立市郷土博物館	昭49. 3.31	鎌倉末期か。
55	絹本着色 両界曼荼羅	2幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭62～63）
56	絹本着色 弘法大師像	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭63）
57	絹本着色 真言八祖像	8幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭56、57、59）
58	絹本着色 十二天立像	12幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	修理（昭60、61）
59	絹本着色 六字経曼荼羅	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町後期
60	絹本着色 十三仏図	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町末期
61	絹本着色 釈迦十六善神図	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	南北朝～室町初期
62	紙本着色 制吒迦童子像	1幅 水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町末期
63	紙本著色 両界曼荼羅	2幅 鹿嶋市浜津賀378 慈眼寺	昭52. 5. 2	室町時代
64	絹本著色 両界曼荼羅図	2幅 筑西市桑山1696-1 神宮寺	昭57. 3. 4	室町前半
65	扁額三十六歌仙絵	14面 石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58. 3.18	文亀2（1502）～3年
66	紙本著色 滝見観音図 雪村筆	1幅 常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭62. 1.26	天文11年（1542）前後か。
67	絹本著色 如意輪観音像	1幅 常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭62. 1.26	14世紀前半頃
68	絹本著色 滝見観音図	1幅 那珂市下大賀1145 弘願寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭63. 1.25	雪村が正宗寺蔵「滝見観音図」を描いた際に参考にした作品
69	紙本著色 伝真壁道無	1幅 桜川市真壁町真壁57-1 桜川市	平11.11.25	16世紀後半。真壁久幹を描く。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
70	絹本墨画 芦雁図 立原杏所筆 1幅 <small>ろがんす たちばらきょうしよ</small>	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平14. 1.25	江戸後期。関東文人画の一人
71	絹本著色 観経十六観变相図 1幅 <small>かんぎょう</small>	高萩市本町1-128 大高寺	平14. 1.25	高麗14世紀初頭
72	絹本著色 流燈 横山大観筆 1幅 <small>りゅうとう</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平16. 1. 8	明治42年。五浦海岸で制作
73	絹本著色 源頼朝像 狩野洞雲筆 1幅 <small>とうらうん</small>	潮来市潮来428 宗教法人長勝寺	平16.11.25	元禄年間。太嶽の自賛あり
74	紙本著色 釈迦羅漢像 雪村周継筆 3幅 <small>せつそんしゅうけい</small>	石岡市柿岡2136 宗教法人善慶寺	平17.11.25	中幅に釈迦と阿難・迦葉、左右幅に五人ずつ羅漢。晩年の作
75	紙本墨書 維摩居士像（附徳川光圀書状4通 松平頼救跋） 1枚 <small>ゆいま こじ</small>	鉾田市大蔵113 宗教法人福泉寺	平17.11.25	維摩は在家の釈迦の弟子。中世の本格的な水墨画
76	絹本著色 聖徳太子絵伝 1幅	東海村石神外宿 宗教法人願船寺	平18.11.16	室町初期。略絵伝様式初期の作
77	カルピスの包み紙のある静物 中村彝筆 油絵 麻布 1923年 1面 <small>つね</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平18.11.16	本県出身の洋画家中村彝晩年の代表作
78	紙本淡彩 海島秋来 小川芋銭筆 1幅 <small>かいとうしゅうらい うせん</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平22.11.18	本県出身の画家小川芋銭晩年の代表作
79	絹本彩色 阿房劫火 木村武山筆 1幅 <small>あぼうごうか</small>	水戸市千波町666-1 茨城県近代美術館	平22.11.18	本県出身の画家木村武山の代表作
80	絹本著色 毘沙門天像 1幅	筑西市黒子214-1 宗教法人東睿山千妙寺	平28. 1.21	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝
81	絹本著色 日吉山王本地仏曼荼羅図 1幅 <small>ひ えさんのうほんじぶつ</small>	筑西市黒子214-1 宗教法人東睿山千妙寺 (茨城県立歴史館寄託)	平29. 1.26	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝
82	紙本著色 金山寺図屏風 雪村周継筆 6曲1隻 <small>せき</small>	笠間市笠間39 笠間稲荷神社	平29.12.25	室町末期。雄大な景観と繊細な建物等を幻想的に描く

【彫刻】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	薬師如来木像 1軀	桜川市西小埜1677 月山寺 <small>がっさんじ</small>	昭28. 7. 9	鎌倉後期
2	鍍金仏 1軀 <small>とくごんぶつ</small>	水戸市緑町1-2-1 信願寺	昭29. 8.18	鎌倉時代。善光寺式像
3	薬師瑠璃光如来像 1軀 <small>るりこう</small>	桜川市真壁町椎尾3178 薬王院	昭30. 1.25	鎌倉後期
4	聖徳太子木像 1軀	坂東市みむら1793 妙安寺	昭30. 1.25	14世紀後半

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
5	阿弥陀如来像 1軀	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭30. 1.25	鎌倉末期。安阿弥様
6	金剛力士像 2体	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	鎌倉時代か。
7	御神像 1軀	つくば市上境328 体見神社	昭30.11.25	天文年間の修理銘文
8	木造佐白観音坐像 1体	笠間市笠間1056-1 正福寺	昭32. 1.25	鎌倉半ば。千手観音
9	菩薩像 2体	桜川市西小墾1677 月山寺	昭32. 1.25	平安後期
10	薬師如来像 1体	桜川市西小墾1677 月山寺	昭32. 1.25	鎌倉時代。定朝様踏襲
11	十一面観世音菩薩像 1軀	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭32. 6.26	鎌倉末期頃
12	阿弥陀如来坐像及両脇侍像 3軀	潮来市潮来428 長勝寺	昭33. 3.12	鎌倉前期
13	阿弥陀如来立像及両脇侍像 3軀	行方市羽生745 万福寺	昭33. 3.12	14世紀前半
14	地藏菩薩立像 1軀	かすみがうら市戸崎1300 松学寺	昭33. 3.12	平安風の鎌倉時代作か。
15	阿弥陀如来坐像 1軀	牛久市奥原町2412 願名寺 <small>がんみょうじ</small>	昭33. 3.12	13世紀前半～半ば
16	毘沙門天立像 1軀	美浦村布佐1080 美浦村	昭33. 3.12	鎌倉時代。修理（昭62）
17	薬師如来立像 1軀	美浦村土浦2060 妙香寺	昭33. 3.12	鎌倉時代。480cm
18	釈迦如来立像 1軀	稲敷市阿波崎177 満願寺	昭33. 3.12	7世紀後半。金銅仏
19	寝釈迦像 1軀	稲敷市上根本3063 阿弥陀寺	昭33. 3.12	江戸時代
20	不動明王坐像 1軀	結城市山川新宿311-1 大栄寺 <small>だいえい</small>	昭33. 3.12	室町時代。修理（平18）
21	薬師如来坐像 1軀	行方市西蓮寺504 西蓮寺	昭33. 3.12	平安後期（11世紀末）
22	観音菩薩立像 1軀	潮来市大生750 延命院	昭33. 3.12	平安中期
23	増長天立像 1軀	北茨城市磯原町大塚135 長福寺	昭33. 7.23	平安末期
24	聖徳太子立像 1軀	常陸大宮市鷲子2236-1 照願寺	昭33. 7.23	十六歳孝養太子像
25	十一面観音菩薩坐像 1軀	桜川市富谷2190 小山寺	昭33. 7.23	11世紀。鉈彫像
26	木造狛犬 <small>こまいぬ</small> 2軀	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	江戸初期
27	懸仏 <small>かたぼとけ</small> 1軀	稲敷市高田3548-15 個人	昭33. 7.23	銅板製鍍金
28	木造薬師如来坐像 1軀	水戸市元吉田町682 薬王院	昭34. 5.22	13世紀後半
29	木造神像 1軀	常陸太田市西河内中町239 天満神社	昭34. 5.22	鎌倉後期。男神坐像
30	金銅造阿弥陀如来立像 1軀	土浦市立田町3-28 浄真寺	昭34. 5.22	弘長元年（1261）[銘]。善光寺式像
31	木造阿弥陀如来座像 1軀	桜川市本木78 祥光寺 <small>しょうこうじ</small>	昭35. 3.28	平安末期
32	銅板十一面観音御正体 <small>みしょうたい</small> 1面	土浦市真鍋1-15-5 個人	昭35. 3.28	線刻
33	木造阿弥陀如来坐像 1軀	坂東市辺田355 西念寺	昭35.12.21	鎌倉初期。修理（平18）。定朝様踏襲
34	木造釈迦如来座像 1軀	水戸市飯島町512 福性院	昭35.12.21	13世紀後半。在地仏師の作
35	木造立木観音菩薩像 <small>たちき かんのおん ぼさつぞう</small> 1軀	石岡市吉生2734 個人	昭36. 7.21	12世紀 [1574年修理銘]
36	木造弘法大師像 1軀	城里町徳蔵874 徳蔵寺	昭37. 2.26	室町時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
37	両界曼荼羅版木 1面	城里町徳蔵874 徳蔵寺	昭37. 2.26	室町時代
38	金銅阿弥陀三尊像 3軀	下妻市高道祖4429 常願寺	昭37. 2.26	14世紀。善光寺式三尊
39	浅川獅子頭 3頭	太子町浅川3903 浅川ささら保存会	昭37. 2.26	寛永7年（1630）
40	木造持国天立像 1軀	北茨城市磯原町大塚135 長福寺	昭37.10.24	平安末期
41	木造阿弥陀如来三尊像 3軀	茨城町鳥羽田656 円福寺	昭37.10.24	徳治2年（1307）[銘札]
42	石造地藏菩薩立像(石造龕を含む) 1軀	つくば市小田4003 小田中部区	昭37.10.24	正応2年（1289）[刻銘]
43	木造釈迦如来三尊像 3軀	日立市宮田町5-6-15 大雄院	昭37.10.24	文明6年（1474）[銘]
44	木造大黒天像 1軀	水戸市河和田町887 報仏寺	昭37.10.24	室町末期か。
45	木造愛宕明神立像 1軀	筑西市甲37 羽黒神社	昭38. 8.23	鎌倉末期。修理（昭37）
46	木造十一面千手観音像 1軀	かすみがうら市中志筑 須賀神社氏子	昭38. 8.23	13世紀後半
47	石造阿弥陀如来立像 1軀	かすみがうら市高倉1387 高倉区	昭38. 8.23	元享4年（1324）造立
48	百体磨崖仏	かすみがうら市上志筑634 願成寺	昭38. 8.23	室町～江戸時代
49	木造大日如来坐像 1軀	坂東市岩井1111 延命寺	昭38. 8.23	室町時代
50	木造親鸞上人像 1軀	古河市中央町2-8-30 宗願寺	昭39. 7.31	室町時代
51	木造阿弥陀如来立像 1軀	つくばみらい市小張2623 善空寺	昭40. 2.24	貞和2年（1346）[銘]
52	木造狛犬 2軀	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭40. 2.24	鎌倉時代
53	木造不動明王立像 1軀	桜川市本木1 楽法寺	昭40. 2.24	永享12年（1440）[銘]
54	木造十一面観音立像 1軀	石岡市若松1-8-23 東耀寺	昭40. 2.24	鎌倉末期。修理（平14）
55	銅造阿弥陀如来三尊像 3軀	石岡市茨城1-12-21 万福寺	昭40. 2.24	永仁3年（1295）[銘]。 善光寺式像
56	木造阿弥陀如来坐像 1軀	常陸太田市大里町3708 来迎院	昭40. 2.24	修理（昭40）
57	木造毘沙門天立像 1軀	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭40. 2.24	平安末期
58	木造女神像 1軀	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭40. 2.24	平安末期
59	木造地藏菩薩坐像 1軀	古河市鴻巣396-6 個人	昭41. 3. 7	室町時代。左目半眼
60	木造不動明王坐像 1軀	行方市芹沢505 法眼寺	昭41. 3. 7	永禄13年（1570）[銘]
61	金銅仏多聞天 1軀	かすみがうら市東野寺763-11 地福院	昭42. 3.30	鎌倉中期。像高15.5cm
62	木造阿弥陀如来立像 1軀	かすみがうら市新治981-3 中郷谷区	昭42. 3.30	鎌倉時代。在地仏師の作
63	寄木造平将門の木像 1軀	坂東市岩井951 国王神社	昭42. 3.30	室町時代か。男神坐像
64	寄木造十一面観音立像 1軀	笠間市手越195 東性寺	昭42. 3.30	室町時代
65	木造阿弥陀如来立像(像内寛文十三年修理奥書阿弥陀経一卷等アリ) 1軀	茨城町下座628 下座区	昭42.11.24	修理（昭57）
66	鑄造十一面千手観音菩薩像 1軀	城里町塩子1736 岩谷山仏国寺	昭42.11.24	室町末期。焼損修理(平7)
67	銅造阿弥陀如来立像 1体	土浦市高岡1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭43. 3.28	鎌倉末期。善光寺式像

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
68	木造中峯禅師坐像 <small>ちゅうほうぜんじざう</small>	1体 土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	室町時代。中国元代(寺伝)
69	金銅化仏 <small>けぶつ</small>	1体 水戸市泉町2-1-2 個人	昭44. 3.20	懸仏の文殊菩薩
70	木造阿弥陀如来立像	1軀 大洗町大貫町802 西光院	昭44. 3.20	鎌倉末期
71	木造阿弥陀如来坐像	1軀 大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	室町末期
72	木造阿弥陀如来坐像	1軀 大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	鎌倉時代。胎内仏
73	木造観世音菩薩立像	1軀 大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍
74	木造勢至菩薩立像 <small>せいし</small>	1軀 大洗町磯浜町5298 西福寺	昭44. 3.20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍
75	木造十一面観世音菩薩像	1体 笠間市大田町324 養福寺	昭44.12. 1	鎌倉末期。修理(平19～20)
76	木造阿弥陀如来坐像	1体 かすみがうら市栄倉787 最勝寺	昭44.12. 1	元禄11年(1698)[光圀寄進銘]
77	木造弘法大師像	1体 かすみがうら市牛渡1953 八田集落	昭44.12. 1	延徳元年(1489)[銘]
78	木造十一面観世音菩薩像	1体 かすみがうら市深谷1399 法蔵寺	昭44.12. 1	鎌倉末期。四臂像 <small>よんぴ</small>
79	木造不動明王・毘沙門天立像	2軀 桜川市富谷2190 小山寺	昭44.12. 1	不動明王追加(平10.1.21)
80	木造大日如来坐像	1軀 日立市入四間町752 御岩神社 <small>おいわ</small>	昭44.12. 1	室町時代
81	木造観世音菩薩坐像	1軀 日立市東河内町899 玉簾寺 <small>ぎょくれん</small>	昭44.12. 1	南北朝。宝冠阿弥陀
82	木造阿弥陀如来坐像	1軀 笠間市上加賀田916 阿弥陀講世話人会	昭44.12. 1	室町末期頃
83	直牒洞の石仏 <small>じまてつどう</small>	3体 常陸太田市松栄町615 香仙寺	昭45. 9.28	阿弥陀三尊(平安か)
84	木造不動明王像及び両童子	3軀 笠間市箱田861 下箱田総代会	昭46. 1.28	室町末期
85	木造如意輪観世音菩薩像(附胎内仏) 2軀	潮来市水原1121 愛染院	昭46. 1.28	室町時代
86	木造仁王像	2体 常陸太田市下利員町 西光寺	昭46. 1.28	(管責)下利員区。修理(平17～18)
87	木造如意輪観世音菩薩坐像	1軀 鉾田市汲上1731 華徳院	昭46. 3.29	平安後期。修理(平10)
88	木造阿弥陀如来立像	1体 那珂市額田南郷375 阿弥陀寺	昭46.10.28	鎌倉末期。修理(昭63)
89	木造阿弥陀如来及両脇侍立像	3軀 那珂市額田南郷429 引接寺	昭46.10.28 (追平6.1.26)	元禄9年(1696)[光圀寄進銘] 鎌倉末期
90	木造如意輪観世音菩薩坐像	1体 桜川市坂本452 坂本区	昭46.10.28	鎌倉時代
91	木造狛犬	1対 桜川市磯部779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭46.10.28	室町末期
92	木造薬師如来坐像	1体 桜川市磯部779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭46.10.28	貞和2年(1346)[銘]
93	木造阿弥陀如来立像	1体 常陸太田市東連地町200 宗教法人青蓮寺	昭46.10.28	鎌倉時代
94	木造大日如来坐像	1体 神栖市波崎3355 神善寺	昭46.12. 2	元和8年(1622)[銘]
95	木造釈迦涅槃像	1体 神栖市波崎3355 神善寺	昭46.12. 2	室町時代。修理(平19～21)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
96	木造狛犬 1対	桜川市西小嶋462 二所神社	昭46.12.2	室町時代
97	木造薬師如来坐像 1体	那珂市飯田1085 一乘院	昭47.12.18	室町中期
98	木造毘沙門天像 1体	那珂市飯田1085 一乘院	昭47.12.18	鎌倉中期。修理(平5)
99	木造吉祥天像 1体	那珂市飯田1085 一乘院	昭47.12.18	毘沙門天の脇侍
100	木造善尼童子像 1体	那珂市飯田1085 一乘院	昭47.12.18	毘沙門天の脇侍
101	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3体	常陸大宮市国長853 阿弥陀院	昭47.12.18	鎌倉中～末期
102	銅造阿弥陀如来立像 1体	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	法量43.2cm
103	木造阿弥陀如来立像 1体	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	鎌倉中期
104	木造阿弥陀如来立像 1体	常陸大宮市石沢1467 常弘寺	昭47.12.18	室町時代か。
105	木造聖徳太子立像 1体	常陸大宮市石沢1467 常弘寺	昭47.12.18	永禄6年(1563)[銘]
106	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3体	水戸市大塚町 満福寺代表 (茨城県立歴史館寄託)	昭47.12.18	3体とも鎌倉中期
107	金銅如意輪観音坐像 1体	行方市小幡1038 観音寺	昭49.3.31	鎌倉後半。忍性関連か。
108	木造薬師如来脇侍三尊像 3体	土浦市大岩田町1616 法泉寺	昭49.3.31	鎌倉末期
109	木造薬師如来立像 1体	土浦市神立町1215 観音寺	昭49.3.31	鎌倉末期
110	木造万年大夫夫婦坐像(胎内像含) 4体	日立市諏訪町3-11-13 諏訪神社	昭49.3.31	元禄3年(1690) [光圀造立刻銘]
111	十二神将像 12体	水戸市元吉田町682 薬王院	昭49.11.25	鎌倉末期。修理(昭49)
112	木造釈迦如来立像 1体	土浦市宍塚町1461 般若寺	昭50.3.25	鎌倉末期。修理(平13)
113	木造金剛力士立像 2体 (附命禄三年修理銘木札1枚、元禄十年修理銘木札4枚、般若理趣経折本1冊)	稲敷市小野318 逢善寺	昭51.7.5	応永9年(1402)銘が造立年か。命禄は私年号で天文11年(1542)に相当
114	木造十一面観音坐像 1体	鹿嶋市棚木371 大福寺	昭52.5.2	延元5年(1340)[銘]
115	木造阿弥陀如来坐像 1体	小美玉市上玉里1700 円妙寺	昭52.5.2	平安末期～鎌倉初期。 修理(平2)
116	木造千手観音立像1体(附伝千手観音焼損像1体、伝胎内納入供養札1枚)	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭54.3.8	寛元2年(1244)[銘札]。 修理(昭62)
117	木造不動明王立像 1体	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭54.3.8	平安後期
118	木造天部形立像(寺伝毘沙門天像) 1軀	かすみがうら市東野寺763-11 地福院	昭54.11.1	12世紀後半
119	木造薬師如来坐像 1軀	日立市久慈町3-18-5 久慈町薬師堂保存会	昭54.11.1	11世紀後半～12世紀初
120	木造聖徳太子坐像 1軀	日立市金沢町 毘沙門組太子像保存会	昭57.3.4	室町末期。講讃太子像
121	木心乾漆如来形坐像(附乾漆断片64片)	八千代町栗山476-1 佛性寺	昭57.3.4	9世紀前半。修理(平12)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
122	木造阿弥陀如来坐像 1軀	筑西市下星谷233 個人	昭57. 3. 4	鎌倉中期（13世紀半ば）。 修理（昭59）
123	木造観世音菩薩立像 1軀	下妻市肘谷203 ^{ひじや} 肘谷自治区	昭59. 3. 8	12世紀。修理（昭62）
124	木造聖徳太子立像(摂政太子像) 1軀	下妻市下妻乙350 光明寺	昭59. 3. 8	南北朝時代
125	木造阿弥陀如来立像 1軀	笠間市笠間2591 光照寺	昭60. 3.25	鎌倉時代半ば
126	木造大日如来坐像 1軀	笠間市加賀田1773-口 大日如来奉賛会	昭60. 3.25	文永12年（1275）[銘]。 修理（昭62）
127	木造十一面観音坐像 1軀	牛久市久野町2976 観音寺	昭60.12.16	15世紀。宋風。修理(平元)
128	木造阿弥陀如来坐像 1軀	土浦市沖宿町1483 海蔵寺	昭63. 1.25	13世紀後半。修理（昭63）
129	木造十一面観音坐像 1軀	古河市横山町1-1-11 神宮寺	昭63. 1.25	室町時代。院派
130	木造聖徳太子立像(松葉太子像) 1軀	古河市中田町1334-2 光了寺	昭63. 1.25	南北朝時代。院派
131	木造虚空蔵菩薩坐像 1軀	桜川市真壁町田913 山口地区	平元. 1.25	11世紀
132	木造菩薩立像(伝准胝観音) ^{じゆんてい}	桜川市真壁町羽鳥1038 羽鳥地区	平元. 1.25	鎌倉時代
133	木造広智上人坐像 ^{こうち}	土浦市東城寺650 東城寺地区	平2. 1.25	嘉禎3年（1237）[墨書銘]
134	木造不動明王立像・毘沙門天立像 2軀	桜川市本木78 祥光寺	平3. 1.25	祥光寺阿弥陀如来脇侍像
135	木造天部立像 2軀	桜川市真壁町白井582 清浄院	平4. 1.24	平安時代（12世紀）
136	木造天部立像 1軀	桜川市真壁町白井582 清浄院	平4. 1.24	平安時代（12世紀）
137	木造薬師如来坐像 1軀	阿見町吉原2289 西光寺	平5. 1.25	平安後期。修理（平15）
138	木造阿弥陀如来立像 (附木造両脇侍像2軀)	阿見町追原633 蔵福寺	平6. 1.26	中尊：14～15世紀初め 修理（平17～18）
139	銅造薬師如来立像 1軀	下妻市皆葉891 薬樹山無量院	平7. 1.23	鎌倉時代（13世紀）
140	木造観音菩薩立像 1軀	結城市結城1139 大輪寺	平7. 1.23	延文元年（1356）
141	木造如意輪観音坐像 (附紙本墨書書状2通)	常総市豊岡町乙2002 法性寺	平7. 1.23	応安5年（1372）
142	木造阿弥陀如来坐像 1軀	河内町生板4947 妙行寺	平8. 1.25	鎌倉時代（13世紀）
143	木造薬師如来坐像 (附木造両脇侍像2軀)	潮来市堀之内1230 二本松寺	平9. 1.27	鎌倉後期（14世紀）
144	銅造薬師如来立像 1軀	鉾田市梶山846 光福寺	平9. 1.27	平安後期（12世紀）
145	木造千手観音坐像 1軀	下妻市下妻乙498 小野子自治区	平11. 1.25	鎌倉後期（13世紀）
146	木造大迦葉立像 ^{だいかしやうりゆうぞう}	潮来市潮来428 長勝寺	平11.11.25	南北朝時代
147	銅造大日如来及三十日仏坐像 21軀	水戸市栗崎町1985 宗教法人仏性寺	平12.11.27	室町時代
148	木造阿弥陀如来及脇侍像 2軀	つくばみらい市福岡台入会地 大楽寺	平12.11.27	13世紀初め

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
149	銅造如来坐像及び菩薩立像 2軀	鹿嶋市神向寺125 神向寺 (茨城県立歴史館寄託)	平14.12.25	9世紀前半
150	木造狛犬 1対	筑西市甲37 宗教法人羽黒神社	平16.11.25	鎌倉後期
151	木造聖観音菩薩立像 1軀	稲敷市神宮寺146 宗教法人神宮寺	平17.11.25	平安末期 (12世紀後半)
152	木造如意輪観音立像 1軀	那珂市福田279-2 仲福田区	平18.11.16	平安後期 (12世紀)
153	木造十一面観音坐像 1軀	石岡市田島1-2-30 田島区	平18.11.16	鎌倉中期 (13世紀)
154	木造聖徳太子立像 1軀 (附修理銘札3枚、彩色奉加帳2冊)	常総市菅生町5028 宗教法人無量寺	平19.11.16	鎌倉後期 (14世紀初め)
155	木造金剛力士立像 2軀	笠間市大田町324 宗教法人養福寺	平19.11.16	室町中期 (15世紀中頃)
156	銅造誕生釈迦仏立像 1軀	筑西市小栗2762 宗教法人西光寺 (茨城県立歴史館寄託)	平19.11.16	奈良後半 (8世紀末頃)
157	木造十一面観音立像 1軀	八千代町八町149 太光山結城院新長谷寺	平20.11.17	貞和6年 (1350)。大仏師 院祥制作
158	木造阿弥陀如来坐像及菩薩立像(伝 観音菩薩)・天部立像 (伝虚空蔵菩 薩)、木造四天王立像 7軀	桜川市本郷13 宗教法人妙法寺	平21.11.19	平安前期 (9世紀末)。四 天王像は10世紀初め頃
159	木造千手観音立像及二天立 像 (附板光背残欠1枚) 3軀	北茨城市華川町下小津田197 宗教法人長照寺	平22.11.18	平安末期 (12世紀)
160	木造五大力菩薩像 5軀	桜川市池亀394 吉祥院	平25. 1.24	平安末期 (12世紀)
161	木造釈迦如来坐像 1軀	守谷市大木676 宗教法人大円寺	平26. 1.27	平安時代 (12世紀)。元禄 2年 (1689) の修理銘あり。
162	銅造阿弥陀如来立像 (附旧支柱1本) 1軀	笠間市平町291 浄乗寺	平30.12.27	13世紀後半。旧支柱に元 禄11年(1698)の修理銘あり。

【工芸品】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	青銅鈴 1口	桜川市西小壩1677 月山寺	昭28. 7. 9	平安時代。五鈷鈴。総高 28.5cm
2	木製のたらい 1口	桜川市西小壩1677 月山寺	昭28. 7. 9	江戸時代。桐唐草菊花文 蒔絵角盥
3	呉須皿 1枚	桜川市西小壩1677 月山寺	昭28. 7. 9	中国明末期。呉須は黒褐 色土
4	螺鈿蒔絵香盆 1面	常陸太田市金井町3690 常陸太田市	昭28. 8.20	江戸時代
5	護摩壇 1基	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	徳川家光寄進銘
6	札盤 2基	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	寛永10年 (1633) [銘]
7	脇机 5机	坂東市生子1617 萬蔵院	昭30. 6.25	寛永10年 (1633)
8	払子 1振	結城市結城1725 安穩寺	昭32. 1.25	煩惱を払う荘厳具

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
9	珠数 1連	結城市結城1725 安穩寺	昭32. 1.25	伝源翁心昭所持
10	古鏡 1面	日立市弁天町1-21-12 個人	昭32. 1.25	鎌倉末期。愛染明王蓬萊鏡
11	厨子 1基	桜川市西小塙1677 月山寺	昭32. 1.25	康正2年（1456）[銘]。 春日厨子
12	古鏡 1面	結城市結城1281 個人	昭32. 6.26	瑞花双鳳鏡
13	五鈷鈴 1箇	稲敷市小野318 逢善寺	昭32. 6.26	平安後期。密教法具
14	五鈷杵 1箇	稲敷市小野318 逢善寺	昭32. 6.26	鎌倉初期。密教法具
15	黒草肩浅葱筋兜 1具	水戸市八幡町8-54 水戸八幡宮	昭32. 6.26	室町時代。佐竹義宣奉納
16	鰐口 1個	龍ヶ崎市川原代町1050 安楽寺	昭33. 3.12	正平8年（1353）[銘]
17	鰐口 1個	潮来市上戸624 観音寺	昭33. 3.12	観応3年（1352）[銘]
18	虎の刺繍 1枚	美浦村木原1941 永巖寺	昭33. 3.12	天文23年（1554）
19	弥陀名号 1枚	石岡市大増3220 大覚寺	昭33. 3.12	室町時代。刺繍
20	蒔絵櫃 1合	水戸市西原2-12-25 個人	昭33. 3.12	桃山時代。小型唐櫃
21	百万塔 1基	結城市結城1404 個人	昭33. 3.12	木製彩色。奈良十大寺寄進
22	つのたらい 1口	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭33. 7.23	江戸時代。橋竹鶴蒔絵角盥
23	黒漆螺鈿蒔絵台 1基	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	鎌倉末期。牡丹竹鳥蝶蒔絵
24	銅印 1顆	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	平安時代。朱文方印。 鶏頭紐
25	陶造狛犬 3軀	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	室町時代後期、瀬戸鉄釉
26	石灯籠 1基	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	元和5年（1619）[銘]
27	鏡 1口	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	平安時代。三鈷鏡
28	軍配 1口	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭33. 7.23	室町時代
29	軍陣鞍 1背	水戸市新莊3-4-16 個人	昭35. 3.28	鎌倉時代。黒漆鞍
30	銅板懸仏 1口	常総市諏訪町3005 個人	昭35.12.21	室町初期
31	銅鐘 1口	行方市乙69 宝幢院	昭35.12.21	永享3年（1431）[銘] 防修理（昭63）
32	太刀（銘国貞） 1口	土浦市桜町1丁目 個人 （東京国立博物館寄託）	昭36. 3.24	鎌倉中期。備前の刀工
33	太刀（銘来橘光定） 1口	土浦市桜町1丁目 個人	昭36. 3.24	嘉慶2年（1388）[銘]
34	太刀（銘景安） 1口	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭36. 3.24	平安末期。備前刀工景安
35	太刀（備前国長船住長光作永仁二年 年月日銘） 1口	牛久市牛久町90 個人	昭36. 3.24	永仁2年（1294）年紀
36	太刀（銘大和国当麻友 以下切） 1口	牛久市牛久町90 個人	昭36. 3.24	南北朝時代。友清作と伝える。
37	礼盤 1基	城里町徳蔵874 徳蔵寺	昭37. 2.26	天正6年（1578）[寄進銘]
38	太刀（無銘伝大村加卜）白鞘 1口	ひたちなか市市毛 個人	昭37. 8.27	貞享2年（1685）[銘]

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
39	螺鈿硯箱 1合	筑西市中館522 観音寺	昭37.10.24	楼閣人物螺鈿硯箱
40	六地藏石幢 1基	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭37.10.24	もとはつくば市個人蔵
41	石造燈籠 1基	つくば市小田2716 長久寺	昭37.10.24	高さ211cm
42	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市東台695 個人	昭37.10.24	紺糸威の胴丸具足
43	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市泉町2-1-21 個人	昭37.10.24	安土桃山。胴丸具足
44	あぶみ 鐙 1具	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭37.10.24	鉄製。加賀銀象眼
45	鞍 1背	水戸市五軒町1-4-28 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭37.10.24	水干鞍。黒漆地金蒔絵
46	おこなぎなた 大雑刀 1口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭37.10.24	南北朝時代。備前長船元重
47	きよつづ 銅製経筒 1口	水戸市天王町8-17 神崎寺	昭37.10.24	長承2年（1133）[銘]
48	礼盤 1基	境町974 吉祥院	昭37.10.24	寛永10年（1633）[銘]
49	銅鐘 1口	筑西市岡芹957 じょうりん 定林寺	昭38. 8.23	永禄10年（1567）[銘]
50	五鈷鈴 1口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭38. 8.23	平安時代か中国唐代
51	三鈷杵 1口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭38. 8.23	中国唐代説あり。
52	石造五輪塔 2基	かすみがうら市上佐谷 個人	昭38. 8.23	2基とも慶長16年（1611） [銘]
53	鐙 1具	水戸市五軒町1-4-28 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭38. 8.23	昭37指定の鞍と1具
54	太刀（葵くずし紋） 1口	結城市結城800-2 個人	昭38. 8.23	斉昭の作。将軍家慶が佩用。 名称変更（平30）
55	よしふさ 太刀（銘吉房） 1口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭38. 8.23	備前国福岡一文字派
56	板碑 1基	筑西市岡芹957 定林寺	昭39. 7.31	高さ155cm
57	つのあか 角赤文庫 1合	かすみがうら市下志筑 個人 (茨城県立歴史館寄託)	昭39. 7.31	蒔絵手箱
58	たいそでよろい 大袖鎧 1具	筑西市下中山732-1 八幡神社 (管)筑西市教育委員会	昭39. 7.31	にまいどうぐそく 二枚胴具足
59	大袖鎧 1具	水戸市泉町2-1-21 個人	昭39. 7.31	五枚胴具足
60	鐙 1具	水戸市泉町2-1-21 個人	昭39. 7.31	鉄製、加賀銀象嵌
61	ずいかそうちようはちりようきよう 瑞花雙鳥八稜鏡 1面	下妻市大宝667 大宝八幡宮	昭40. 2.24	平安時代か。
62	宝塔鈴 1基	石岡市若宮2-4-24 不動院	昭40. 2.24	銅鑄製。柄の上に塔形
63	そうかそうちようえんきよう 草花双鳥円鏡 1面	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭40. 2.24	白銅製。盗難（昭45）
64	みしょうたい 十一面観音御正体 1面	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭40. 2.24	銅板製、線刻。盗難（昭45）
65	宝珠杵 1口	かすみがうら市深谷1399 法蔵寺	昭40. 2.24	鎌倉末期。銅鑄製

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
66	瑞花雙鳥八稜鏡	1面 つくば市玉取2617 八坂神社	昭40. 2.24	南北朝時代。白銅製
67	<small>きんなしじ</small> 金梨地蒔絵鞍	1背 水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭41. 3. 7	安土桃山時代
68	六地藏石幢	1基 土浦市東城寺650 東城寺地区	昭41. 3. 7	室町末期か。
69	石造五輪塔	1基 土浦市小高212 小高地区	昭41. 3. 7	永正12年(1515)。頭白上人逆修塔
70	石造五輪塔	1基 筑西市村田1736 村田仲町集落	昭41. 3. 7	倒壊防止(平7)
71	石造五輪塔	1基 つくば市玉取1959 個人	昭41. 3. 7	高さ136cm
72	石造五輪塔	1基 かすみがうら市上佐谷719 個人	昭41. 3. 7	文禄2年(1593)[刻]
73	六地藏石幢	1基 土浦市永井694 個人	昭42. 3.30	室町末期～桃山時代
74	銅鐘	1口 城里町塩子1736 岩谷山仏国寺	昭42. 3.30	貞享元年(1684) 寄進
75	石造九重層塔	1基 つくば市神郡970 個人	昭42.11.24	慶長年間。総高253cm
76	<small>そうもうほっす</small> 棕毛扠子	1振 土浦市高岡1890 法雲寺	昭43. 3.28	中国元代の作
77	梵鐘	1基 五霞町山王山827-1 <small>とうしょうじ</small> 東昌寺	昭43. 3.28	文明8年(1476)[銘]
78	石造 五輪塔	1基 土浦市穴塚町1461 <small>ほんだんじ</small> 般若寺	昭43. 3.28	建治元年(1275)[刻銘]
79	<small>ふすへかわおどしどうまるよろい</small> 熏草威胴丸鎧	1領 ひたちなか市南神敷台 個人	昭43. 3.28	室町末期。銅丸式の鎧
80	<small>よろいびつ</small> 鎧櫃	1領 ひたちなか市南神敷台 個人	昭43. 3.28	ケヤキ材。笈形鎧櫃
81	<small>こめん</small> 古面	5面 潮来市島須530 御札神社	昭44. 3.20	<small>ぼとう</small> 抜頭など5舞樂面
82	<small>せいじさんかいとう</small> 青磁三階塔	1基 土浦市高岡1890 法雲寺	昭44. 3.20	青磁の三重塔形
83	<small>まきえさげたんす</small> 蒔絵提単笥	1箱 石岡市国府6-4-2 個人	昭44.12. 1	江戸時代か桃山期
84	石造九重層塔	1基 かすみがうら市牛渡3902 個人	昭44.12. 1	伝小田孝朝供養塔
85	鰐口	1個 かすみがうら市安食1754 大宮神社	昭44.12. 1	応永10年(1403)[銘]
86	石造五輪塔	1基 土浦市本郷1093 個人	昭45. 5.28	室町時代。高さ170cm
87	二枚胴具足	1具 石岡市山崎635 個人	昭45. 9.28	江戸時代
88	五鈷杵	1口 桜川市本木1 楽法寺	昭45. 9.28	平安末期頃。出土品
89	六地藏石幢	1基 つくば市平沢582 平沢区	昭46. 1.28	
90	石造宝篋印塔	1基 つくば市小田 つくば市	昭46. 1.28	鎌倉時代。解体組合せ(平17)
91	石造五輪塔	1基 つくば市北条102-1 八坂神社氏子総代	昭46. 1.28	天文年間 [銘(経筒)]
92	<small>と きんはつかくつりとうろう</small> 鍍金八角釣燈籠	1基 潮来市水原1121 愛染院	昭46. 1.28	元禄14年(1701)[銘]
93	高麗焼茶碗	1個 潮来市潮来428 長勝寺	昭46.10.28	元禄8年(1695)[光圀寄進銘]
94	<small>おうぎちらしまきえしよだな</small> 扇散蒔絵書棚	1架 大洗町磯浜町8231 大洗町	昭46.12. 2	明治時代
95	短刀	1振 大洗町磯浜町8231 大洗町	昭47.12.18	<small>しんとうごくにみつ</small> 初代新藤五国光の作
96	説相箱	1個 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	江戸初期
97	<small>しちかんせいじこうろだい</small> 七官青磁香炉台	1個 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	中国明代。円筒形
98	<small>はちりょうきょう</small> 八稜鏡	1個 那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	鎌倉時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
99	香合 2個	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	屈輪堆黒香合、獅子牡丹 堆朱香合
100	朱漆塗蔦葛模様椀 5個	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	漆絵椀
101	和鏡 1面	潮来市牛堀17 潮来市教育委員会	昭49. 3.31	州浜松菊花散双雀鏡
102	蒔絵鏡箱 1合	日立市弁天町1-21-12 個人	昭49. 3.31	室町時代。円形
103	華蔵院の梵鐘 1個	ひたちなか市栄町1-1-33 華蔵院	昭49. 3.31	延元4年（1339）
104	宝篋印塔 1基	石岡市半田1330 個人	昭49. 3.31	江戸時代。高さ150cm
105	金銅割五鈷杵 1個	土浦市大岩田町1616 法泉寺	昭49. 3.31	鎌倉末期。鍍金。15.2cm
106	五鈷鈴 1個	土浦市神立町1215 観音寺 (土浦市立博物館寄託)	昭49. 3.31	平安末～鎌倉初
107	銅製丸鏡 1面	土浦市大和町9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭49. 3.31	草花双鳥鏡。面径11cm
108	灌頂用具 15点	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	明鏡は平安時代
109	密教法具 23点	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	鎌倉～江戸時代まで。
110	銅装龍輪宝羯磨文戒体箱 1合	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町末期
111	銅装龍輪宝羯磨文説相箱 2合	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町末期
112	銅板貼山伏笈 1背	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	天正18年（1590）[墨書銘]
113	漆塗経櫃 1合	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭50. 3.25	室町後期
114	瀬戸緑釉狛犬 2体	ひたちなか市富士ノ上2-1 天満宮	昭51. 7. 5	室町後期
115	鰐口 1口	小美玉市上玉里 大宮神社 (小美玉市玉里史料館寄託)	昭52. 5. 2	正嘉元年（1257）[銘]
116	鰐口 1口	常陸太田市小中町592 個人	昭52. 5. 2	永和5年（1379）[銘]
117	竹織扨子 1振	土浦市高岡1890 法雲寺	昭56.12.24	中国元代
118	石造燈籠 1基	土浦市小野126-7 日枝神社	昭56.12.24	永正8年（1511）[銘]
119	漆皮軍配（伝太田道灌奉納） 1柄 寛文八年ノ太田資宗、資次寄進ノ 箱アリ	石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58. 3.18	寛文8年（1668）[銘]
120	漆皮軍配（伝佐竹義宣奉納） 1柄	石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58. 3.18	天正18年（1590）[銘]
121	銅鐘 1口 〔嘉慶元年〕の銘と〔享徳五年〕の追銘あり	下妻市大宝667 大宝八幡宮	昭59. 3. 8	嘉慶元年（1387）[銘]
122	太刀（銘常州水戸住藤原近則） 1口	大洗町磯浜町6890 大洗磯前神社	平2. 1.25	嘉永5年（1852）[銘]
123	能面 6面	常陸大宮市下町221 甲神社	平4. 1.24	16世紀
124	総毛引紅糸威胴丸具 1領	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	平10. 1.21	徳川家康着用遺品
125	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘 1口	笠間市上市原942 宗教法人如意輪寺	平16. 1. 8	江戸時代
126	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘 1口	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平16. 1. 8	鎌倉時代

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
127	葆光彩磁葡萄紋花瓶 板谷波山作 1口	笠間市笠間2345 茨城県陶芸美術館	平16.11.25	大正11年
128	氷華磁仙桃文花瓶 板谷波山作 1口	笠間市笠間2345 茨城県陶芸美術館	平16.11.25	大正15年頃

【書跡】

	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紺紙金字法華経 8巻	桜川市西小埜1677 月山寺	昭28. 7. 9	鎌倉時代
2	往生要集 1冊	結城市結城152 称名寺	昭33. 3.12	往生要集延書 <small>のべがき</small>
3	大般若波羅蜜多経 391巻	土浦市沖宿町1483 海蔵寺	昭33. 3.12	承安5年（1175）[奥書]
4	妙法蓮華経 10巻	稲敷市小野318 逢善寺	昭33. 3.12	木版刷りの春日版
5	宋版一切経 5400巻	桜川市真壁町東山田1644 最勝王寺	昭33. 3.12	中国宋代。天海版
6	妙法蓮華経 1巻	石岡市大增3220 大覚寺	昭33. 3.12	紺紙金泥の写本
7	唐本一切経 <small>とうほんいっさいきょう</small>	笠間市笠間39 笠間稲荷神社	昭33. 7.23	建長7年（1255）[識語]
8	北斗寺仏儀次第 <small>ほくとじぶつぎしだい</small>	つくば市栗原1129 北斗寺	昭35.12.21	室町時代の写本
9	阿弥陀寺御文 <small>おふみ</small>	坂東市長須4359 阿弥陀寺	昭35.12.21	室町時代
10	無量寿寺御文書	鉾田市鳥栖1013 無量寿寺	昭35.12.21	蓮如の書簡19通
11	大般若波羅蜜多経 15巻	日立市神峰町4-11-12 個人	昭37. 2.26	承安3年(1173)校の奥書あり。
12	大般若波羅蜜多経 1巻	水戸市堀町2249 個人	昭38. 8.23	鎌倉時代末の春日版か。
13	一遍上人名号 1幅	石岡市国府3-1-13 個人	昭39. 7.31	
14	大般若波羅蜜多経 336巻	桜川市加茂部694 鴨大神御子神主玉神社 <small>かもおおかみこかみぬしたまじんじや</small>	昭41. 3. 7	正安・元応奥書（13～14世紀初）
15	大般若経 490巻	桜川市本木1 楽法寺	昭42. 3.30	天文10年（1541）・15年 [寄進銘]
16	唐本一切経（抜藤原時朝） 2巻	水戸市西原2-12-25 個人	昭42.11.24	宋版一切経の一部
17	後奈良天皇歌切 <small>うたぎれ</small>	つくば市栗原1129 北斗寺	昭42.11.24	後奈良天皇宸筆、4首の歌
18	神号天照皇太神 <small>しんごうあまてらすこうたいじん</small>	小美玉市羽鳥2703 個人	昭42.11.24	後陽成天皇御宸筆
19	紺紙金泥大般若波羅蜜多（巻506） 1巻	土浦市高岡1890 法雲寺 （土浦市立博物館寄託）	昭43. 3.28	鎌倉末期。1巻のみ残る。
20	法雲寺文書 一括	土浦市高岡1890 法雲寺 （土浦市立博物館寄託）	昭43. 3.28	中世寺領寄進状、禁制書状
21	芹沢文書一括 62点	石岡市国府6-4-2 個人	昭44.12. 1	室町～江戸初期
22	六地藏寺所蔵典籍・文書 典籍892部・文書407点	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	昭46. 3.29	戦国時代。恵範が筆写・著述 <small>えはん</small>

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
23	了誉筆別当職讓状 1幅	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	応永22年(1415)。[了誉の書筆]
24	日本書紀私鈔並二人王百代具名記 3冊	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	了誉著作の写本(応永15年(1408)写)
25	阿弥陀経	那珂市瓜連1221 常福寺	昭47.12.18	斉昭25歳の真蹟
26	唯信鈔断片	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	親鸞が書写した断片の1枚
27	蓮如筆消息大根田御坊宛	大洗町磯浜町7920 願入寺	昭47.12.18	
28	正宗寺所蔵文書	常陸太田市増井町1514 正宗寺	昭49. 3.31	円覚寺及び黄梅院 <small>おうばいいん</small> 文書
29	後光厳天皇御消息	ひたちなか市殿山町1-2-8 個人	昭49. 3.31	北朝4代天皇宸筆
30	日蓮書状(文永11年7月26日南條七次郎時光あて) 1通	常陸太田市新宿町239 久昌寺	昭56.12.24	鎌倉時代
31	日乗日記	常陸太田市新宿町239 久昌寺	昭56.12.24	修理(平2~4)
32	唐本一切経	笠間市稲田562 西念寺	昭63. 1.25	平安時代末
33	金剛般若波羅蜜経	笠間市石井1747 高乾院	平5. 1.25	弘安4年(1281)。修理(平10)
34	紙本墨書 神皇正統記六地藏寺本 3冊	水戸市六反田町767-2 宗教法人六地藏寺	平16. 1. 8	神皇正統記の写本(明德5年(1394)を恵潤が筆写)

【古文書】

	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	常陸総社文書 安政二年修理ノ奉納箱アリ 50通	石岡市総社2-8-1 常陸国総社宮	昭58. 3.18	総社の神主家に伝わる50通の文書
2	鳥名木家文書 41点	行方市手賀 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平6. 1.26	手賀氏の分流鳥名木家に伝わる。
3	健田須賀神社文書 19点(2巻)	結城市結城195 健田須賀神社	平8. 1.25	文和元(1352)~天正8(1580)年
4	真壁長岡古宇田文書 35点	桜川市真壁町真壁57-1 真壁伝承館歴史資料館	平11.11.25	真壁氏庶流古宇田氏
5	親鸞門侶交名 1巻	下妻市下妻乙350 光明寺	平19.11.16	三河妙源寺本と共に貴重
6	鹿島神宮文書 250点(18巻)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	平22.11.18	鹿島神宮に伝わる古文書群
7	税所文書 19点(1帖)	石岡市国府 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平27. 1.22	常陸国衛の在庁官人関係文書
8	臼田文書 1巻1帖	稲敷市羽賀1156 個人	平29. 1.26	臼田家に伝わる中世から戦国期の文書群

【考古資料】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	板碑 1基	つくば市金田1658-1 つくば市	昭30.11.25	文永9年(1272) [刻銘]
2	東城寺結界石 1基	土浦市東城寺650 東城寺地区	昭41. 3. 7	建長5年(1253) [年刻銘]
3	下坂田の板碑 1基	土浦市下坂田1116-2 個人	昭41. 3. 7	永仁6年(1298) [年刻銘]
4	丸山古墳出土遺物 212点	石岡市柿岡5680 石岡市	昭42.11.24	4世紀末～5世紀初
5	経筒・石櫃付 1組	石岡市柿岡5680 石岡市	昭42.11.24	大永3年(1523) [陰刻銘]
6	結界石 1基	土浦市宍塚1461 般若寺 (土浦市立博物館寄託)	昭43. 3.28	建長5年(1253) [刻銘]
7	鹿(埴輪) 1対	石岡市柿岡5680 石岡市	昭44. 3.20	雄・雌1対
8	狐塚古墳出土遺物一括 24点	桜川市岩瀬 桜川市教育委員会	昭44.12. 1	短甲・銅鏃など出土
9	丸木舟 1艘	龍ヶ崎市馴馬町2488 龍ヶ崎市	昭50. 3.25	マツ材、残存部全長約6.3m
10	板碑 1基	筑西市辻1269-1 個人	昭50. 6.25	弘安元年(1278) [銘]
11	<small>によう いがたようほん</small> 鏡の鋳型鋳范 1面	土浦市大和町9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭55. 2.28	鎌倉期か。密教法具
12	丸木舟 1艘	下妻市大宝667 大宝八幡宮	昭59. 3. 8	クロマツ、長さ6.05m
13	銅印 1顆	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平4. 1.24	「丈永私印」
14	人物埴輪 1軀	東海村船場768 東海村	平6. 1.26	舟塚1号墳出土。正装男子像
15	乳飲み児を抱く埴輪 (大平古墳群黄金塚出土) 1軀	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平9. 1.27	高さ27.5cm。腹部より下を欠失
16	巴形銅器(宮平遺跡出土) 1箇	石岡市染谷1646 石岡市教育委員会	平10. 1.21	全径5.0cm
17	<small>うしろの</small> 後野遺跡出土石器及土器 160点	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平12.11.27	細石刃文化、大型石刃文化の新旧関係が判明
18	十王台遺跡出土十王台式土器 3点	日立市十王町友部東2-1-15 個人 (十王公民館、東京国立博物館寄託)	平14.12.25	弥生後期
19	<small>かいご</small> 海後遺跡出土人面付土器 1点	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平14.12.25	弥生中期
20	小野天神前遺跡出土土器 19点	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	平16.11.25	弥生時代中期の再葬墓 <small>さいそうぼ</small> 一括
21	風返稻荷山古墳出土遺物 74点	かすみがうら市坂1029 かすみがうら市	平18.11.16	6世紀後半～7世紀中頃
22	富士見塚1号墳・2号墳・3号墳出土遺物 一括	かすみがうら市柏崎358-1 かすみがうら市	平20.11.17	5世紀末～6世紀初頭。埴輪、鉄鏃など一括
23	東中根遺跡群出土遺物 18点	ひたちなか市中根3499 ひたちなか市	平21.11.19	弥生時代後期前半の土器及び紡錘車
24	一本松遺跡出土遺物 13点	大洗町磯浜町6881-88 大洗町	平23.11.17	弥生時代後期の巴形銅器を含む土器、紡錘車等
25	<small>かみおかがみ</small> 神岡上古墳群第3号墳出土遺物 345点	北茨城市磯原町磯原130-1 北茨城市教育委員会	平25. 1.24	七鈴鏡1点、鉄鏃32点、直刀4点、土製模造品266点など。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	成立年代・備考
26	舟塚古墳出土遺物 39点	水戸市笠原町978-6 茨城県 (茨城県立歴史館保管)	平27. 1.22	埴輪39点(円筒埴輪16点・朝顔形埴輪5点・人物埴輪17点・家形埴輪1点) 小美玉市上玉里出土
27	信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器 3点	美浦村大字土浦2359 (美浦村文化財センター保管) 美浦村教育委員会	平30.12.27	8世紀末～9世紀。2点が完形。蓋1点に「大伴」の墨書あり。
28	つぼいうえ 坪井上遺跡出土硬玉製大珠 7点 たいしゅ	常陸大宮市中富町1087-14 (常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管) 常陸大宮市教育委員会	令元.12.26	縄文時代中期 一つの遺跡からの出土数としては異例

【歴史資料】

	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紙本墨書大般若経(附唐櫃3合) 569帖	那珂市額田北郷542 毘盧遮那寺	昭52. 5. 2	明応4(1495)～8年
2	訂正常陸国風土記版木 (附箱板2枚) 20枚のうち19枚	日立市諏訪町4-28-11 個人 (茨城県立歴史館寄託)	昭60. 3.25	天保10年(1839)出版の版木
	訂正常陸国風土記版木 20枚のうち1枚	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭60.12.16 (追加)	
3	しじんき 四神旗 附祝文(写) 4旒	笠間市稲田763-1 稲田神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭63. 1.25	
4	佐竹義昭奉加帳 1巻	常陸大宮市下町221 甲神社	平8. 1.25	弘治3年(1557)。修理(平17)
5	か 鹿の子遺跡出土漆紙文書 一括	石岡市柿岡5680 石岡市教育委員会	平14. 1.25	国庁作成帳簿類
6	5馬力誘導電動機 (附設計図1枚) 1台	日立市幸町3-1-1 日立製作所日立事業所	平14. 1.25	日立製作所第1号モーター
7	河口家医学等関係資料 896点	古河市錦町8-15 個人	平19.11.16	旧古河藩医の河口家に伝わる医学資料群
8	徳川光圀書翰集 7巻(54通)	水戸市三の丸1-5-38 茨城県立図書館	平23.11.17	光圀自筆書翰53通及び右筆書き1通。修理(平24)
9	色川三中関係史料 522点	土浦市大和町9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	平28. 1.21 令2. 12. 28(追) 同日(名称変更)	城下町土浦の庶民生活や文化の様相を知る上で貴重。「色川三草稿」(22点)を追加指定(令2)
10	せきすい 長久保赤水関係資料 107点	高萩市高萩8-1 高萩市 (高萩市歴史民俗資料館保管)	平29. 1.26 令2. 9.30 (員数変更)	天文学者・農政学者長久保赤水の業績を伝える。ほかに国指定693点(令2)

イ 無形文化財

No.	名 称	所在地 及び 保持者・保持団体	指定年月日	備 考
1	結城紬 <small>ちぢみおり</small> （縮織）	結城市結城13-2 （財）重要無形文化財結城紬技術 保存会	昭28.11.14	強い撚りを加え、縮んで表面がちりめん状になる織り方
2	西の内紙（手漉和紙）	常陸大宮市舟生 本西の内紙保存会 （平28.1.21追加認定）	昭46.12. 2	昭46.12.1認定保持者 菊池五介（2代 平3.2.14死亡） 菊池一男（平16.3.31死亡） 小野瀬角次（平27.10.15死亡） 平3.2.27 追加認定保持者 菊池五介（3代 平19.5.19死亡） 平19.11.16 追加認定保持者 菊池正氣（令2.2.17死亡）
3	<small>あわのしゅんけいぬり</small> 栗野春慶塗	城里町栗458 稲川武男	平元. 1.25	木地の木目を透かしてみせる。
4	鹿島新當流 （附起請文1巻・傳法書1巻）	鹿嶋市宮中 鹿島新當流彰古会	平元. 9.27	塚原ト伝の編み出した剣の流派

ウ 有形民俗文化財

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	備 考
1	日立風流物人形頭 122頭	日立市神峰町4-11-12 個人	昭39. 7.31	操り人形頭
2	浮島所在の田下駄一括 45足	稲敷市八千石18- 1 稲敷市	昭46.12. 2	
3	獅子頭 1頭	石岡市府中2-4-5 土橋町区長	平4. 1.24	江戸時代。重量約17kg
4	潮来祇園祭礼山車（附唐獅子1対） 3台	潮来市潮来 潮来祇園祭礼山車保存会	平5. 1.25	素鷲熊野神社祭礼の山車
5	西塩子の回り舞台 一式	常陸大宮市西塩子150-3 西塩子の回り舞台保存会	平11.11.25	文政年間。農村歌舞伎舞台
6	ささら獅子頭 3点	常陸大宮市中富町1087-14 第6区 （常陸大宮市歴史民俗資料館寄託）	平16.11.25	永正14年（1517）[墨書銘]

エ 無形民俗文化財

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
1	浅川のささら	大子町浅川3903 浅川ささら保存会	昭30. 6.25	熊野神社。3月27日・28日
2	火消行列	常陸太田市町田町1 火消行列保存会	昭30. 6.25	6年毎の3月下旬
3	真家みたまおどり	石岡市真家273 真家みたまおどり保存会	昭33. 3.12	福寿院及び真家地内。8月15日
4	<small>かなさ</small> 西金砂神社田楽舞	常陸太田市上宮河内町1915 西金砂神社田楽舞保存会	昭35. 3.28	金砂大祭礼（72年）、小祭礼（6年）
5	東金砂神社田楽舞	常陸太田市天下野町9740 東金砂神社田楽舞保存会	昭35. 3.28	金砂大祭礼（72年）、嵐除祭（毎年）
6	塚崎の獅子舞	境町塚崎 塚崎の獅子舞保存会	昭35. 3.28	香取神社。4月・7月・11月の15日
7	猿島ばやし	坂東市生子1465 猿島ばやし保存会	昭36. 3.24	<small>おいご</small> 生子八坂神社。7月15日～22日

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
8	からかさ万灯	土浦市大畑 大畑からかさ万灯保存会	昭37.10.24	鷲神社。8月15日
9	はいか 排禍ばやし	石岡市片野620 排禍ばやし保存会	昭37.10.24	片野八幡神社。7月第3日曜
10	おおう みごまい 大生神社巫子舞神事	潮来市大生814 大生神社	昭38. 8.23	11月14日前夜祭、11月15日本祭
11	柿岡からくり人形	石岡市柿岡1857 からくり人形保存会	昭38. 8.23	柿岡八幡神社及び町内。7月24日
12	西丸山祈禱ばやし	つくばみらい市西丸山 西丸山祈禱囃子保存会	昭38. 8.23	鹿島神社。1月中旬・5月
13	日立のささら	日立市宮田・助川・会瀬・大久保・諏訪・ 水木・成沢 日立郷土芸能保存会	昭38. 8.23 追昭45.9.28 追昭46.7.19	泉神社ほか
14	潮来ばやし (獅子舞を含む)	潮来市潮来 潮来ばやし保存会	昭39. 7.31	そがくまの 素鷲熊野神社。8月7日～9日
15	のぶかたすもう 延方相撲	潮来市延方乙1885 鹿嶋吉田神社	昭39. 7.31	鹿嶋吉田神社。7月27日
16	おぐりないげ 小栗内外大神宮太々神楽	筑西市小栗1 太々神楽保存会	昭41. 3. 7	4月21日、11月10日の直近の日曜日
17	大串のささらばやし	水戸市大串町 ささらばやし保存会	昭41. 3. 7	稲荷神社。11月23日
18	大野のみろくばやし	水戸市下大野町 みろくばやし保存会	昭41. 3. 7	稲荷神社。11月23日
19	うわど 上戸の獅子舞	潮来市上戸1551 獅子舞保存会	昭43. 3.28	国神社。11月23日
20	神田ばやし	坂東市神田山3108 神田ばやし保存会	昭49.11.25	7月16日・17日、11月第2日曜日
21	田宮ばやし	土浦市田宮 田宮ばやし保存会	昭52. 5. 2	7月末の日曜日を中心に3日間
22	三和祇園ばやし	古河市東山田24 三和郷土芸能保存会	昭53. 1.26	7月中旬各地区の夏祭り
23	ほんぶね 大津の盆船流し	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	昭54. 3. 8	大津漁港。8月13日～16日
24	石岡ばやし	石岡市石岡2812-3 石岡囃子連合保存会	昭55. 2.28	常陸国総社宮。9月14日～16日
25	磐戸神楽	古河市大和田 大和田磐戸神楽保存会	平元. 1.25	鷲神社。4月4日
26	だいかぐら 水戸大神楽	水戸市元山町1-3-43 柳貴家正楽社中 水戸市常磐町2-13-23 柳貴家勝蔵社中	平3. 1.25 平20.11.17	不定期
27	日枝神社流鏝馬祭	土浦市沢辺小野入会地 日枝神社流鏝馬祭保存会	平6. 1.26	日枝神社。4月第1日曜日
28	富田のささら	石岡市国府5-9 富田町ささら保存会	平8. 1.25	常陸国総社宮。9月14日～16日
29	おおつかど 大塚戸の綱火	常総市大塚戸町875 大塚戸芸能保存会	平11.11.25	一言主神社。9月13日
30	利根地固め唄	利根町中谷967 利根地固め唄保存会	平14.12.25	利根川築堤補修工事に係る作業唄
31	上山川諏訪神社太々神楽	結城市大字上山川160 上山川諏訪神社太々神楽保存会	平17.11.25	安永9年(1780) [舞台衣裳墨書] 4月
32	龍ヶ崎の撞舞	龍ヶ崎市3428地先 龍ヶ崎市撞舞保存会	平22.11.18	7月下旬の八坂神社最終日に実施

オ 史跡

	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
1	伝内大臣平重盛墳墓	城里町上入野3912 小松寺	昭6.12.4	伝重盛・重盛夫人・平貞能の墓
2	船玉古墳	筑西市船玉247 (管) 筑西市	昭8.7.4	方墳。石室内に壁画
3	古河公方足利成氏館跡・同足利義氏墓所	古河市鴻巣1045、409 個人	昭8.7.18	初代古河公方館跡
4	^{なんだいさん} 難台山城址	笠間市上郷3646の一部ほか (管) 笠間市	昭9.5.18	1387年小田某五郎が挙兵した跡
5	本多作左衛門重次墳墓	取手市台宿2-3167 本願寺	昭9.8.3	鬼作左といわれた家康の家臣の墓所
6	^{なかさい} 那珂西城址	城里町那珂西1958 ^{ほうどういん} 宝幢院	昭9.12.18	久安5年（1149）。那珂通泰が築城
7	瓜連城址	那珂市瓜連1221 常福寺	昭9.12.18	^{うりづらさだくに} 瓜連貞国、 ^{くすのきまさいえ} のち楠木正家が入城
8	^{しづく} 志筑城址	かすみがうら市中志筑 かすみがうら市	昭10.11.26	鎌倉期に下河辺政義が築城
9	^{あばさき} 阿波崎城址	稲敷市阿波崎2316 (所) 天満神社 (管) 阿波崎城跡保存会	昭10.11.26	南朝勢力回復のため北畠親房が入城
10	伊佐城址	筑西市中館522 観音寺	昭10.11.26	結城合戦で城主伊佐政国が討死
11	駒城址	下妻市黒駒147-1 個人	昭10.11.26	^{なみかど} 中御門少将藤原実寛を擁した城
12	神宮寺城址	稲敷市神宮寺830・831 (管) 個人	昭10.11.26	北畠親房らが参集して拠点とした城
13	^{やまがただいに} 山県大武の墓	石岡市根小屋779 (管) ^{たいねいじ} 泰寧寺	昭10.11.26	明和事件で処刑された大武の墓
14	八幡塚	つくば市沼田374-1、374-2 つくば市	昭12.3.9 追昭47.12.18	前方後円墳。葺石、埴輪が確認
15	笠原水道	水戸市千波町・笠原町・本町1丁目～ 本町7丁目・元吉田町 (管) 水戸市	昭13.3.11	寛文3年（1663）完成。笠原不動谷から下市まで。
16	大日山古墳	取手市岡1179 (管) 取手市	昭14.2.1	方墳（東西18m、南北20m、高さ3m）
17	^{ふじふき} 藤原藤房卿遺跡	土浦市藤沢1797 (管) 土浦市	昭14.3.6	藤原藤房が2年間ここに配流
18	^{なれうま} 馴馬城址	龍ヶ崎市馴馬町2507 個人	昭14.4.5	南北朝時代。 ^{かすがあきくに} 春日顕国が旗揚げ
19	^{じゅうごろうあな} 十五郎穴	ひたちなか市中根3490-イ (管) ひたちなか市・個人	昭15.3.11	東中根台地南側崖面に造られた横穴墓群
20	^{くげだ} 久下田城址	筑西市樋口字城山221ほか 福聚寺ほか	昭15.9.4	下館6代城主水谷正村が築城
21	^{だいわたり} 台渡里廃寺址	水戸市渡里町字長者山 個人	昭20.7.16	古代那賀郡衙の正倉と推測される。
22	土浦市内西町 土浦城跡および櫓門	土浦市中央1丁目 土浦市	昭27.11.18	^{みずじろ} 水城。室町中期から江戸時代（指定時は「土浦市内西町亀城公園及び亀城楼門」。昭42.7.20名称変更）
23	丸山古墳	石岡市柿岡4123 (管) 石岡市	昭27.12.18	墳丘長約56mの前方後方墳
24	^{ぼんでんやま} 梵天山古墳群	常陸太田市島町 (管) 常陸太田市	昭28.7.9	本県第2位の前方後円墳ほか、13基の円墳と横穴群
25	^{ながつかたかし} 長塚節生家	常総市国生1147-1 個人	昭30.6.25	茅葺の主屋・書院

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
26	佛ヶ浜 <small>ほとけがはま</small>	日立市田尻町4-39 (管) 日立市教育委員会	昭30. 6.25	海岸の石壁に観世音菩薩像を刻む。
27	間宮林蔵の生家	つくばみらい市上平柳64 つくばみらい市	昭30.11.25	茅葺
28	間宮林蔵の墓	つくばみらい市上平柳5 個人	昭30.11.25	樺太探検出発前に菩提寺に建立
29	山寺水道	常陸太田市天神林 (管) 常陸太田市	昭32. 6.26	光圀が久昌寺まで導水 <small>きゅうしょうじ</small>
30	石岡の一里塚	石岡市泉町2108、12805 (管) 石岡市	昭33. 3.12	石岡の行里川 <small>なめりがわ</small> にある一里塚
31	水野越前守忠邦の墓	結城市山川新宿1653-1 (管) 結城市教育委員会	昭33. 3.12	天保の改革を実施した老中の墓
32	結城御朱印堀 (附地図2帖・証文1・由来帖1)	結城市結城 (管) 結城市・個人	昭33. 3.12	戦国末期から江戸時代の堀跡
33	五角堂と和時計	つくば市谷田部1945 (管) つくば市	昭33. 3.12	からくり伊賀七 <small>いがしち</small> による発明
34	堀の内古窯跡群 <small>うちこやうあとぐん</small>	桜川市大泉1548 個人	昭35.12.21	須恵器・瓦等の窯跡
35	熊沢蕃山の墓	古河市大堤1030-1 鯉延寺 <small>けいえんじ</small>	昭36. 7.21	熊沢蕃山は古河で禁固刑。元禄4年(1691)没
36	板谷波山生家	筑西市甲864-6ほか 財団法人波山先生記念会	昭40. 5.21	木造。平屋、瓦葺。1760年代の建造といわれる。部(平20)
37	野口雨情生家	北茨城市磯原町磯原73 (管) 個人	昭42. 3.30	明治10年。木造。2階建、瓦葺
38	水戸城跡 (塁及び濠)	水戸市三の丸 茨城県・茨城大学・水戸市	昭42.11.24	佐竹・徳川による築城
39	助川海防城跡	日立市助川町5-10-4 (管) 日立市教育委員会	昭42.11.24	天保7年(1836)、斉昭が山野辺義観 <small>やまのべよしみ</small> に命じて築城。天保9年(1838)完成
40	泉が森	日立市水木町1525 泉神社	昭44.12. 1	清泉。古代の庶民遊楽の地
41	旧久原本部 <small>くほら</small>	日立市宮田町3585 日鉦記念館	昭45. 9.28	日立鉦山久原房之助が明治38年建設
42	穴薬師古墳	五霞町川妻249 (管) 個人	昭46. 3.29	古墳時代後期の円墳。石室が特異な構造をもつ。
43	鹿見塚古墳	潮来市大生890-2 (管) 潮来市教育委員会	昭46.10.28	大生古墳群中の主要古墳
44	府中愛宕山古墳	石岡市北根本694ほか 石岡市	昭46.12. 2	墳丘長約90mの前方後円墳
45	真壁氏累代地及び墓碑群 30基	桜川市真壁町山尾525-1 (管) 桜川市教育委員会	昭46.12. 2	遍照院墓域にある五輪塔群
46	大生古墳群 <small>おおう</small>	潮来市大生890-1ほか (管) 風土記の里保存会	昭50. 3.25	本県最大級の古墳群で約100基
47	太子古墳	かすみがうら市安食734-1 個人 <small>あんじき</small>	昭52. 5. 2	石室に赤い塗料による壁画が残る。
48	千代田の一里塚	かすみがうら市西野寺848 個人	昭52. 5. 2	水戸街道稻吉と府中の間にある一里塚
49	熊野古墳	かすみがうら市市川40、40-1 個人	昭52. 5. 2	墳丘長約63mの前方後円墳
50	小菅郷校跡 <small>こすげごうこう</small>	常陸太田市小菅町 個人	昭53. 1.26	矢場、土塁、表門石垣が残る。

No.	名 称	所在地 及び 所有者 (管理者)	指定年月日	備 考
51	<small>みなみこうや</small> 南高野貝塚	日立市南高野町1-19 (管) 日立市教育委員会	昭54. 3. 8	縄文時代中～晩期の貝塚
52	<small>さかさい</small> 逆井城跡	坂東市逆井1234 (管) 坂東市	昭60. 3.25	戦国末期の後北条氏の有力支城か。
53	東城寺経塚群 12基	土浦市東城寺 (管)土浦市教育委員会	平3. 1.25	平安後期。経筒・経文など出土
54	那珂湊反射炉跡 (附那珂湊反射炉資料25点)	ひたちなか市栄町1-10 ひたちなか市	平16.11.25	安政年間。鉄製大砲鑄造の施設
55	星神社古墳 1基	常陸太田市小島町757-1ほか 個人	平18.11.16	墳丘長100m、県内最古級の前方後円墳
56	富士見塚1号墳・2号墳・3号墳 3基	かすみがうら市柏崎1546-71、1555-3、1555-4、1555-15、1572-1 かすみがうら市	平20.11.17	1号墳：墳丘長約80mの前方後円墳 2号墳：墳丘径約25mの円墳 3号墳：墳丘径約17mの円墳
57	石神城跡	東海村大字石神内宿字本城1244他53筆 東海村	平29.12.25	佐竹氏家臣の石神小野崎氏が在城。惣構えの中核

カ 名勝

No.	名 称	所在地 及び 管理者	指定年月日	備 考
1	<small>あゆみざき</small> 歩崎	かすみがうら市坂921 かすみがうら市	昭8.10. 6	霞ヶ浦の土浦入りと高浜入りに挟まれた岬一帯
2	広浦	茨城町下石崎1651 茨城町	昭9.11.30	涸沼に突き出た米洲岬。水戸八景、「広浦秋月」の碑あり。
3	親沢	茨城町上石崎4144-1 茨城町	昭9.11.30	涸沼の親沢鼻をいう。岸より突き出た砂州
4	袋田瀧	大子町袋田 大子町	昭15. 3.27	高さ121m、幅76m、4段に落ちる。 <small>よどのたき</small> 「四度瀧」
5	花園溪谷「七ツ瀧」	北茨城市華川町花園591 花園神社	昭27.12.18	花園川が7段にわたって落瀑

キ 天然記念物

No.	名 称 ・ 数 量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
1	銚スギ 1株	大子町下野宮1626 近津神社	昭6.10.13	避雷針 (昭59) 避雷針更新 (平12)
2	三浦杉 2株	常陸大宮市小田野172 吉田八幡神社	昭6.12. 4	
3	<small>くつかけ</small> 沓掛ノ大櫨 1株	坂東市沓掛843-1 神明社	昭7. 6.24	保存修理 (昭62) 樹勢回復 (平14～16)
4	<small>やしろ</small> 八代の大椎 1株	潮来市上戸1558 神明神社	昭8.10. 6	保存修理 (平13)
5	金砂山ノ大柊 5株	ひたちなか市堀口1 金砂神社	昭10.12.27	
6	花園山石南群落	北茨城市華川町花園587ほか 花園神社	昭11. 4.17	

No.	名称・数量	所在地及び所有者	指定年月日	補助事業
7	鏡岩	常陸大宮市照山1587 常陸大宮市	昭11. 4.17	
8	球状花崗岩	石岡市吉生2716 石岡市	昭12. 2. 5	
9	地蔵樺 1株	取手市下高井1306 高源寺	昭14. 3. 6	樹勢回復(昭63) 保存修理(平8)
10	静のムクノキ 1株	那珂市静455 那珂市	昭14. 3.31	
11	佐久の大杉 1株	石岡市佐久622 佐久区	昭16. 3.31	樹勢回復(平10～12)
12	龍ヶ崎の垂枝桜 1株	龍ヶ崎市3341 般若院	昭28. 7. 9	樹勢回復(平元)
13	真鍋の桜 5株	土浦市真鍋4-3-1 土浦市	昭31. 5.25	樹勢回復(平8～9)
14	亀城の椎 1株	土浦市中央1丁目 土浦市	昭31. 5.25	
15	海鷲渡来地	日立市川尻町2-7 日立市	昭31. 5.25	
16	平磯白亜紀層	ひたちなか市平磯海岸 ひたちなか市	昭32. 6.26	
17	<small>おだか</small> 小高の榎 1株	行方市小高925 行方市	昭33. 3.12	樹勢回復(平18～20)
18	出島の椎 1株	かすみがうら市下軽部289 かすみがうら市	昭33. 3.12	樹勢回復(平12～14)
19	花園の大杉 1株	北茨城市華川町花園567 花園神社	昭35.12.21	
20	花園のコウヤマキ 2株	北茨城市華川町花園567 花園神社	昭35.12.21	
21	波崎の大タブ 1株	神栖市波崎3355 神善寺	昭35.12.21	保存修理(昭61)
22	無量寿寺のボダイジュ 1株	銚田市鳥栖1013 無量寿寺	昭36. 3.24	
23	お葉付イチョウ 1株	大洗町大貫町802 西光院	昭37. 2.26	自費環境整備(平14)
24	大穂のウメ 1株	つくば市吉沼2376 個人	昭37. 8.27	
25	鹿島神宮樹叢	鹿嶋市宮中2306-1ほか 鹿島神宮	昭38. 8.23	防虫(昭55)。保護増殖・ 防災(平8～9)
26	下横場の大グミ 1株	つくば市高野台3-6-1 つくば市	昭39. 7.31	
27	西蓮寺の大イチョウ 2株	行方市西蓮寺504 西蓮寺	昭39. 7.31	
28	潮来の大ケヤキ 1株	潮来市潮来1338-2 素鷲熊野神社	昭39. 7.31	
29	大生神社の樹叢	潮来市大生814 大生神社	昭39. 7.31	保護増殖(平6)
30	お葉付イチョウ 1株	銚田市中居685-1 照明院	昭42. 3.30	樹勢回復(平13)
31	八重の藤 1対	笠間市笠間39 笠間稲荷神社	昭42.11.24	
32	御岩山の三本スギ 1株	日立市入四間町752 茨城森林管理署	昭43. 9.26	
33	西金砂のイチョウ 1株	常陸太田市上宮河内町1915 西金砂神社	昭44. 3.20	保存修理(平15)
34	西金砂のサワラ 1株	常陸太田市上宮河内町1915 西金砂神社	昭44. 3.20	保存修理(平15)
35	駒つなぎのイチョウ 1株	日立市大久保町2-2-11 鹿島神社	昭44.12. 1	
36	香仙寺のシイ 1株	常陸太田市松栄町615 香仙寺	昭46. 1.28	保存修理(平12)
37	若宮八幡宮のケヤキ 1株	常陸太田市宮本町2344 若宮八幡宮	昭46.12. 2	保存修理(平8)
38	真弓神社の爺杉 1株	常陸太田市真弓町陣ヶ峰2766 真弓神社	昭46.12. 2	

No.	名 称 ・ 数 量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
39	ウチワサボテン群生地	神栖市太田2070-8 神栖市教育委員会	昭47.12.18	
40	モチノキ 1株	常陸太田市天下野町9740 東金砂神社	昭47.12.18	保護管理（昭57）
41	大塚神社のスギ 1株	高萩市下君田1377 大塚神社	昭49. 3.31	
42	大塚神社のモミ 1株	高萩市下君田1377 大塚神社	昭49. 3.31	
43	不動院のカヤ 1株	那珂市菅谷3021 不動院	昭49. 3.31	
44	菅谷のカヤ 1株	那珂市菅谷756 個人	昭50. 3.25	
45	菅谷のモチノキ 1株	那珂市菅谷841 個人	昭50. 3.25	
46	曙のグミ 1株	阿見町曙151-106 阿見町	昭52. 7.18	
47	泉福寺のシダレザクラ 1株	常陸太田市大中町1265 泉福寺	昭52. 7.18	
48	ボダイジュ 1株	古河市仁連126 東漸寺	平4. 1.24	
49	イチイガン 1株	古河市恩名2347 個人	平4. 1.24	
50	椎尾山薬王院の樹叢	桜川市真壁町椎尾3196 薬王院	平6. 1.26	
51	七反のシダレザクラ 1株	常陸太田市里川町484-6 常陸太田市	平7. 1.23	
52	猿喰のケヤキ 1株	常陸太田市徳田町1744-2 徳田共有地管理委員会	平9. 1.27	
53	鷲子山上神社のカヤ 1株	常陸大宮市鷲子3614-2 鷲子山上神社	平10. 1.21	
54	松岩寺のヤマザクラ 1株	高萩市下君田1569 松岩寺	平11. 1.25	支柱付替（平30）
55	稲田禅房のお葉付イチョウ 1株	笠間市稲田469 宗教法人西念寺	平12.11.27	
56	文武館跡のケヤキ 2株	大子町大字大子554 大子町	平14.12.25	
57	酒列磯前神社の樹叢 38,837㎡	ひたちなか市磯崎町4607-2 宗教法人酒列磯前神社	平17.11.25	参道整備（令元）
58	外大野のシダレザクラ 1株	大子町大字外大野1312 個人	平17.11.25	

(5) 国登録文化財一覧

ア 国登録有形文化財（建造物）

No.	名称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	茨城県立水戸商業高等学校旧本館玄関	水戸市新荘3-7-2	茨城県	平成8年12月20日
2	水戸市水道低区配水塔	水戸市北見町126-14	水戸市	平成8年12月20日
3	祐月本店雛蔵	水戸市末広町2-2282-21	個人	平成27年11月17日
4	和田家住宅延年楼	水戸市自由が丘4610-29	個人	平成27年11月17日
5	笠間市立歴史民俗資料館(旧宍戸町役場庁舎)	笠間市平町29	笠間市	平成16年2月17日
6	間宮家住宅主屋	常陸大宮市高部3991	個人	平成15年7月1日
7	島家住宅主屋	城里町上古内480-1	個人	平成14年8月21日
8	武石家住宅主屋	大洗町磯浜町1107-1	個人	平成17年2月9日
9	幕末と明治の博物館別館	大洗町磯浜町字見付久保8231番地4	大洗町	平成17年2月9日
10	大貫家住宅主屋	大洗町磯浜町字道祖神脇1130-3	個人	平成18年3月2日
11	旧おかめ旅館本館	大洗町磯浜町2315-4他	個人	平成19年10月2日
12	潮田家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁189	個人	平成11年11月18日
13	潮田家住宅袖蔵	〃	〃	〃
14	潮田家住宅脇蔵	〃	〃	〃
15	潮田家住宅別荘(離れ)	〃	〃	〃
16	谷口家住宅店舗	桜川市真壁町桜井373	個人	平成12年4月28日
17	谷口家住宅北袖蔵	〃	〃	〃
18	谷口家住宅南袖蔵	〃	〃	〃
19	谷口家住宅門	〃	〃	〃
20	川島書店見世蔵	桜川市真壁町真壁335	個人	平成12年10月18日
21	三輪家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁229	個人	平成12年10月18日
22	三輪家住宅主屋	〃	〃	〃
23	木村家住宅(小田部生花店)見世蔵	桜川市真壁町真壁217-1	個人	平成12年10月18日
24	木村家住宅(小田部生花店)主屋	〃	〃	〃
25	旧真壁郵便局	桜川市真壁町真壁297	桜川市	平成12年10月18日
26	谷田部家住宅長屋門	桜川市真壁町古城198-1	個人	平成12年10月18日
27	猪瀬家住宅薬医門	桜川市真壁町真壁1	個人	平成12年10月18日
28	村井醸造脇蔵	桜川市真壁町真壁72	個人	平成12年12月4日
29	村井醸造石蔵	桜川市真壁町真壁200-1	個人	平成12年12月4日
30	塚本茶舗脇蔵	桜川市真壁町真壁213-1	個人	平成12年12月4日
31	伊勢屋旅館主屋	桜川市真壁町真壁193	個人	平成12年12月4日
32	伊勢屋旅館土蔵	〃	〃	〃
33	鈴木醸造主屋	桜川市真壁町古城191	個人	平成12年12月4日
34	鈴木醸造長屋門	〃	〃	〃
35	西岡本店店舗	桜川市真壁町田6-1	個人	平成13年8月28日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
36	西岡本店脇蔵	桜川市真壁町田6-1	個 人	平成13年 8 月28日
37	西岡本店米蔵	〃	〃	〃
38	小田部鑄造主屋	桜川市真壁町田45	個 人	平成13年 8 月28日
39	小田部鑄造北土蔵	〃	〃	〃
40	小田部鑄造南土蔵	〃	〃	〃
41	小田部鑄造門	〃	〃	〃
42	関根家住宅店舗	桜川市真壁町真壁390	個 人	平成14年 6 月25日
43	関根家住宅主屋	〃	〃	〃
44	中村家住宅主屋	桜川市真壁町真壁391-1	個 人	平成14年 6 月25日
45	中村家住宅文庫蔵	〃	〃	〃
46	中村家住宅薬医門及び塀	〃	〃	〃
47	橋本旅館主屋	桜川市真壁町真壁410	個 人	平成14年 6 月25日
48	橋本旅館土蔵	〃	〃	〃
49	入江家住宅主屋	桜川市真壁町真壁220	個 人	平成14年 8 月21日
50	高久家住宅店舗	桜川市真壁町真壁191	個 人	平成14年 8 月21日
51	川島洋品店土蔵	桜川市真壁町真壁302	個 人	平成14年 8 月21日
52	星野家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁288	個 人	平成14年 8 月21日
53	木村家住宅門	桜川市真壁町真壁217-1	個 人	平成14年 8 月21日
54	市塚紀夫家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁236-1	個 人	平成15年 7 月 1 日
55	土谷家住宅土蔵	桜川市真壁町真壁272-1	個 人	平成15年 7 月 1 日
56	山中家住宅長屋門	桜川市真壁町真壁308	個 人	平成15年 7 月 1 日
57	山中家住宅土蔵	〃	〃	〃
58	中村家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁433	個 人	平成15年 7 月 1 日
59	中村家住宅主屋	〃	〃	〃
60	細谷家住宅主屋	桜川市真壁町飯塚44	個 人	平成15年 7 月 1 日
61	細谷家住宅長屋門	〃	〃	〃
62	市塚章一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚74	個 人	平成15年 7 月 1 日
63	市塚昌宏家住宅表門	桜川市真壁町飯塚85	個 人	平成15年 7 月 1 日
64	小林商店店舗	桜川市真壁町飯塚171-2	個 人	平成15年 7 月 1 日
65	小林商店米蔵	〃	〃	〃
66	増淵家住宅店舗	桜川市真壁町真壁396	個 人	平成15年 9 月19日
67	増淵家住宅主屋	〃	〃	〃
68	増淵家住宅長屋門	〃	〃	〃
69	佐藤家住宅表門	桜川市真壁町真壁397	個 人	平成15年 9 月19日
70	市塚政一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚26	個 人	平成15年 9 月19日
71	桜井家住宅店舗	桜川市真壁町真壁409	個 人	平成16年 2 月17日
72	桜井家住宅主屋	〃	〃	〃
73	桜井家住宅西蔵	桜川市真壁町真壁409	個 人	平成16年 2 月17日
74	桜井家住宅新蔵	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
75	北岡家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町飯塚104	個 人	平成16年 2 月17日
76	大森家住宅主屋	桜川市真壁町桜井169-1	個 人	平成16年 3 月 2 日
77	大森家住宅長屋門	〃	〃	〃
78	大森家住宅土蔵	〃	〃	〃
79	密弘寺不動堂	桜川市真壁町真壁184	密弘寺	平成16年 3 月 2 日
80	西岡家住宅店舗	桜川市真壁町真壁56-1	個 人	平成16年 6 月 9 日
81	西岡家住宅主屋	〃	〃	〃
82	西岡家住宅土蔵	〃	〃	〃
83	平井家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁264	個 人	平成16年 6 月 9 日
84	平井家住宅土蔵	〃	〃	〃
85	旧樺穂小学校校舎	桜川市真壁町真壁351	個 人	平成16年 6 月 9 日
86	塚本家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁60	個 人	平成16年11月 8 日
87	塚本家住宅主屋	〃	〃	〃
88	塚本家住宅土蔵	〃	〃	〃
89	塚本家住宅門	〃	〃	〃
90	村井醸造店舗	桜川市真壁町真壁72	個 人	平成16年11月 8 日
91	村井醸造煙突	〃	〃	〃
92	土生都家住宅主屋	桜川市真壁町真壁75-2	個 人	平成16年11月 8 日
93	土生都家住宅門	〃	〃	〃
94	根本医院門	桜川市真壁町真壁202	個 人	平成16年11月 8 日
95	鈴木家住宅表門	桜川市真壁町真壁34	個 人	平成17年 7 月12日
96	村上家住宅主屋	桜川市真壁町真壁232	個 人	平成17年 7 月12日
97	村上家住宅離れ	〃	〃	〃
98	村上家住宅土蔵	〃	〃	〃
99	村上家住宅表門	〃	〃	〃
100	出川家住宅主屋	桜川市真壁町真壁347	個 人	平成17年 7 月12日
101	出川家住宅土蔵	〃	〃	〃
102	増淵宥市家住宅表門	桜川市真壁町真壁412	個 人	平成17年 7 月12日
103	増淵宥市家住宅土蔵	〃	〃	〃
104	谷口義衛家住宅長屋門及び主屋	桜川市真壁町桜井1	個 人	平成17年 7 月12日
105	谷口義衛家住宅土蔵	〃	〃	〃
106	谷口家住宅主屋	桜川市真壁町桜井373	個 人	平成17年 7 月12日
107	谷口家住宅離れ	〃	〃	〃
108	谷口家住宅土蔵	〃	〃	〃
109	谷口家住宅奥蔵	〃	〃	〃
110	谷口家住宅穀蔵	〃	〃	〃
111	安達家住宅見世蔵及び主屋	桜川市真壁町真壁字新宿町424-1	個 人	平成29年10月27日
112	安達家住宅座敷	〃	〃	〃
113	安達家住宅薬医門	〃	〃	〃

No.	名称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
114	照沼家住宅主屋	東海村大字照沼字寺沼23	個人	平成19年7月31日
115	旧共楽館（日立武道館）	日立市白銀町2-21-15	日立市	平成11年7月8日
116	梅津会館（旧太田町役場）	常陸太田市西二町2186	常陸太田市	平成11年8月23日
117	旧町屋変電所	常陸太田市西河内下町1382-1	〃	〃
118	央橋	常陸太田市春友町〓町屋町	常陸太田市	平成15年9月19日
119	花貫川第一発電所第三号水路橋（めがね橋）	高萩市大字秋山板木2989	東京発電株式会社	平成11年11月18日
120	賀美発電所本館	常陸太田市上深荻町320	東京発電株式会社	平成16年11月8日
121	賀美発電所放水路及び余水路	常陸太田市上深荻町	〃	〃
122	賀美発電所取水所	常陸太田市小菅町	〃	〃
123	小里川発電所本館	常陸太田市徳田町1284-2	東京発電株式会社	平成16年11月8日
124	小里川発電所放水路	常陸太田市徳田町	〃	〃
125	小里川発電所余水路	〃	〃	〃
126	小里川発電所取水所	〃	〃	〃
127	徳田発電所本館	常陸太田市徳田町	東京発電株式会社	平成16年11月8日
128	徳田発電所放水路	〃	〃	〃
129	徳田発電所余水路	〃	〃	〃
130	徳田発電所取水所	〃	〃	〃
131	駿河屋宮田書店店舗兼主屋	常陸太田市内堀町2357	個人	平成26年10月7日
132	駿河屋宮田書店土蔵	〃	〃	〃
133	旧稲田家住宅赤煉瓦蔵	常陸太田市東一町2295-2	〃	〃
134	立川醤油店店舗及び主屋	常陸太田市西二町字西二西2177他	個人	令和3年2月26日
135	茨城大学五浦美術文化研究所岡倉天心旧居（研究室）	北茨城市大津町五浦727-2	国立大学法人茨城大学	平成15年7月1日
136	茨城大学五浦美術文化研究所長屋門（管理舎・陳列館）	〃	〃	〃
137	石岡第二発電所取水堰堤	北茨城市中郷町石岡	東京発電株式会社	平成18年3月2日
138	石岡第二発電所沈砂池	〃	〃	〃
139	石岡第二発電所余水路	〃	〃	〃
140	石岡第二発電所水槽	〃	〃	〃
141	石岡第二発電所鉄管路擁壁	〃	〃	〃
142	石岡第二発電所本館	北茨城市中郷町石岡69-1	〃	平成18年3月2日
143	旧上岡小学校第一棟	大子町上岡914他	大子町	平成26年12月19日
144	旧上岡小学校第二棟	〃	〃	〃
145	旧上岡小学校第三棟	〃	〃	〃
146	旧黒沢中学校本館	大子町上郷2604他	大子町	平成26年12月19日
147	旧黒沢中学校技術教室	〃	〃	〃
148	旧黒沢中学校調理室及び図書館	〃	〃	〃
149	旧黒沢中学校屋内運動場	〃	〃	〃
150	旧黒沢中学校音楽教室	〃	〃	〃
151	旧外池呉服店店舗	大子町大字大子字金町東側624・625合併	個人	平成28年2月25日
152	旧樋口病院入院棟	大子町大字大子字泉町北側705	個人	平成28年2月25日

No.	名称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
153	太子カフェ店舗兼主屋	太子町大字太子字本町南側689	個人	平成28年2月25日
154	太子カフェ土蔵	太子町大字太子字本町南側687-2	個人	平成28年2月25日
155	旧太子銀行本店	太子町大字太子字金町西側642-2	個人	平成29年5月2日
156	旧初原小学校一号棟	太子町初原960	太子町	平成30年5月10日
157	旧初原小学校二号棟	〃	〃	〃
158	旧初原小学校講堂	〃	〃	〃
159	旧西金小学校校舎	太子町西金250	太子町	平成30年5月10日
160	旧西金小学校理科室及び音楽室	〃	〃	〃
161	旧西金小学校調理室	〃	〃	〃
162	旧浅川小学校一号棟	太子町浅川1253	太子町	平成30年5月10日
163	旧浅川小学校二号棟	〃	〃	〃
164	旧槇野地小学校校舎	太子町槇野地2469	太子町	平成30年5月10日
165	一色家住宅主屋	土浦市西真鍋町1918-1, 3	個人	平成13年8月28日
166	岩瀬家住宅主屋	土浦市小山崎字道知411-1他	個人	平成21年1月8日
167	岩瀬家住宅屋敷蔵	〃	個人	平成22年4月28日
168	岩瀬家住宅米蔵	〃	〃	〃
169	岩瀬家住宅味噌倉	〃	〃	〃
170	岩瀬家住宅表門	〃	〃	〃
171	岩瀬家住宅中ノ門	〃	〃	〃
172	岩瀬家住宅東門	〃	〃	〃
173	岩瀬家住宅塀	〃	〃	〃
174	旧大徳呉服店蔵北棟	土浦市中央1-914-4	土浦市	平成28年8月1日
175	旧大徳呉服店蔵南棟	〃	〃	〃
176	旧大徳呉服店袖蔵	〃	〃	〃
177	旧大徳呉服店元蔵	土浦市中央1-914-5	土浦市	〃
178	旧大徳呉服店向蔵	〃	〃	〃
179	旧野村さとう店店舗兼主屋	土浦市中央1-950・952合併	土浦市	平成28年8月1日
180	旧野村さとう店袖蔵	〃	〃	〃
181	旧野村さとう店文庫蔵	〃	〃	〃
182	旧野村さとう店煉瓦蔵	〃	〃	〃
183	きそば東京庵店舗兼住宅	石岡市国府3-3-16	個人	平成15年7月1日
184	福島屋砂糖店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-20	個人	平成15年7月1日
185	丁子屋店舗兼住宅	石岡市国府3-5-6	個人	平成15年7月1日
186	森戸文四郎商店店舗兼住宅	石岡市国府3-695-1	株式会社マエノ	平成15年9月19日
187	大和田家貸店舗	石岡市国府3-3-24	個人	平成15年9月19日
188	十七屋履物店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-22	個人	平成15年9月19日
189	平松理容店店舗兼住宅	石岡市府中2-7-20	個人	平成16年7月23日
190	久松商店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-21	個人	平成16年7月23日
191	府中誉主屋	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成16年7月23日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
192	府中誉長屋門	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成16年7月23日
193	府中誉文庫蔵	〃	〃	〃
194	府中誉穀蔵	〃	〃	〃
195	すがや化粧品店店舗兼住宅	石岡市国府3-5-1	個 人	平成17年11月10日
196	府中誉仕込蔵	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成17年11月10日
197	府中誉釜場	〃	〃	〃
198	府中誉春屋	〃	〃	〃
199	大場家住宅主屋	石岡市佐久258-2	個 人	平成17年12月26日
200	栗山呉服店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-25	個 人	平成18年3月2日
201	坂入家住宅主屋	石岡市辻字山下179	個 人	平成22年4月28日
202	旧小野瀬家住宅店舗	龍ヶ崎市4252	有限会社東洋不動産	平成16年2月17日
203	旧小野瀬家住宅主屋	〃	〃	〃
204	旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀	龍ヶ崎市上町4274-1	龍ヶ崎市	平成30年5月10日
205	旧岡田小学校女化分校校舎	牛久市女化町391-1	牛久市	平成30年5月10日
206	宮本家住宅店蔵	つくば市北条188	個 人	平成15年7月1日
207	宮本家住宅居室	〃	〃	〃
208	宮本家住宅離れ	〃	〃	〃
209	宮本家住宅炊事場	〃	〃	〃
210	宮本家住宅門	〃	〃	〃
211	宮本家住宅炭・味噌小屋及び車庫	〃	〃	〃
212	宮本家住宅新蔵	〃	〃	〃
213	宮本家住宅大蔵	〃	〃	〃
214	沼尻家住宅主屋	つくば市金田38-1	個 人	平成17年7月12日
215	沼尻家住宅米蔵	〃	〃	〃
216	沼尻家住宅蔵	〃	〃	〃
217	沼尻家住宅長屋	〃	〃	〃
218	旧矢中家住宅主屋	つくば市北条字古城94-1他	個 人	平成23年7月25日
219	旧矢中家住宅離れ	〃	〃	〃
220	旧矢中家住宅石蔵及び石塀	〃	〃	〃
221	旧矢中家住宅擁壁及び横井戸	〃	〃	〃
222	旧田村呉服店ミセ蔵兼主屋	つくば市北条字日向39-1	個 人	平成27年11月17日
223	旧田村呉服店店蔵	〃	〃	〃
224	旧田村呉服店穀蔵及び浴室	〃	〃	〃
225	旧田村呉服店炊事場	〃	〃	〃
226	旧常陸北条郵便局	つくば市北条字中町裏183-3	個 人	平成27年11月17日
227	旧根本家住宅主屋	つくば市吉瀬字清水1680	個 人	平成27年11月17日
228	旧根本家住宅長屋門	〃	〃	〃
229	旧植竹庄兵衛家住宅洋館	稲敷市江戸崎字大日久保甲2354	個 人	平成19年10月2日
230	旧植竹庄兵衛家住宅和館	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
231	旧植竹庄兵衛家住宅土蔵	稲敷市江戸崎大日久保甲2354	個 人	平成19年10月 2 日
232	鈴木家住宅養蚕小屋	かすみがうら市加茂2291-13	個 人	平成15年 9 月19日
233	小澤家住宅主屋	美浦村大字大谷字向1620	個 人	平成21年 1 月 8 日
234	小澤家住宅米蔵	〃	〃	〃
235	小澤家住宅表門	〃	〃	〃
236	篆刻美術館表蔵棟（旧平野家表蔵棟）	古河市中心中央町2-4-18	古河市	平成10年10月 9 日
237	篆刻美術館裏蔵棟（旧平野家裏蔵棟）	〃	〃	〃
238	坂長本店店蔵	古河市中心中央町3-5742・5743他	古河市	平成12年 9 月26日
239	坂長本店袖蔵	古河市中心中央町3-5742・5743他	古河市	平成12年 9 月26日
240	坂長本店主屋	〃	〃	〃
241	坂長本店文庫蔵	〃	〃	〃
242	坂長本店中蔵	〃	〃	〃
243	坂長本店石蔵	〃	〃	〃
244	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館	古河市雷電町1-78	亀屋商事株式会社	平成16年 6 月 9 日
245	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館土蔵	〃	〃	〃
246	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館旧食堂及び旧浴室	〃	〃	〃
247	亀屋商事（旧飯島家住宅）煉瓦倉庫	古河市東1-15-11	〃	〃
248	武蔵屋店舗	古河市横山町1-5535-2	株式会社武蔵屋	平成25年 6 月21日
249	荒川家住宅主屋	筑西市甲868	個 人	平成11年 8 月23日
250	荒川家住宅店蔵	〃	〃	〃
251	荒川家住宅付属屋	〃	〃	〃
252	荒川家住宅内蔵	〃	〃	〃
253	荒川家住宅石蔵	〃	〃	〃
254	一木歯科医院	筑西市甲12	個 人	平成11年 8 月23日
255	荒川家住宅主屋	筑西市字田町甲929-1他	個 人	平成23年 7 月25日
256	荒川家住宅旧店蔵	〃	〃	〃
257	荒川家住宅旧土蔵	〃	〃	〃
258	旧尾見家住宅主屋	筑西市村田字下町1624	個 人	平成28年11月29日
259	旧尾見家住宅神輿蔵	〃	〃	〃
260	旧尾見家住宅薬医門	〃	〃	〃
261	江連用水旧溝宮裏両樋	下妻市本宗道	下妻市	平成27年 3 月26日
262	結城酒造株式会社安政蔵	結城市大字結城1589	個 人	平成12年 4 月28日
263	結城酒造株式会社新蔵	〃	〃	〃
264	結城酒造株式会社煉瓦煙突	〃	〃	〃
265	奥順見世蔵	結城市大字結城字大町9-2	個 人	平成17年 2 月 9 日
266	奥順店舗	結城市大字結城字大町9-2, 12-2	〃	〃
267	奥順離れ	〃	〃	〃
268	奥順土蔵	結城市大字結城字大町9-2, 字西の宮町1336-2	〃	〃
269	結真袖見世蔵	結城市大字結城字大町68-1	個 人	平成17年 2 月 9 日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
270	結真紬主屋	結城市大字結城字大町68-1	個 人	平成17年2月9日
271	小西見世蔵	結城市大字結城字浦町114	個 人	平成17年2月9日
272	赤荻本店見世蔵	結城市大字結城字浦町122	個 人	平成17年2月9日
273	秋葉糰味噌醸造見世蔵	結城市大字結城字浦町174-1	個 人	平成17年2月9日
274	鈴木紡績見世蔵	結城市大字結城字西の宮町1355	個 人	平成17年2月9日
275	鈴木紡績主屋	〃	〃	〃
276	中澤商店見世蔵及び主屋	結城市大字結城字穀町1538	個 人	平成17年2月9日
277	旧黒川米穀店店舗	結城市大字結城字西の宮町1319-2	個 人	平成18年10月18日
278	キヌヤ菓舗店舗	結城市大字結城字大町9	個 人	平成18年10月18日
279	奥順壺の蔵	結城市大字結城大町82	奥順株式会社	平成18年10月18日
280	小倉商店店舗兼主屋	結城市大字結城字浦町116	個 人	平成20年3月7日
281	奥庄店舗兼主屋	結城市大字結城字大町24他	個 人	平成21年1月8日
282	保坂家住宅主屋	結城市大字結城字浦町135他	個 人	平成23年7月25日
283	保坂家住宅土蔵	〃	〃	〃
284	武勇見世蔵	結城市大字結城字浦町144	個 人	平成23年7月25日
285	武勇脇蔵	〃	〃	〃
286	武勇製品蔵	〃	〃	〃
287	武勇仕込蔵	〃	〃	〃
288	武勇旧釜蔵	〃	〃	〃
289	武勇煙突	〃	〃	〃
290	鈴木新平商店見世蔵	結城市大字結城字浦町109-1	個 人	平成26年12月19日
291	鈴木新平商店文庫蔵	〃	〃	〃
292	鈴木新平商店座敷棟	〃	〃	〃
293	二水会館（旧水海道町役場）	常総市水海道天満町1606	常総市	平成9年12月12日
294	五木宗レンガ蔵	常総市水海道元町3421-1	個 人	平成12年4月28日
295	武道館（旧水海道小学校雨天体操場兼講堂）	常総市水海道栄町2680-1	常総市	平成15年7月1日
296	旧大塚酒造店舗兼主屋	坂東市岩井3351-2	坂東市	平成29年5月2日
297	旧大塚酒造本蔵	〃	〃	〃

イ 国登録有形民俗文化財

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	常陸大宮及び周辺地域の和紙生産用具と製品	常陸大宮市	常陸大宮市	平成25年3月12日
2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具	大子町	大子町	平成26年2月24日

ウ 国登録記念物

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦	北茨城市大津町	国立大学法人茨城大学・国土交通省	平成26年3月18日

5 市町村別指定文化財数

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
水戸市	国	5		1	2				1	1	2			6	1	1	20
	県	6	14	9	24	4			4	2			3	3			69*
	市	13	8	13	19		2	1	9	10	4		4	12		8	103
笠間市	国	3		4												1	8
	県	2	1	9	3	3				1				1		2	22
	市	10	12	37	9	1	1	2	5	4		1	3	17		18	120
ひたちなか市	国													2			2
	県	1			5	1			3					2		3	15
	市	4			4				10	2	2	2	8	11	3	7	53
那珂市	国		3						1								4
	県	1	5	8	3	3				1				1		4	26
	市	2	3	8	6	1		1	12	1			2	4		16	56
常陸大宮市	国								1					1			2
	県	1		4	1				1	1	1	2				3	14
	市	10	5	21	8		1	4	5	6		4	9	14		17	104
茨城町	国			1										1		1	3
	県	1	1	2											2		6
	町	1		12	1			1	7			1	3	10		4	40
小美玉市	国																0
	県	1	3	1	1	1											7
	市	6	3	11	4	3		2	2	3		1	6	15		9	65
城里町	国			2													2
	県			3	2						1			2			8
	町	4	3	10	4	3					1	1	2	12	1	5	46
大洗町	国													1			1
	県	1	2	6	5	2			1							1	18
	町	2	1	2				2							1	1	9
東海村	国																0
	県		1						1					1			3
	村			6					5	1		4		4		7	27
大子町	国														1		1
	県			1									1		1	3	6
	町	2	1	3					1		2	2	1	4		6	22
日立市	国											1	1	1		1	4
	県	1	1	6	2	1			1	2		1	1	5		3	24*
	市	4	1	4	5	1			3	4		5	2	8	2	5	44
常陸太田市	国	2		2										2	1		7
	県	3	7	10	2	3							3	4		9	41
	市	5	12	11	16	2			8	4	1	2	2	12		18	93
高萩市	国	1								1						1	3*
	県	1	1							1						3	6
	市		1	1	1			2	1	5			2	7		3	23
北茨城市	国	1											1				2*
	県			3					1				1	1	1	3	10
	市	2	2	15					2				2	5		1	29
鹿嶋市	国	4			2									1		1	8
	県		1	4	9			1			1					1	17
	市	14	7	10	2			4	5			1	3	10		3	59
潮来市	国				1												1
	県	7	3	5	5							1	4	2		3	30
	市	9	5	9	7	11		3	4	4		4	4	10		20	90
鉾田市	国		1	1													2
	県	4	1	2		1										2	10
	市	11		11	1	1			4					5	1	18	52
神栖市	国	1															1
	県			2												2	4
	市	1	3	9		1	2						5	1		2	24

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
行方市	国	2															2
	県	5		4	1			1								2	13
土浦市	国	10	1	23	2	1			2	2		1	5	6		17	70
	県	1	1	1	7				1					1			12
石岡市	国	3	4	9	14	3			4	1			3	3		2	46
	県	15	11	42	55	5		6	15	12		7	6	41	2	5	222
龍ヶ崎市	国	1							1					6			8
	県	2	2	4	7	3		2	4	1		1	5	4		2	37
取手市	国	6	5	18	7	4		3	8	1		6	5	10	2	5	80
	県	1	1														2
牛久市	国	1															1
	県	3												2		1	6
つくば市	国	2		1	1									2			6
	県	1												2			6
守谷市	国	1															1
	県	3												2			6
稲敷市	国	2												2			6
	県	1												2			6
かすみがうら市	国	1															1
	県	1		2	2												5
美浦村	国	1	3	3	7				2	1				8		2	27
	県	1			2									3			6
阿見町	国	8	5	2	7	2			1					2		2	29
	県	8	16	23	7				6				8	6		9	83
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		1				1		2			17
かすみがうら市	国	5	5	27	6			7	3	2			5	7		1	68
	県	1															1
美浦村	国	2	2	10	6				2					5	1	1	29
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
阿見町	国													1			1
	県			2	1				1								4
河内町	国																0
	県	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1											

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
常総市	国	1															1
	県		4	2	1								1	1			9
	市	11	6	6	3	1			5		3		6	4		8	53
坂東市	国		1														1
	県	3	2	5	3	1							2	1		1	18
	市	6	3	24					12	2			1			10	58
桜川市	国	1		1	1									2	1	1	7*
	県	11	6	19	5	4		1	1					2		1	50
	市	11		28	1			1	7	7		2	3	4		7	71
八千代町	国																0
	県	1		2													3
	町	5	5	10	2	1		4	7					7			41
五霞町	国																0
	県					1								1			2
	町	1			1	5											7
境町	国																0
	県		1		1								1				3
	町		445	3	4	9	1	3	2			19	1	2			489
その他	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1*

市町村指定文化財数	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
	241	612	519	232	55	10	94	188	93	13	84	122	382	12	269	2926

(令和3年3月1日現在)

(注) *について

- ・国指定重要文化財（建造物）「石岡第一発電所施設」は、高萩市と北茨城市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「新治廃寺跡」は、桜川市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「大宝城跡」は、下妻市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・県指定有形文化財（歴史資料）「訂正常陸国風土記版木」は、20枚のうち19枚が日立市に、20枚のうち1枚が水戸市に所在するので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定天然記念物「軍鶏（シャモ）」は、東京都・茨城県・秋田県・高知県・千葉県・青森県を主たる棲息地とするので、市町村名を「その他」として記載し、*を付した。

令和2年度 新規市町村指定文化財一覧

市町村名	種別	名称	数量	所在地	所有者	指定年月日
稲敷市	工芸品	脇差「常弼住英定／天正（以下切）」	1口	稲敷市八千石18-1	稲敷市立歴史民俗資料館	令和2年3月23日
稲敷市	工芸品	脇差「常弼住綱貞作文／天正十五年英定」	1口	稲敷市八千石18-1	稲敷市立歴史民俗資料館	令和2年3月23日
稲敷市	工芸品	脇差「常州住綱貞」	1口	稲敷市八千石18-1	稲敷市立歴史民俗資料館	令和2年3月23日
稲敷市	考古資料	小野遺跡出土蔵骨器	1揃	稲敷市八千石18-1	稲敷市立歴史民俗資料館	令和2年3月23日
那珂市	考古資料	子持勾玉	1箇	那珂市戸崎428-2	那珂市教育委員会	令和2年3月24日
那珂市	考古資料	墨書土器	1箇	那珂市戸崎428-2	那珂市教育委員会	令和2年3月24日
古河市	建造物	古河第一小学校正門（赤門）	1対	古河市中央町3-10-1	古河市長	令和2年3月27日
阿見町	史跡	塙城跡	—	稲敷郡阿見町大字塙560-2ほか34筆	個人（13名）	令和2年3月31日
境町	絵画	啄木図 ほか	441件	境町1407-5	個人	令和2年4月24日
境町	書跡	良寛さま歌 ほか	7件	境町1407-5	個人	令和2年4月24日
境町	工芸品	普賢菩薩 ほか	3件	境町1407-5	個人	令和2年4月24日
常陸大宮市	工芸品	銅製十一面観音懸仏	1面	常陸大宮市中富町1087-14	青山観音代表	令和2年7月6日
常陸大宮市	工芸品	銅製華鬘	2枚	常陸大宮市国長834	阿弥陀院	令和2年7月6日
常陸大宮市	彫刻	木造狛犬	1対	常陸大宮市下町221	甲神社	令和2年7月6日
常陸大宮市	天然記念物	ナウマンゾウ臼歯化石（左上顎）	1点	常陸大宮市中富町1087-14	常陸大宮市	令和2年7月6日
土浦市	歴史資料	旧川口川閘門鉄扉及び排水ポンプ	1枚 1基	土浦市川口1-5128-1	土浦市	令和2年8月25日
桜川市	彫刻	木造金剛力士像	2軀	桜川市真壁町椎尾3196	椎尾山薬王院	令和2年10月26日
結城市	考古資料	結城作出土木棺	1基	結城市大字結城1361	結城市教育委員会	令和2年10月28日
結城市	考古資料	結城廃寺跡出土塑像	16軀	結城市大字結城1361	結城市教育委員会	令和2年10月28日
笠間市	彫刻	木造十二神将立像	12軀	笠間市来栖2696	岩谷寺	令和3年1月26日
笠間市	彫刻	木造獅狻	1対	笠間市笠間39	笠間稻荷神社	令和3年1月26日

6 令和2年度茨城県埋蔵文化財 センター事業概要

1 設置目的

茨城県埋蔵文化財センター「いせきびあ茨城」（以下「埋蔵文化財センター」という。）は、(公財)茨城県教育財団が発掘調査及び整理・研究を行った出土遺物等を収蔵・保管及び管理し、さらに活用して県民への埋蔵文化財の保護と普及啓発を行い、文化財保護行政を担う人材の育成を図る。

なお、埋蔵文化財センター内には、茨城県教育財団整理センターが所在しており、国・県等の開発事業に係る発掘調査で得られた出土遺物等の整理・研究及び報告書刊行を行っている。

2 基本方針

(1) 整理・記録・研究

所蔵資料類の整理・記録・研究報告等を実施する機能を有すること。

(2) 収蔵・保管・管理

出土遺物及び調査記録等の収蔵・保管及び文化財関係図書の整備を行い、資料及び情報等を適切に保管・管理し、活用できる機能を有すること。

(3) 普及・啓発・研修

学校教育や生涯学習との連携を図り、出土遺物等の展示・公開、閲覧・貸出、埋蔵文化財情報の収集・提供、文化財関係図書の閲覧等の普及啓発活動を行う機能を有すること。併せて、市町村文化財担当職員や教職員等に対する研修機能を有すること。

(4) その他

駐車場等、埋蔵文化財センターの利用及び運営に必要な便益的機能を有すること。

3 令和2年度事業概要

(1) 遺物の保存・活用事業

① 収蔵・保管状況（令和2年12月末現在） ※ 遺物は発掘調査報告書ごとに収蔵・保管

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第405集	清水古墳群 神屋遺跡 神屋南遺跡	稲敷市	平成28年3月
第406集	高須賀堂ノ前遺跡 高須賀道城入遺跡	つくば市	平成28年3月
第407集	東田中遺跡 中津川遺跡2	石岡市	平成28年3月
第408集	並松遺跡2	城里町	平成28年3月
第409集	取手宿跡2	取手市	平成28年3月
第411集	仁江戸古墳群	八千代町	平成28年3月
第412集	宮後東原遺跡	筑西市	平成28年3月
第413集	明石遺跡2	つくば市	平成28年3月
第416集	挨倉遺跡 挨倉西遺跡 鐘打東遺跡	坂東市	平成29年3月
第420集	殿島遺跡	小美玉市	平成29年3月
第425集	東大橋逆井遺跡	石岡市	平成30年3月
第426集	清水原山遺跡	潮来市	平成30年3月
第427集	築地遺跡 宮原前遺跡2	常総市	平成30年3月
第428集	山王中坪遺跡	五霞町	平成30年3月

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第 429 集	柴崎大堀遺跡 柴崎大日塚	つくば市	平成 30 年 3 月
第 430 集	見川塚畑遺跡	水戸市	平成 30 年 3 月
第 431 集	島名熊の山遺跡 (14 区)	つくば市	平成 30 年 3 月
第 432 集	島名熊の山遺跡 (13/14 区)	つくば市	平成 30 年 3 月
第 434 集	東田中遺跡	石岡市	平成 31 年 3 月
第 435 集	九重東岡廃寺 金田西遺跡	つくば市	平成 31 年 3 月
第 436 集	瑞龍遺跡	常陸太田市	平成 31 年 3 月
第 437 集	島名熊の山遺跡 (12 区 A・D 区)	つくば市	平成 31 年 3 月
第 438 集	島名中代遺跡	つくば市	平成 31 年 3 月
第 439 集	島名前野東遺跡	つくば市	令和 2 年 3 月
第 440 集	須賀下東遺跡	鉾田市	令和 2 年 3 月
第 443 集	金田西坪 B 遺跡	つくば市	令和 2 年 3 月
第 445 集	中道遺跡	大子町	令和 2 年 3 月
第 446 集	下河原崎高山古墳群 2	つくば市	令和 2 年 3 月
第 447 集	与曾内遺跡	龍ヶ崎市	令和 2 年 3 月

※ 発掘調査報告書：茨城県教育財団が行った発掘調査の成果をまとめた冊子

② 活用状況

ア 展示室の活用

原始から近代までのくらしが想像できるような埋蔵文化財の展示（整理作業が終了した出土遺物への入れ替えやミニ企画展「古代の鉄生産」の開催）

イ 保管環境の整備

収蔵遺物の検索が容易にできる収蔵方法の工夫と脆弱な遺物を保管するためのドライキャビネットの購入

ウ 資料貸出

東田中遺跡（石岡市）出土の鹿角加工品

築地遺跡（常総市）出土の骨角器、琥珀、アスファルト付着石鏃・礫等【茨城県立歴史館へ】



展示室の見学



遺物保管庫

(2) 普及事業

① わくわく体験教室

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、5月(第1回)及び6月(第2回)は中止

月	日	テーマ	人	月	日	テーマ	人
7	5	貝塚のひみつを調べよう	13	10	4	縄文土器をつくろうⅡ (縄文土器作り)	26
8	23	「おどる埴輪」をつくろう	39				
9	13	縄文土器をつくろうⅠ (縄文のひみつをさぐる)	19	12	6	勾玉や管玉でネックレスをつくろう	36
				計		133人	

② 出前授業・出前体験(令和2年12月末現在)

月	日	事業所名	人	月	日	事業所名	人
6	26	那珂市立横堀小(6年)	31	10	30	高萩市立松岡小(5年)	73
7	2	水戸市立稲荷第一小(6年)	42	11	2	県立水戸桜ノ牧高校常北校(全校)	108
7	7	城里町立七会小(6年)	8	11	5	水戸市立堀原小(6年)	54
7	15	ひたちなか市立長堀小(6年)	112	11	7	ひたちなか市立外野小(全校)	810
8	27	日立市立田尻小(6年)	88	11	7	桜川市立南飯田小(5、6年)	40
10	1	常陸大宮市立山方中(1年、保護者)	84	11	12	水戸市立三の丸小(5年)	79
10	21	常陸大宮市立山方南小(4年、保護者)	29	11	19	龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小(6年)	45
				計		1,603人	

③ 施設見学・体験活動(令和2年12月末現在)

ア 団体

月	日	事業所名	人	月	日	事業所名	人
9	16	結城市立江川北小(6年)	36	11	27	城里町立桂小(6年)	19
10	12	那珂市立瓜連小(4年)	61	12	16	城里町立石塚小(4年)	59
10	15	稲敷市立あずま北小(6年)	17	計		192人	

イ 個人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(人)
人数	7	9	40	42	40	35	35	47	25	280



わくわく体験教室「縄文土器をつくろうⅡ」

出前授業「火起こし体験」

④ 広報活動

広 報 資 料	主な配付対象等
わくわく体験教室ポスター	茨城県内の小中学校、教育文化施設ほか
施設パンフレット	
出前授業・出前体験チラシ	
茨城県埋蔵文化財センターPRクリアファイル	来館者ほか
茨城県教育委員会ホームページでの事業実績掲載	インターネットによる情報提供

⑤ 城里町との連携事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止

(3) 発掘調査整理事業（公益財団法人茨城県教育財団）

国土交通省、県、UR都市機構からの委託を受け16遺跡を整理し、9冊の発掘調査報告書を刊行予定

4 沿 革

- ・ 平成28年1月 要項策定、展示・収蔵計画等作成
- ・ 平成28年1月 茨城県埋蔵文化財センターの愛称を「いせきぴあ茨城」に決定
- ・ 平成28年4月 開設、茨城県教育財団において整理業務開始
- ・ 平成28年4月1日 茨城県埋蔵文化財センター設置要項施行
- ・ 平成28年6月3日 茨城県埋蔵文化財センターの運営について、城里町・教育財団・県教委で三者協定書締結
- ・ 平成28年7月26日 開館記念式典を実施、同日より公開開始
- ・ 平成28年9月12日 茨城県埋蔵文化財センター運協議会要項制定
- ・ 平成29年4月1日 茨城県埋蔵文化財センター設置要項一部改正
※ 日曜日の開館を開始

5 所在地

〒311-4325 茨城県東茨城郡城里町北方1481番地（旧城里町立北方小学校敷地）

電 話 029-289-3300 F A X 029-289-4545

（公財）茨城県教育財団 埋蔵文化財整理センター

電 話 029-289-2002 F A X 029-289-2008

6 利用時間

開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）

休 館 日 毎週土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日

年末・年始（12/29～1/3）

7 令和元年度茨城県遺跡発掘 調査報告



談義所遺跡 第7号竖穴建物跡完掘状況（坂東市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕



宿尻遺跡 第1号土坑土器出土状況（常陸大宮市）〔提供 常陸大宮市教育委員会〕



久能向原古墳 第1号墳主体部完掘状況（北から）（古河市）〔提供 古河市教育委員会〕



大高台遺跡 第23号掘立柱建物跡完掘状況（高萩市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

1 令和元年度県内発掘調査の概要

本報告は、主に令和元年度に県内で実施された発掘調査（保存目的の発掘調査及び学術調査）79件について、当該の市担当部局及び市町村教育委員会、公益財団法人茨城県教育財団並びに大学等の調査担当者から提供された原稿をもとに、その概要をまとめたものである。以下、注目される発掘調査を時代別に概観する。

旧石器時代としては、熊ノ平古墳群（行方市）、上河原崎前山遺跡（つくば市）、元中北東藤四郎遺跡（つくば市）などがあげられ、いずれも石器集中地点から多数の石器や剥片が確認されている。熊ノ平古墳群からは黒曜石の搔器が、上河原崎前山遺跡からは黒曜石の尖頭器や剥片38点が出土している。

縄文時代では、谷田下ノ内遺跡（水戸市）、東田中遺跡（石岡市）、談義所遺跡（坂東市）などが特筆される。谷田下ノ内遺跡では、東北地方との関連を示す網取式の土器片が出土している。東田中遺跡からは、人面を模した土製品、また、多くの貝殻に混じって牙斧が出土しており、当時の生活環境を知る上で貴重な資料である。談義所遺跡では厚く堆積した盛土遺構が確認され、出土遺物とともに注目される。

弥生時代では、宿尻遺跡（常陸大宮市）、京塚遺跡（那珂市）が調査の好例である。宿尻遺跡は弥生時代中期の再葬墓における学術調査である。京塚遺跡では後期前半の東中根式期の竪穴建物跡が調査され、那珂川支流の上流域では初見となっている。

古墳時代では、頓（徳）化原古墳（城里町）、高山塚古墳及び西天塚古墳（常陸太田市）、后塚古墳（土浦市）においては、学術調査及び保存目的の調査が行われている。そのほか久能向原古墳群（古河市）は円墳3基の古墳群で、3基とも角閃石安山岩を使用した胴張複室構造で両袖式の横穴式石室が確認された。

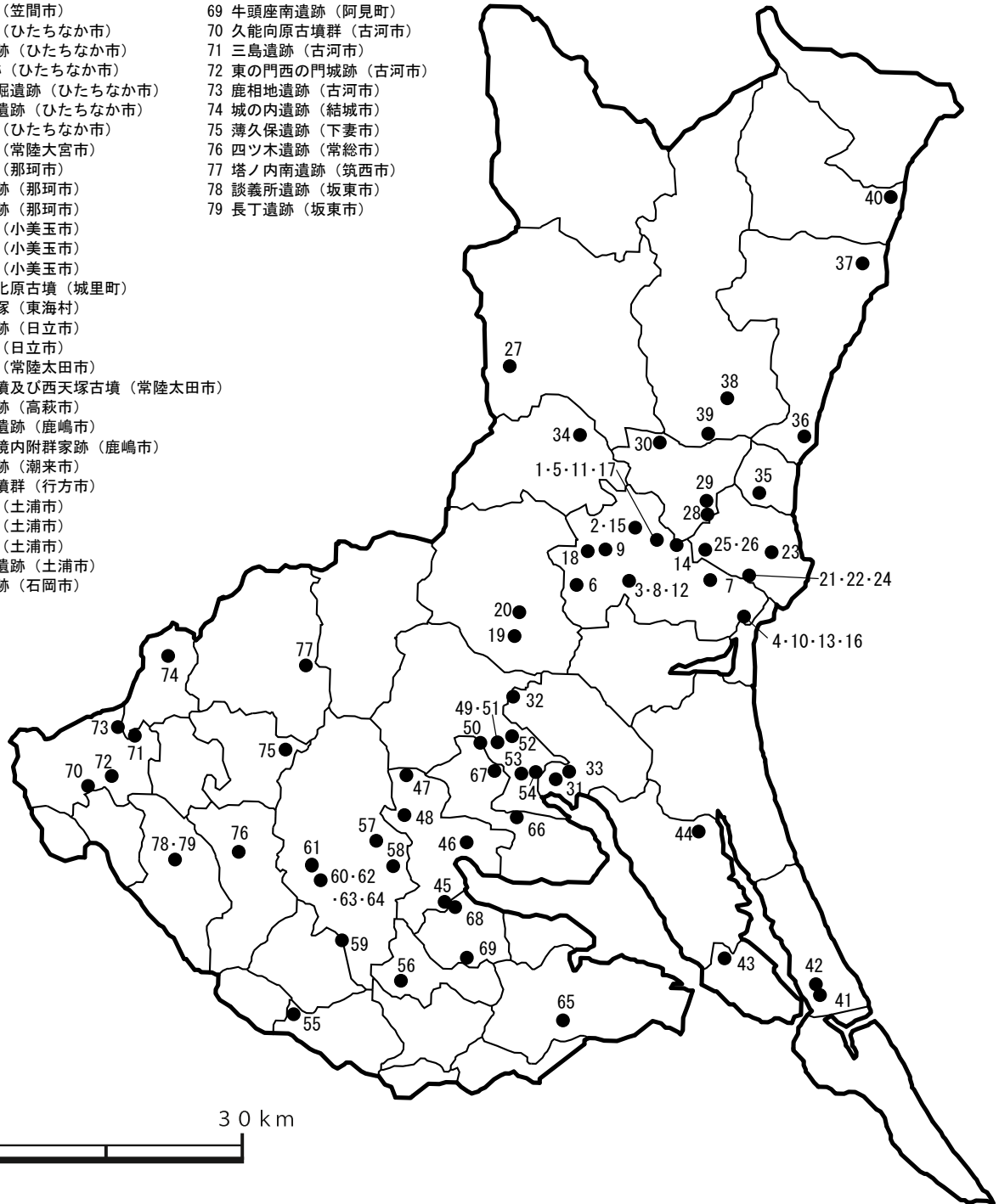
奈良・平安時代では、台渡里廃寺跡（水戸市）や鹿島神宮境内附郡家跡（鹿嶋市）で史跡整備に伴う内容確認調査が行われ、鹿島神宮境内附郡家跡では、郡庁東側の厨家推定域で掘立柱建物跡を追加検出するなど成果をあげている。このほかに、三島遺跡（古河市）、東の門西の門城跡（古河市）、鹿相地遺跡（古河市）は、古墳時代から奈良・平安時代、後に続く中世にかけての集落跡で、近年面的な調査が行われており、県西部域の当該時代の好資料として期待される。

中・近世では、太田城跡（常陸太田市）、大高台遺跡（高萩市）、島名本田遺跡（つくば市）、多聞寺遺跡（かすみがうら市）、城の内遺跡（結城市）があげられる。大高台遺跡では、日弁上人に関わる寺院施設と考えられる掘立柱建物跡の柱穴の底に石が据えられていた。島名本田遺跡と多聞寺遺跡からは、地下式坑群が確認されており、出土遺物もそれぞれ注目される。

2 発掘調査遺跡の主な種別と時代

市町村名	番号	遺跡名	調査地の主な種別	調査地の主な時代																
				旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	中世	近世	近現代									
水戸市	1・17	台渡里廃寺跡	寺社跡					●	●	●										
	2	西原古墳群	集落跡																	
	3・8	河和田城跡	城館跡																	
	4・16	東前原遺跡	集落跡			●														
	5	文京二丁目遺跡	集落跡			●														
	6	野際遺跡	集落跡																	
	7	谷田下ノ内遺跡	集落跡		●															
	9	稲荷塚古墳群	古墳				●													
	10・13	小原遺跡	集落跡																	
	11	長者山城跡	城館跡																	
	12	桜川西遺跡	城館跡																	
	14	柳河町遺跡	集落跡			●	●	●												
	15	堀遺跡	集落跡																	
	18	中道遺跡	集落跡																	
	19	妙見東遺跡	集落跡																	
	笠間市	20	桶爪遺跡	集落跡		●														
		21	岡田遺跡	集落跡		●	●	●	●	●										
		22	下高井遺跡	集落跡		●	●	●	●	●										
	ひたちなか市	23	向野A遺跡	集落跡		●														
24		三反田新堀遺跡	集落跡			●	●	●	●											
25		市毛上坪遺跡	集落跡			●	●	●	●											
常陸大宮市	26	堀口遺跡	集落跡			●	●	●	●											
	27	宿尻遺跡	集落跡			●	●	●	●											
那珂市	28	京塚遺跡	集落跡			●	●	●	●											
	29	仲の房館跡	城館跡																	
小美玉市	30	下大賀遺跡	集落跡		●															
	31	天神遺跡	集落跡		●															
城里町	32	宮前遺跡	包蔵地																	
	33	玉切遺跡	集落跡			●	●	●	●											
	34	頓（徳）化原古墳	古墳																	
東海村	35	御所内貝塚	貝塚			●	●													
	36	西大塚遺跡	集落跡																	
日立市	37	山尾城跡	城館跡																	
	38	太田城跡	集落跡、城館跡			●	●	●	●											
常陸太田市	39	高山塚古墳及び西天塚古墳	古墳																	
	40	大高台遺跡	集落跡			●	●	●	●											
高萩市	41	屋敷廻り遺跡	包蔵地																	
	42	鹿島神宮境内附郡家跡	官衙跡、集落跡																	
つくば市	43	一本推遺跡	塚																	
	44	熊ノ平古墳群	集落跡																	
	45	堂後遺跡	集落跡																	
	46	后塚古墳	古墳																	
	47	小野窯跡	窯跡																	
	48	藤沢山後遺跡	集落跡																	
	石岡市	49	一本杉遺跡	包蔵地																
		50	中島遺跡	包蔵地																
		51	尼ヶヶ原遺跡	包蔵地																
		52	杉ノ井遺跡	包蔵地																
		53	中津川遺跡	集落跡																
		54	東田中遺跡	集落跡、貝塚																
		55	神明遺跡	集落跡																
	つくば市	56	南A遺跡	集落跡																
		57	上境旭台貝塚	貝塚、集落跡																
		58	上ノ室野中遺跡	集落跡、墓城																
		59	根崎遺跡	集落跡、包蔵地																
		60	島名本田遺跡	集落跡、墓城																
		61	上河原崎前山遺跡	集落跡																
62		元中北東藤四郎遺跡	集落跡																	
63		島名境松遺跡	集落跡																	
64		下河原崎高山古墳群	古墳																	
稲敷市		65	清水古墳群	塚、集落跡																
	66	多聞寺遺跡	包蔵地																	
かすみがうら市	67	姥久保遺跡	集落跡																	
	68	宮脇遺跡	集落跡																	
	69	牛頭座南遺跡	集落跡																	
古河市	70	久能向原古墳群	古墳群																	
	71	三島遺跡	集落跡																	
	72	東の門西の門城跡	集落跡、城館跡																	
	73	鹿相地遺跡	集落跡																	
結城市	74	城の内遺跡	城館跡																	
	75	下妻市	戦争関連遺跡																	
常陸市	76	四ツ木遺跡	包蔵地																	
	77	塔ノ内南遺跡	集落跡																	
坂東市	78	談義所遺跡	集落跡																	
	79	長丁遺跡	古墳																	

- 1 台渡里廃寺跡（水戸市）
- 2 西原古墳群（水戸市）
- 3 河和田城跡（水戸市）
- 4 東前原遺跡（水戸市）
- 5 文京二丁目遺跡（水戸市）
- 6 野際遺跡（水戸市）
- 7 谷田下ノ内遺跡（水戸市）
- 8 河和田城跡（水戸市）
- 9 稲荷塚古墳群（水戸市）
- 10 小原遺跡（水戸市）
- 11 長者山城跡（水戸市）
- 12 桜川西遺跡（水戸市）
- 13 小原遺跡（水戸市）
- 14 柳河町遺跡（水戸市）
- 15 堀遺跡（水戸市）
- 16 東前原遺跡（水戸市）
- 17 台渡里廃寺跡（水戸市）
- 18 中道遺跡（水戸市）
- 19 妙見東遺跡（笠間市）
- 20 橋爪遺跡（笠間市）
- 21 岡田遺跡（ひたちなか市）
- 22 下高井遺跡（ひたちなか市）
- 23 向野A遺跡（ひたちなか市）
- 24 三反田新堀遺跡（ひたちなか市）
- 25 市毛上坪遺跡（ひたちなか市）
- 26 堀口遺跡（ひたちなか市）
- 27 宿尻遺跡（常陸大宮市）
- 28 京塚遺跡（那珂市）
- 29 仲の房館跡（那珂市）
- 30 下大賀遺跡（那珂市）
- 31 天神遺跡（小美玉市）
- 32 宮前遺跡（小美玉市）
- 33 五切遺跡（小美玉市）
- 34 頓（徳）化原古墳（城里町）
- 35 御所内貝塚（東海村）
- 36 西大塚遺跡（日立市）
- 37 山尾城跡（日立市）
- 38 太田城跡（常陸太田市）
- 39 高山塚古墳及び西天塚古墳（常陸太田市）
- 40 大高台遺跡（高萩市）
- 41 屋敷廻り遺跡（鹿嶋市）
- 42 鹿島神宮境内附群家跡（鹿嶋市）
- 43 一本椎遺跡（潮来市）
- 44 熊ノ平古墳群（行方市）
- 45 堂後遺跡（土浦市）
- 46 后塚古墳（土浦市）
- 47 小野窯跡（土浦市）
- 48 藤沢山後遺跡（土浦市）
- 49 一本杉遺跡（石岡市）
- 50 中島遺跡（石岡市）
- 51 尼ヶヶ原遺跡（石岡市）
- 52 杉ノ井遺跡（石岡市）
- 53 中津川遺跡（石岡市）
- 54 東田中遺跡（石岡市）
- 55 神明遺跡（取手市）
- 56 南A遺跡（牛久市）
- 57 上境旭台貝塚（つくば市）
- 58 上ノ室野中遺跡（つくば市）
- 59 根崎遺跡（つくば市）
- 60 島名本田遺跡（つくば市）
- 61 上河原崎前山遺跡（つくば市）
- 62 元中北東藤四郎遺跡（つくば市）
- 63 島名境松遺跡（つくば市）
- 64 下河原崎高山古墳群（つくば市）
- 65 清水古墳群（稲敷市）
- 66 多聞寺遺跡（かすみがうら市）
- 67 姥久保遺跡（かすみがうら市）
- 68 宮脇遺跡（阿見町）
- 69 牛頭座南遺跡（阿見町）
- 70 久能向原古墳群（古河市）
- 71 三島遺跡（古河市）
- 72 東の門西の門城跡（古河市）
- 73 鹿相地遺跡（古河市）
- 74 城の内遺跡（結城市）
- 75 薄久保遺跡（下妻市）
- 76 四ツ木遺跡（常総市）
- 77 塔ノ内南遺跡（筑西市）
- 78 談義所遺跡（坂東市）
- 79 長丁遺跡（坂東市）



令和元年度 発掘調査遺跡分布図

1 台渡里廃寺跡（台渡里第179次）

08201098

（奈良時代～近世／寺社跡）

所在地 水戸市渡里町字2882番2地先ほか
 調査原因 狭あい道路整備及び公共下水道工事
 調査年月日 平成31年3月12日～令和元年5月14日
 調査面積 149.75㎡
 調査主体 水戸市教育委員会
 調査支援 株式会社地域文化財研究所
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和3年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸の標高約31mの台地上に立地する。今回の調査では、古代の竪穴建物跡1棟、土坑1基、ピット2基、及び中・近世の溝跡2条、井戸跡1基、土坑1基、ピット12基、性格不明遺構1基を検出した。遺物は、古代の土師器、須恵器、瓦片、及び中・近世の内耳土鍋片、鉄滓がある。

竪穴建物跡は中央部を溝が横断しているため、遺存状態は良好ではないが、一辺10mを測る大型のものと考えられる。当該の溝跡は、断面逆台形の遺構で、遺物をほとんど含まない。

2 西原古墳群（第17地点第7次）

08201080

（近世／集落跡）

所在地 水戸市堀町字馬場東301番3ほか
 調査原因 個人住宅建築工事
 調査年月日 平成31年4月16日～令和元年6月1日
 調査面積 300㎡
 調査主体 水戸市教育委員会
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和3年度以降刊行予定

調査概要

標高約30mの台地上に立地する。今回の調査では、近世に帰属すると考えられる溝状遺構1条、土坑1基、及び性格不明遺構2基を検出した。溝状遺構は生垣状の掘り込みで、調査区内で概ね直角に屈曲し、調査区西方及び南方へと延びる。性格不明遺構は大型で不定形の浅い掘り込みの底部に、主に東西方向に延びる、しまりの非常に強い黒色土で充填された掘り込みがほぼ平行に複数存在する。土坑は性格不明遺構の下位から検出された方形竪穴である。

3 河和田城跡（第24地点第2次）

08201102

（中世／城館跡）

所在地 水戸市河和田町字中城999番
 調査原因 水戸市動物愛護センター建設工事
 調査年月日 平成31年4月16日～令和元年6月1日
 調査面積 250㎡
 調査主体 水戸市教育委員会
 調査支援 株式会社東京航業研究所
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 『河和田城跡（第24地点第2次）水戸市動物愛護センター建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和元年11月

調査概要

桜川右岸の標高約30mの台地上に立地する。河和田城跡の推定主郭部分における初めての発掘調査である。溝状遺構から15世紀半ばから後半にかけての土師質土器が23個体以上出土したほか、青磁や白磁などの輸入陶磁器が出土した。また、輪宝墨書土器が市内で初めて出土し、河和田城跡の主郭内である可能性を高めた貴重な発掘調査例である。

4 東前原遺跡（第19地点第4次）

08201259

（弥生時代、奈良・平安時代、近世／集落跡）

所在地 水戸市東前町字原1096番2ほか
 調査原因 サービス付き高齢者向け住宅建築工事
 調査年月日 令和元年5月7日～5月14日
 調査面積 約74.25㎡
 調査主体 水戸市教育委員会
 調査支援 株式会社東京航業研究所
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和3年度以降刊行予定

調査概要

標高約19mの台地上に立地する。今回の調査では、西調査区では溝跡1条、土坑2基、及びピット18基、東調査区では溝跡5条、土坑2基、及びピット19基を検出した。西調査区のピットのうち4基は一連の柵あるいは堀を構成していたものと考えられる。東調査区の溝跡のうち、最も大型のものは幅約1.9m、深さ約0.5mを測り、底面には何らかの付属施設と考えられる5基のピットを伴う。また、覆土中からは土師器片、須恵器片、及び弥生時代の土製紡錘車出土した。

5 文京二丁目遺跡 (第6地点第2次)

08201231

(弥生時代/集落跡)

所在地 水戸市文京二丁目 2042 番 1
 調査原因 個人住宅建築
 調査年月日 令和元年 5 月 28 日～6 月 18 日
 調査面積 約 57 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸の標高約 30m 前後の台地上に立地する。発掘調査では、竪穴建物跡 1 棟、土坑 3 基、及び性格不明遺構 1 基が確認された。竪穴建物跡は残存状況については良好ではなかったが、出土遺物から弥生時代後期の十王台式期に比定される。建物形態は隅丸方形を呈し、内部では炉跡が確認された。本遺跡は発掘調査の蓄積が少なく、各時代における集落の変遷についても詳らかでない点も多いことから、遺跡の性格を検討するうえで非常に有益な成果を得ることができた。

6 野際遺跡 (第2地点第2次)

08201117

(近世/集落跡)

所在地 水戸市小林町字畝吉 656 番 1 の一部
 調査原因 個人住宅建築工事
 調査年月日 令和元年 6 月 4 日～7 月 6 日
 調査面積 約 162.75 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

標高約 30m の台地上に立地する。今回の調査では、土坑 5 基及びピット 11 基を検出した。土坑のうち 3 基は平面形が方形であり、底面に凹凸が見られることから、当該期の植栽痕である可能性がある。他 2 基の平面形は円形であり、黒色かつ湿潤な覆土で充填されている。また、掘り込みは他の遺構に比して深く、湧水面を大きく下回る深度まで至っている。機能は不明であるが、井戸跡、厩跡、及び埋甕遺構といった可能性を指摘できる。

7 谷田下ノ内遺跡 (第6地点第2次)

08201002

(縄文時代/集落跡)

所在地 水戸市谷田町字あつま 578 番 1
 調査原因 個人住宅建築
 調査年月日 令和元年 6 月 13 日～6 月 17 日
 調査面積 約 6.75 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

那珂川左岸の標高 10m 前後の台地上に立地する。付近には縄文時代後期加曽利 B 式期に比定される谷田貝塚が位置しているほか、同時期の集落がいくつか散見されることから、活発な土地利用がうかがえる場所である。今回の発掘調査では、調査面積 6.75 m² という範囲ながらも、中期後半の加曽利 E II 式期の竪穴建物跡 1 棟、加曽利 E II から E III 式期の土坑 2 基が検出された。また、覆土上層には網取式の土器片が含まれており、東北地方との強い影響がうかがえる資料である。

8 河和田城跡 (第44地点第4次)

08201102

(中世/城館跡)

所在地 水戸市河和田町 493 番 1
 調査原因 集合住宅建築工事
 調査年月日 令和元年 7 月 1 日～7 月 6 日
 調査面積 約 22.94 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 調査支援 株式会社日本窯業史研究所
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

標高約 32m の台地上に立地する。今回の調査では、溝跡 3 条、土坑 1 基、及びピット群が検出された。溝跡のうち、最も大型のものは上端幅約 80cm の断面 U 字形を呈するもので、調査区内で屈曲し、調査区西方の八坂神社及び北方の報仏寺の方向へ延びる。土坑は方形竪穴であり、一部が検出されたのみである。

9 稲荷塚古墳群 (第1地点第4次)

08201221

(古墳時代/古墳)

所在地 水戸市大塚町 1753 番ほか
調査原因 公共下水道工事
調査年月日 令和元年 7 月 1 日～7 月 31 日
調査面積 153 m²
調査主体 水戸市教育委員会
調査支援 関東文化財振興会株式会社
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 『稲荷塚古墳群 (第1地点第4次) 公共下水道工事 (桜川処理分区枝線 4-1 区) に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

調査概要

標高約 44m の台地上に立地する。今回の調査では、円墳 3 基それぞれに伴う周溝及び中世以降の土坑 5 基を検出した。規模は、1 号墳は直径約 25m、2 号墳は直径約 18m、3 号墳は直径約 32m と考えられる。周溝の覆土中から土師器片、須恵器片、及び埴輪片が出土し、古墳の構築・埋没の時期決定の貴重な資料となった。確認された埴輪、須恵器、及び石材の検討から、桜川流域の古墳群と地域的・文化的な影響を受けていたことがうかがえる。

10 小原遺跡 (第13地点3次)

08201183

(奈良・平安時代/集落跡)

所在地 水戸市東前第二土地区画整理事業 73 街区 7 画地
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和元年 7 月 18 日～10 月 5 日
調査面積 約 508 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸の標高 17m ほどの台地上に位置する。発掘調査では、縄文時代の陥し穴 1 基、奈良・平安時代の堅穴建物跡 6 棟、掘立柱建物跡 1 棟が検出された。堅穴建物跡のうち 1 棟は、主軸の北壁と南壁の際に 4 本の柱穴が壁外に斜めに掘り込まれる工法を採用しており、市内では東組遺跡で見られるものであるが、類例が少ない。帰属時期についても 9 世紀半ば以降であり、同時期の建物構造を理解する上で、貴重な発見である。

11 長者山城跡 (第4地点第2次)

08201100

(奈良・平安時代、中世/城館跡)

所在地 水戸市渡里町字長者山 3154 番 5 ほか
調査原因 揚水機場吐出し水槽工事
調査年月日 令和元年 7 月 29 日～11 月 1 日
調査面積 1,100 m²
調査主体 水戸市教育委員会
調査支援 株式会社地域文化財研究所
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 『長者山城跡 (第4地点第2次) 渡里揚水機場吐出し水槽工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

調査概要

那珂川右岸の標高 40m ほどの台地上に立地する。今回の発掘調査では、古代の堅穴建物跡 8 棟、性格不明遺構 1 基、溝跡 5 条、及び土坑 4 基、中世の土塁 2 条、堀跡 3 条、溝跡 4 条、大型土坑 1 基、及び土坑 23 基が検出された。堅穴建物跡 1 棟からは製鉄、金属加工、及び漆に関わる遺物が出土しており、工房が営まれていた可能性が高い。中世では、16 世紀末の埋没が認められる空堀が検出されており、年代観も佐竹氏の攻撃によって落城したとされる見解と合致する。

12 桜川西遺跡 (第37地点第2次・第40地点第2次)

08201323

(中世/城館跡)

所在地 水戸市河和田町字東原 221 番 1 の一部ほか
調査原因 個人住宅建築工事
調査年月日 令和元年 8 月 20 日～8 月 21 日
調査面積 約 22.5 m²
調査主体 水戸市教育委員会
資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

標高約 30m の台地上に立地する。今回の調査では、溝跡 1 条を検出した。当該の溝跡は、上端幅約 1.5m、下端幅約 0.4m を測る、断面逆台形状の箱堀である。遺物は瓦質土器片 1 点が溝跡覆土中層から出土したのみであり、詳細な帰属年代や、調査地点西方に立地する河和田城跡との関連は詳らかにしえない。なお、本地点北隣地では上端幅約 2.7m を測る大型の溝跡が検出されている。北隣地の溝跡では遺物は検出されていないものの、本地点に溝跡と平行の関係にあり、関連がうかがえる。

13 小原遺跡（第40地点第2次）

08201183

(奈良・平安時代／集落跡)

所在地 水戸市東前町 1034 番 3
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和元年 9 月 27 日～11 月 19 日
 調査面積 約 332 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 調査支援 株式会社東京航業研究所
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 『小原遺跡（第40地点第2次）一区画道路 6 - 51 号道路改良及び造成並びに流域関連下水道工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』令和 2 年 3 月 31 日

調査概要

那珂川右岸の標高約 16m の台地上に立地する。奈良・平安時代の竪穴建物跡 5 棟と土師器、須恵器、瓦等が出土した。墨書土器や、珠千の文字など、仏教との関係を示唆する遺物も含まれており、村落内寺院の存在がうかがわれる資料である。小原遺跡の性格や遺構の分布など、今後の貴重な調査例となる。

14 柳河町遺跡（第6地点第2次）

08201051

(弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 水戸市柳河町字中坪 376 番 1
 調査原因 個人住宅建築工事
 調査年月日 令和元年 10 月 3 日～令和 2 年 2 月 8 日
 調査面積 約 104 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

標高約 9 m の自然堤防上に立地する。今回の調査では、竪穴建物跡 6 棟（弥生 2、古墳 2、奈良・平安 2）、溝状遺構 1 条（奈良・平安）、竪穴状遺構 1 基（奈良・平安）、及びピット群を検出した。弥生時代の竪穴建物跡は十王台式期の所産であり、うち 1 棟からは炉石が出土した。古墳時代の竪穴建物跡は主軸方向が互いに異なるが、いずれの覆土からも大型の炭化材が検出されている。溝状遺構からは平瓦片 1 点が出土した。竪穴状遺構には焼土を伴う 2 基の掘り込みが付随する。

15 堀遺跡（第80地点）

08201064

(奈良時代～近世／集落跡)

所在地 水戸市堀町 450 番 2 地先ほか
 調査原因 狭あい道路整備工事
 調査年月日 令和 2 年 1 月 27 日～2 月 28 日
 調査面積 約 61 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 調査支援 株式会社日本窯業史研究所
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

標高約 30m の台地上に立地する。今回の調査では、奈良・平安時代の竪穴建物跡 6 棟、土坑 1 基、溝跡 1 条、及びピット 7 基のほか、近世の土坑 1 基、時期不明の溝跡 3 条、性格不明遺構 1 基、ピット群、及び道路状遺構を検出した。竪穴建物跡は、8 世紀前半から 9 世紀第 II 四半期に帰属するものである。時期・性格とも不明の遺構からは、ウマとみられる草食動物の歯牙が出土した。道路状遺構は側溝を伴う直線的なもので、古代末から中世初期の所産と考えられる。

16 東前原遺跡（第27地点第2次）

08201259

(奈良・平安時代／集落跡)

所在地 水戸市東前町 1072 番 3 ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和 2 年 2 月 20 日～3 月 11 日
 調査面積 約 122 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 調査支援 株式会社東京航業研究所
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 『東前原遺跡（第27地点）一東前第二区画道路 6 - 35 号外 1 路線道路改良及び流域関連下水道工事に伴う埋蔵文化財報告書一』令和 2 年 7 月 30 日

調査概要

那珂川右岸の標高約 16m の台地上に立地する。今回の調査では、古代の竪穴建物跡 1 棟、溝跡 1 条、土坑 2 基を検出した。竪穴建物跡の年代は 9 世紀であり、東前原遺跡の遺構の分布や集落の変遷を考えるうえで貴重な所見を得ることができた。

17 台渡里廃寺跡（台渡里第184次）

08201098

（奈良・平安時代／寺社跡）

所在地 水戸市渡里町字アラヤ前 2973 番 1 ほか
 調査原因 史跡整備に伴う内容確認調査
 調査年月日 令和元年11月13日～令和2年3月31日
 調査面積 370 m²
 調査主体 水戸市教育委員会
 資料保管 水戸市埋蔵文化財センター
 報告書名 令和3年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸の標高約 30mの台地上に立地する。今回の調査は、伽藍を構成する建物のうち、推定金堂跡を対象とした内容確認調査である。調査の結果、金堂跡は、東西約 13.5m、南北約 12mの掘込総地業を有することが判明した。地業土中からは古代に帰属する遺物の出土は見られないことから、当該建物は伽藍の創建期、即ち7世紀第IV四半期の建立と考えられる。地業外周の溝跡覆土中からは、瓦塔片や「寺」銘墨書内面黒色土師器破片が出土した。

18 中道遺跡 08305068

（古墳時代、平安時代、室町時代、江戸時代／集落跡）

所在地 水戸市牛伏町 140 番 9 ほか
 調査原因 道路建設事業
 調査年月日 令和2年1月6日～3月31日
 調査面積 2,004 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和3年度以降刊行予定

調査概要

水戸市の西部、桜川右岸の標高 38～54mの台地上に立地している。古墳時代の掘立柱建物跡が並列していることから、倉庫群であった可能性がある。道路跡は台地上に向かっていることや複数回の改修が認められたことから、低地部と台地を結ぶ通路であったと考えられる。中国製の磁器が出土しており、室町時代には、周辺に有力者が存在していた可能性が考えられる。

19 妙見東遺跡（2019-01地点）

08322143

（奈良・平安時代／集落跡）

所在地 笠間市下郷字根道 2029 番 3
 調査原因 個人住宅
 調査年月日 令和元年8月1日～9月3日
 調査面積 82 m²
 調査主体 笠間市教育委員会
 資料保管 笠間市教育委員会
 報告書名 令和4年度刊行予定

調査概要

今回の調査では、性格不明遺構1基（奈良・平安）、土坑2基（奈良・平安）を検出した。性格不明遺構の床面直上には、赤色化した覆土中から炭化物や焼土を検出したほか、床面を皿状に掘り込んだ浅いくぼみ2か所を確認した。出土遺物は土師器、須恵器のほか、砥石及び鉄滓が出土している。鍛冶に関する作業場と思われる。また、土坑底面は皿状を呈し、土師器と須恵器の小破片が出土している。いずれの遺構もほぼ同時期のものと推測される。

20 橋爪遺跡（2019-02地点）

08214043

（縄文時代／集落跡）

所在地 笠間市橋爪字井ノ上 884 番 5
 調査原因 個人住宅
 調査年月日 令和2年2月10日～3月27日
 調査面積 20.5 m²
 調査主体 笠間市教育委員会
 資料保管 笠間市教育委員会
 報告書名 令和4年度刊行予定

調査概要

今回の調査では、土坑1基（縄文）、ピット4基（縄文）を確認した。土坑の規模は、耕作による攪乱を受けているため詳細は不明だが、土層のわずかな立ち上がりから、底面径約 2.7mと推測できる。本遺構に伴うと思われる柱穴痕や土坑底面にやや硬化した箇所を検出したことから、小規模な堅穴建物跡の可能性はある。時期は、出土土器片から縄文時代中期とみられる。

21 岡田遺跡 (第36次) 08221039

(縄文時代～平安時代、中世／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字三反田字北長町 3618 番 2
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和元年 4 月 11 日～4 月 17 日
調査面積 11 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 『令和元年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和 2 年 3 月 14 日

調査概要

調査地は、那珂川を望む台地上に位置する。浄化槽部分を調査した結果、地表面からの深さ約 2.6m を測る断面薬研状の溝跡を確認した。溝跡は現況の道路に沿うように東西方向に延びており、幅は一部が調査区外に及ぶため、5 m ほどと推定される。時期を決定できる遺物が出土していないが、規模や形状からみて中世の溝跡と思われる。位置からみて金上城に関わる遺構の可能性はある。

22 下高井遺跡 (第7次) 08221001

(縄文時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字三反田字下高井 5009 番 4
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和元年 7 月 17 日～7 月 23 日
調査面積 10 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 『令和元年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和 2 年 3 月 14 日

調査概要

調査地は、那珂川を望む台地上に位置する。浄化槽部分を調査した結果、竪穴建物跡の南東壁を確認した。中央部にピットがあり、出入口ピットと考えられる。遺物は、須恵器、土師器の小片が少量出土している。詳細な時期は不明であるが、9 世紀頃の建物跡と考えられる。

23 向野A遺跡 (第6次) 08221148

(縄文時代、中世／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字馬渡字向野 2884 番 2、3
調査原因 土地区画整理事業
調査年月日 令和元年 10 月 9 日～10 月 31 日
調査面積 50 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 令和 4 年度以降刊行予定

調査概要

本郷川から北東に延びる小支谷の奥部に所在し、平坦な地形を呈する。今回確認された 1 号溝跡は、「鎌倉街道」と地元に残る中世の古道の推定ライン上にある。今回の調査で、中世の古銭(元祐通宝)が 1 枚出土したため、古道の側溝の可能性が高まった。

24 三反田新堀遺跡 (第20次) 08221109

(弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字三反田字新堀 5233 番 1
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和 2 年 1 月 7 日～1 月 21 日
調査面積 32 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 『令和 2 年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和 3 年 3 月

調査概要

調査地は、中丸川を望む台地縁辺部に位置する。調査区は住宅建物部分に設定した。調査の結果、不正楕円形を呈する竪穴遺構を確認した。竪穴遺構の規模は、2.4×2.1m を測り、床面に柱穴や炉は認められなかったが、床全体が硬化しており、建物跡として用いられた可能性が高い。竪穴遺構から弥生時代中期の甕や壺の破片が出土しているため、当該期の遺構と思われる。

25 市毛上坪遺跡 (第31次) 08221131

(弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字市毛上坪 1209 番 5
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和 2 年 1 月 21 日～2 月 12 日
調査面積 77 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 『令和 2 年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和 3 年 3 月

調査概要

調査地は、那珂川を望む台地上に位置する。調査区は住宅建物部分に設定した。調査の結果、竪穴建物跡 4 棟（弥生後期十王台式期 1、古墳中期 2、古墳後期 1）を確認した。遺物の出土量はいずれも少ない。当調査区は表土からの攪乱が深く入っており、遺構の残存状況は良くなかった。

26 堀口遺跡 (第32次) 08221004

(弥生時代～平安時代／集落跡)

所在地 ひたちなか市大字堀口字塙坪 42 番 9
調査原因 個人住宅建築
調査年月日 令和 2 年 2 月 18 日～3 月 11 日
調査面積 39 m²
調査主体 公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
報告書名 『令和 2 年度ひたちなか市内遺跡発掘調査報告書』令和 3 年 3 月

調査概要

調査地は、那珂川を望む台地上に位置する。調査区は住宅建物部分に設定した。調査の結果、竪穴建物跡 3 棟（奈良 1、平安 1、時期不明 1）を確認した。奈良時代後半の第 2 号建物跡からは、底部に墨書された完形の須恵器杯や、完形の手づくね土器が床面付近から出土し、馬歯（上顎骨）も床面近くから出土した。建物廃絶に際して贖罪を目的とする動物供犠祭祀が行われた可能性もあろう。同建物跡の覆土中からは、石製勾玉が出土している。

27 宿尻遺跡 08225226

(縄文時代～中世／集落跡)

所在地 常陸大宮市長倉字宿尻 907 番 2
調査原因 学術研究調査
調査年月日 令和元年 8 月 1 日～9 月 12 日
調査面積 98 m²
調査主体 常陸大宮市教育委員会
資料保管 常陸大宮市教育委員会
報告書名 令和 3 年度刊行予定

調査概要

遺跡は那珂川左岸の丘陵上にあり、調査地点は支流の大沢川に面した中位の段丘に位置する。弥生時代中期の再葬墓が推定される試掘結果にもとづき、学術調査を実施した。再葬墓は 1 基で、長軸 3 m ほどの隅丸方形の土坑である。内部からは、環状に配列された 15 個体の壺形土器、中央部から破碎された管玉が出土した。再葬墓の調査に伴い、縄文時代の土坑、平安時代の竪穴建物跡、中世の掘り込みも検出した。

28 京塚遺跡 (第2次) 08342007

(縄文時代～古墳時代／集落跡)

所在地 那珂市菅谷 5330 番 73
調査原因 福祉施設建設
調査年月日 令和元年 9 月 1 日～9 月 13 日
調査面積 360 m²
調査主体 那珂市教育委員会
資料保管 那珂市歴史民俗資料館
報告書名 『京塚遺跡 重症児デイサービス kokoro 新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和 2 年 1 月

調査概要

那珂市の南東端、ひたちなか市との市境に接する標高約 31m の台地上に立地している。弥生時代の竪穴建物跡 1 棟、古墳時代の竪穴建物跡 2 棟、土坑 2 基、溝 1 条などを確認した。竪穴建物跡 1 棟ではあったが、弥生時代後期前半の東中根式期の集落跡の一端が、那珂川支流の上流域で発見された成果は初見となった。

29 仲の房館跡 08342128

(中世／城館跡)

所在地 那珂市菅谷 2199 番 1 ほか
 調査原因 施設改築工事
 調査年月日 令和 2 年 3 月 9 日～3 月 16 日
 調査面積 140 m²
 調査主体 那珂市教育委員会
 資料保管 那珂市歴史民俗資料館
 報告書名 『仲の房館跡発掘調査報告書』令和 2 年 7 月

調査概要

那珂市の市街地東南部にあり、標高 33m ほどの平坦な台地上に立地している。中世の堀跡 1 条、土塁 1 条などを確認した。堀は幅 1.8m、深さ 0.9m を測り、断面形は逆台形の箱薬研を呈する。土塁の高さは 1.2m を測り、遺構としてピット列が確認でき、中世の方形館跡の典型を示している。

30 下大賀遺跡 08343007

(旧石器時代、縄文時代、奈良時代～近世／集落跡)

所在地 那珂市瓜連 1424 番 4 ほか
 調査原因 県道改築事業
 調査年月日 平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 6 月 30 日
 調査面積 2,662 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

那珂市の北部、玉川右岸の標高約 43m の台地上に立地している。調査によって縄文時代の陥し穴 4 基、奈良・平安時代の竪穴建物跡 2 棟、奈良時代の掘立柱建物跡 1 棟、室町時代の土坑 1 基、堀跡 1 条、溝跡 1 条などを確認した。陥し穴の存在から、縄文時代は狩場であったと考えられる。方形区画の薬研堀跡や、その内郭部の土坑から中国産の白磁や刀剣類が出土したことから、室町時代の居館の可能性がある。

31 天神遺跡 (第 4 次) 08462080

(縄文時代、奈良・平安時代／集落跡)

所在地 小美玉市上玉里字鷺田 423 番 3 の一部
 調査原因 自己用住宅建設工事
 調査年月日 令和元年 5 月 17 日～5 月 31 日
 調査面積 約 90 m²
 調査主体 小美玉市教育委員会
 資料保管 小美玉市教育委員会
 報告書名 令和 3 年以降刊行予定

調査概要

天神遺跡は小美玉市の南西部に位置し、南北を園部川から開析する谷津に挟まれる標高約 25m の台地上に所在する。調査では、縄文時代前期に比定される楕円形の土坑 1 基を確認した。また、8 世紀の竪穴建物跡 1 棟を検出した。建物跡の北東壁中央部に竈が付設され、規模及び平面形は一辺 5.1m ほどの隅丸方形を呈している。

32 宮前遺跡 (第 3 次) 08304072

(古墳時代／包蔵地)

所在地 小美玉市羽鳥 940 番ほか
 調査原因 羽鳥宿張星線道路整備事業
 調査年月日 令和元年 8 月 16 日～9 月 14 日
 調査面積 360 m²
 調査主体 有限会社勾玉工房 Mogi
 資料保管 小美玉市教育委員会
 報告書名 『宮前遺跡 (第 3 次) 羽鳥宿張星線道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

調査概要

宮前遺跡は園部川中流の左岸に展開する台地上に所在する。これまでの調査では、6 世紀後葉～7 世紀前半、及び 9 世紀の竪穴建物跡、14・15 世紀の掘立柱建物跡及び地下式坑などを確認している。

今回の調査は、平成 27 年の発掘調査区の延長部分である。調査の結果、古墳時代後期の竪穴建物跡 3 棟を検出し、土師器や須恵器が出土している。調査により、古墳時代の集落が今回の調査区まで広がっていることが明らかとなった。

33 五切遺跡 08303036

(縄文時代、古墳時代～平安時代／集落跡)

所在地 小美玉市中延 270 番 3
 調査原因 道路改良工事
 調査年月日 令和元年 8 月 21 日～8 月 27 日
 調査面積 8 m²
 調査主体 小美玉市教育委員会
 資料保管 小美玉市教育委員会
 報告書名 令和 3 年以降刊行予定

調査概要

五切遺跡は小美玉市の中央部に位置し、園部川に面する標高 20m の台地上に所在する。

調査では、竪穴建物跡 2 棟を検出した。規模及び平面形は、東西 5.9m 以上の方形（古墳 1）及び東西 3.7m の方形（平安 1）を呈する。主な出土遺物は、縄文土器（前期・中期）、土師器（古墳・平安）、土製の支脚がある。

34 頓（徳）化原古墳 08307007

(古墳時代／古墳)

所在地 東茨城郡城里町北方字徳化 1478 番 1 ほか
 調査原因 保存目的の範囲内容確認調査
 調査年月日 令和元年 9 月 1 日～12 月 26 日
 調査面積 3,142 m²のうち 81 m²
 調査主体 茨城大学人文社会科学部考古学研究室
 資料保管 茨城大学人文社会科学部考古学研究室
 報告書名 『頓（徳）化原古墳の研究 - 茨城県城里町史跡の保存目的調査 - 』令和 3 年 3 月

調査概要

平成 31 年度に引き続き調査により、墳丘長東西 37.8 m、南北約 24m（22～30m）の方墳（長方墳）であり、一重の周溝であることが判明した。周溝内に多数の柱穴列が確認されたほか、周囲には中世から近世にかけての墓地が造営されていたことも判明した。横穴式石室は単室構造であり、羨道部は礫敷であること、現状の羨道部天井石が上下逆さまになっていることが判明した。羨道部からは青銅製絞具が出土しており、7 世紀後半の所産とみられる。終末期古墳として茨城県でも代表例の一つであることが改めて確認された。

35 御所内貝塚（第 4 次） 08341031

(縄文時代、古墳時代／貝塚)

所在地 那珂郡東海村大字村松字御所内 2550 番 3
 調査原因 ガス管敷設工事
 調査年月日 令和元年 7 月 2 日～7 月 26 日
 調査面積 34.8 m²
 調査主体 有限会社毛野考古学研究所
 資料保管 東海村教育委員会
 報告書名 『御所内貝塚（第 4 次）ガス管敷設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

調査概要

当貝塚は東海村の南部に位置し、南北両方向から支谷が複雑に入り組んだ台地上に立地している。標高は約 30m である。調査の結果、貝塚周辺に位置する遺物包含層、その下からは土坑 13 基を検出した。遺物包含層からは、縄文時代後期前葉の遺物が多量に出土し、土器捨て場と考えられる。また確認された土坑のうち数基は、墓坑の可能性がある。

36 西大塚遺跡 08202139

(平安時代、中・近世／集落跡)

所在地 日立市久慈町六丁目 5990 番 3、4、5
 調査原因 宅地造成工事
 調査年月日 令和元年 11 月 18 日～11 月 27 日
 調査面積 232.6 m²
 調査主体 有限会社日考研茨城
 資料保管 日立市郷土博物館
 報告書名 『西大塚遺跡 日立市文化財調査報告第 114 集（仮）』令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

日立市南東部茂宮川左岸の台地上、標高約 45m の台地に位置する。この台地は当市において、特に、遺跡が集中する地帯である。

今回の調査は、当市で最大級の範囲を誇る西大塚遺跡の東部が対象となった。平安時代の竪穴建物跡 21 軒のほか、中世から近世にかけての方形竪穴土坑を確認した。当市南東部における、平安時代または中・近世の土地利用の広がりを把握することができた。

37 山尾城跡 (第2次) 08381071

(中世/城館跡)

所在地 日立市十王町友部 600 番ほか
 調査原因 屋内運動場改築工事
 調査年月日 令和2年2月17日～3月30日
 調査面積 400 m²
 調査主体 有限会社勾玉工房 M o g i
 資料保管 日立市郷土博物館
 報告書名 『山尾城跡(第2次)日立市文化財調査報告 第115集』令和2年9月29日

調査概要

日立市北部、標高 50～60mの舌状台地端部に立地している。北端部に本丸を構え、南西側に階段状の曲輪を配置する城郭である。小野崎氏の居館として、14世紀から17世紀初頭まで機能していたものと考えられる。今回は、当該事業に伴う調査対象 1,250 m²の内、400 m²について調査を行った。その結果、本丸とその南東の曲輪(Ⅱ郭)から、堀2条、土坑4基、ピット2基の遺構を検出し、遺物は陶磁器や土師質土器が出土した。

38 太田城跡 08212029

(縄文時代～中世/集落跡、城館跡)

所在地 常陸太田市栄町 102 番 1
 調査原因 道路改良工事
 調査年月日 令和元年6月15日～9月30日
 調査面積 2,800 m²
 調査主体 (株)東京航業研究所
 資料保管 常陸太田市教育委員会
 報告書名 『常陸太田市内遺跡調査報告書 第15集 太田城跡』令和3年3月31日

調査概要

常陸太田市の南部、源氏川左岸の標高 38mの南北に細長く続く台地上に立地している。中世には、常陸佐竹氏の本拠地が置かれた場所である。しかし、ほとんどの遺構は湮滅し、土塁や櫓跡の一部が確認できるのみである。調査の結果、竪穴建物跡 88 棟、土坑 23 基、井戸跡 3 基、太田城に関する堀跡 4 条などを検出した。縄文時代から平安時代にかけて、断続的に集落が営まれていたことに加え、太田城に関する遺構の検出は、太田城跡の縄張を知る上で貴重な手がかりとなった。

39 高山塚古墳及び西天塚古墳 08212080-3・08212080-4

(古墳時代/古墳)

所在地 常陸太田市島町 2374 番ほか
 調査原因 史跡範囲調査
 調査年月日 令和2年2月17日～3月27日
 調査面積 50 m²
 調査主体 常陸太田市教育委員会
 資料保管 常陸太田市教育委員会
 報告書名 令和3年以降刊行予定

調査概要

常陸太田市南部、山田川右岸の標高約 30mの独立丘陵上に立地している。県指定史跡の梵天山古墳群 3 号墳(高山塚)と 4 号墳(西天塚)にあたる。今回の調査では、周溝の有無や両古墳の関係性などを明らかにする目的でトレンチ 3 ヶ所を設定した。その結果、高山塚古墳の墳形は円墳であり、高山塚古墳と西天塚古墳はそれぞれ独立していることが判明した。高山塚古墳の周溝については、いずれのトレンチからも検出されていないことから、周溝を伴わない古墳であると考えられる。

40 大高台遺跡 08214005

(弥生時代～近世/集落跡)

所在地 高萩市赤浜 1883 番 4 ほか
 調査原因 県道建設事業
 調査年月日 平成31年4月1日～令和元年8月31日
 調査面積 7,071 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 『大高台遺跡 北久保B遺跡 一般県道高萩塙線バイパス整備事業地内埋蔵文化財長調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第453集 令和3年3月16日

調査概要

高萩市の北東部、関根川左岸の標高約 45mの台地上に立地している。調査によって、弥生時代の竪穴建物跡 5 棟、古墳時代の竪穴建物跡 7 棟、平安時代の竪穴建物跡 25 棟、掘立柱建物跡 25 棟、土坑 16 基、室町時代の掘立柱建物跡 38 棟、方形竪穴遺構 9 基、火葬土坑 1 基などを確認した。掘立柱建物跡の中には、柱穴の底に石が据えられているものがあり、規模や形状から、日弁上人に関わる寺院施設跡と考えられる。

41 屋敷廻り遺跡 08222033

(古墳時代～中世／包蔵地)

所在地 鹿嶋市大字佐田 391 番 3 ほか
調査原因 道路新設
調査年月日 平成 31 年 4 月 15 日～令和 2 年 1 月 10 日
調査面積 5,547 m²
調査主体 公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
資料保管 鹿嶋市ときどきセンター
報告書名 『鹿嶋市の文化財 第 169 集 屋敷廻り遺跡発掘調査報告書』令和 3 年 3 月 15 日

調査概要

標高約 33m の台地上、鹿島郡家跡から南東約 1 km に位置する。平成 30 年度の調査により奈良・平安時代の集落跡であることが確認された。本年度は、古墳時代、奈良・平安時代の竪穴建物跡 32 棟、平安時代の掘立柱建物跡 1 棟を検出した。また、鉄滓、炉壁を土坑内や竪穴建物跡内から検出し、付近に製鉄炉が存在した可能性がある。中世の土坑内からは、人骨を検出し、溝で区画された墓域が広がることを確認した。

42 鹿島神宮境内附郡家跡 08222078

(古墳時代～平安時代／官衙跡、集落跡)

所在地 鹿嶋市大字宮中 166 番 1 ほか
調査原因 史跡範囲確認
調査年月日 令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 20 日
調査面積 994 m²
調査主体 鹿嶋市教育委員会事務局
資料保管 鹿嶋市ときどきセンター
報告書名 『鹿嶋市の文化財 第 168 集 鹿嶋市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書 41』

調査概要

標高約 33m の台地上に位置する。鹿島郡家跡の郡庁北側から東側の区域において、郡家関連施設の確認調査を行った。調査の結果、郡庁北東で掘立柱建物跡 1 棟を検出し、また郡庁東側の厨家推定域では掘立柱建物跡 3 棟以上を検出した。過去の調査とあわせて郡庁北側の区域では、南北に長い掘立柱建物跡が合計 3 棟、厨家推定域では 8 棟以上の掘立柱建物跡を確認した。

43 一本椎遺跡 08223130

(江戸時代、近代／塚)

所在地 潮来市茂木一本椎地先
調査原因 道路建設事業
調査年月日 平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 5 月 31 日
調査面積 136 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 『熊ノ平古墳群 一本椎遺跡 東関東自動車道水戸線（潮来～銚田）建設事業地内埋蔵文化財調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第 448 集 令和 3 年 3 月 16 日

調査概要

潮来市の北部、北浦左岸に樹枝状に開析された谷津を挟んだ台地上に立地している。塚 3 基とも、それぞれ石造物が設置されており、「寛政十二年」（1800）、「安政七年」（1860）、「大正九年」（1920）の年号が刻まれていることを調査前に確認した。いずれも庚申の年にあたり、石造物にみられる青面金剛や「庚申供養塔」の文字から、これらの塚は庚申塚であることがわかる。また、第 1・2 号塚の底面で硬化面を確認した。基部を構築前に固める工法をとったものと思われる。

44 熊ノ平古墳群 08424079

(旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良時代／集落跡)

所在地 行方市両宿中峰地先ほか
調査原因 道路建設事業
調査年月日 令和元年 6 月 1 日～7 月 31 日
調査面積 960 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 『熊ノ平古墳群 一本椎遺跡 東関東自動車道水戸線（潮来～銚田）建設事業地内埋蔵文化財調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第 448 集 令和 3 年 3 月 16 日

調査概要

行方市の北部、武田川右岸の標高約 20m の台地上に立地している。竪穴建物跡 6 棟のほか、掘立柱建物跡 2 棟や石器集中地点 1 か所などを確認した。掘立柱建物跡は出土した須恵器から、いずれも 8 世紀代と思われる。石器集中地点からは、黒曜石の搔器や、頁岩、黒曜石の剥片などが出土した。

どうごいせき

45 堂後遺跡 083203036

(奈良時代／集落跡)

所在地 土浦市烏山三丁目 935 番 3
調査原因 太陽光発電工事
調査年月日 令和元 11 月 8 日～11 月 30 日
調査面積 約 110 m²
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 土浦市教育委員会
報告書名 『堂後遺跡』令和 3 年 3 月

調査概要

奈良時代の竪穴建物跡 1 棟を検出した。一辺 8 m 程を測る大型の建物跡であり、奈良時代を中心とする須恵器、土師器などの土器のほか、金属器（刀子）も出土している。また、覆土中からは建物跡に伴うものではないが、細石刃核や縄文土器、弥生土器などが出土した。

きさきづかこふん

46 后塚古墳 083203298

(古墳時代／古墳)

所在地 土浦市手野町 2148 番 1
調査原因 保存目的の確認調査
調査年月日 令和元年 12 月 2 日～12 月 25 日
調査面積 約 47 m²
調査主体 土浦市市教育委員会・筑波大学
資料保管 土浦市教育委員会
報告書名 令和 4 年度刊行予定

調査概要

筑波大学との合同学術調査である。主丘部の北側に設けた第 5 トレンチでコーナーをなす墳丘裾部が検出され、前方後方墳であることが確実となった。墳頂部に設けた第 4 トレンチでは、埋葬施設の範囲を明確にすることはできなかったが、古墳の年代を示すとみられる土師器（高坏、小型器台等）が出土した。

おのかまあと

47 小野窯跡 083465043

(平安時代／窯跡)

所在地 土浦市小野 1240 番ほか
調査原因 新治窯跡群把握のための確認調査
調査年月日 令和 2 年 2 月 1 日～2 月 29 日
調査面積 約 20 m²
調査主体 土浦市教育委員会
資料保管 土浦市教育委員会
報告書名 令和 3 年度刊行予定

調査概要

昭和 28 年に調査が行われた第 1 号窯跡付近の標高 60～90m のエリアにおいて、14 か所のトレンチを設定した。第 1 号窯跡より高所において、新規の窯跡 3 基と灰原 2 か所を発見した。

ふじさわやまうしろいせき

48 藤沢山後遺跡 083465043

(縄文時代／集落跡)

所在地 土浦市藤沢 1153 番 78
調査原因 宅地造成
調査年月日 令和 2 年 3 月 24 日～3 月 31 日
調査面積 約 43.5 m²
調査主体 土浦市市教育委員会
資料保管 土浦市市教育委員会
報告書名 『土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報』第 26 号—2019（令和元）年度—令和 2 年 9 月 30 日

調査概要

縄文時代中期末葉の竪穴建物 1 棟を検出した。縄文土器に加え、大型の台石が出土した。

49 一本杉遺跡（第1次） 08205062

(弥生時代、奈良・平安時代、近世／包蔵地)

所在地 石岡市若松一丁目 8307 番 1 ほか
 調査原因 個人住宅建設
 調査年月日 令和元年 7 月 1 日～8 月 7 日
 調査面積 70 m²
 調査主体 石岡市教育委員会
 資料保管 石岡市文化財管理センター
 報告書名 令和 3 年度刊行予定

調査概要

調査地は常陸国分寺跡の西方約 400m、常陸国衙跡の北方約 700mに位置している。遺構は奈良・平安時代の竪穴建物跡 5 棟を確認した。特徴的な遺構としては、SI-5 において東西 2 ケ所で竈が検出されており、検出状況から東から西へ付け替えられているものと思われる。また、硯が出土しており国衙などの関連を想像できる。遺構が密に確認されており、国府近傍に形成された集落の様相が明らかになった。

50 中島遺跡（第2次） 08205020

(縄文時代～平安時代／包蔵地)

所在地 石岡市染谷 1749 番
 調査原因 斎場増築
 調査年月日 令和元年 10 月 1 日～11 月 2 日
 調査面積 478 m²
 調査主体 有限会社勾玉工房 Mogi
 資料保管 石岡市文化財管理センター
 報告書名 『中島遺跡（第2次）石岡地方斎場増築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和 2 年 3 月

調査概要

調査地は、平成 22 年度に実施された第 1 次調査の南調査区と北調査区の間位置する。遺構は 5 世紀前半から 7 世紀前半にかけての竪穴建物跡 4 棟を確認し、古墳時代の集落跡であることが判明した。SI-01 は焼失家屋であり、建物の屋根構造が分かる状況の炭化物を検出した。遺物は古墳時代の土師器のほかに縄文土器、弥生土器、奈良・平安時代の須恵器などを確認していることから、複合遺跡としての様相を呈している。

51 尼寺ヶ原遺跡 08205061

(縄文時代、奈良・平安時代、中・近世／包蔵地)

所在地 石岡市若松三丁目 8641 番 3
 調査原因 個人住宅建設
 調査年月日 令和元年 11 月 18 日～11 月 28 日
 調査面積 35 m²
 調査主体 石岡市教育委員会
 資料保管 石岡市文化財管理センター
 報告書名 令和 3 年度刊行予定

調査概要

調査地は、常陸国分尼寺跡の北東約 150mに位置しており、東に山王川を望む台地の縁辺部に立地している。遺構は 10 世紀ごろの竪穴建物跡 1 棟を検出した。特徴として竈周辺から比較的まとまって平瓦が出土しており、竈の構造材として使用されていた可能性が考えられる。

52 杉ノ井遺跡（第17地点） 08205069

(弥生時代、奈良・平安時代、近世／包蔵地)

所在地 石岡市杉並三丁目 12616 番 1
 調査原因 個人住宅建設
 調査年月日 令和元年 12 月 3 日～12 月 13 日
 調査面積 30 m²
 調査主体 石岡市教育委員会
 資料保管 石岡市文化財管理センター
 報告書名 令和 3 年度刊行予定

調査概要

調査地は杉ノ井遺跡の北部で、南に向かって下る斜面の中腹に位置している。遺構は奈良・平安時代の竪穴建物跡 2 棟を東西に並ぶ形で検出した。いずれも南部が調査区域外に伸びており全容は不明であるが、2 棟とも東西幅約 5 mであった。東側の遺構は貼床に修復痕が見られた。注目される遺物としては底部を欠き、ほぼ同径の須恵器坏がはめ込まれた土師器甕が出土し、当時の使用法を示している可能性が考えられる。

53 中津川遺跡 08205151

(縄文時代、室町時代／集落跡)

所在地 石岡市中津川字富田前 234 番ほか
 調査原因 道路建設事業
 調査年月日 平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 12 月 31 日
 調査面積 4,016 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

石岡市の南東部、恋瀬川左岸の標高 24m の台地上に立地している。縄文時代中期の竪穴建物跡や土坑群、室町時代の屋敷跡を確認した。縄文時代の遺構は、調査区の西側にある谷に沿って密集しており、集落の中心部であたると考えられる。室町時代の馬小屋を伴う屋敷跡を確認した。屋敷は、複数回建て替えられている。また、群集する方形竪穴遺構を確認した。

54 東田中遺跡 08205162

(縄文時代／集落跡、貝塚)

所在地 石岡市東田中字貝柄神田 (市道 5259 号)
 調査原因 道路建設事業
 調査年月日 令和元年 7 月 1 日～12 月 31 日
 調査面積 158 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

石岡市の南東部、山王川左岸の標高 14～23m の谷部に立地している。前回の調査で確認した斜面貝層及び遺物包含層 2 か所の調査を行った。今回の調査区は谷の東際にあたり、縄文土器のほか、石器類や人面を模した土製品、多くの貝殻に混じって牙斧などが出土した。これらの遺物の多くは、隣接する台地上の集落との関連が推測され、当時の生活環境を知る上で貴重な資料となった。

55 神明遺跡 08217034

(縄文時代／集落跡)

所在地 取手市上高井 457 番 4 ほか
 調査原因 個人住宅建築
 調査年月日 令和元年 9 月 10 日～10 月 4 日
 調査面積 120 m²
 調査主体 取手市教育委員会
 資料保管 取手市教育委員会
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

取手市西部の標高約 20m の台地上に位置する。縄文時代後期から晩期にかけて継続した集落跡であることが分かっている、市内の重要遺跡である。今回の調査は、遺跡の南部に位置し、縄文時代晩期の遺物包含層と袋状土坑 1 基を確認した。

56 南 A 遺跡 (第 4 次) 08219181

(縄文時代、古墳時代、奈良時代／集落跡)

所在地 牛久市南 7 丁目 51 番 3、14
 調査原因 宅地造成
 調査年月日 令和元年 12 月 2 日～令和 2 年 3 月 2 日
 調査面積 2,430 m²
 調査主体 牛久市教育委員会
 資料保管 牛久市教育委員会
 報告書名 令和 3 年刊行予定

調査概要

根古屋川左岸の標高約 24m の台地縁辺部に位置する。今回の調査で、竪穴建物跡 12 棟を検出した。時期は、古墳時代前期 7 棟、古墳時代後期 3 棟、奈良時代 2 棟である。竪穴建物跡からは、土師器、須恵器、土製勾玉などが出土したほか、縄文土器も出土している。本遺跡では、これまで縄文土器や土師器等が採集されており、今回の調査で古墳時代と奈良時代の集落が展開していたことが確認されたことは、大きな成果と言える。

57 上境旭台貝塚 08220093 (旧石器時代、縄文時代、奈良・平安時代、中・近世／貝塚、集落跡)

所在地 つくば市さくらの森 23 番 1
 調査原因 店舗兼住宅
 調査年月日 平成 31 年 4 月 3 日～4 月 19 日
 調査面積 43 m²
 調査主体 つくば市教育委員会
 資料保管 つくば市教育委員会
 報告書名 令和 3 年度刊行予定

調査概要

つくば市東部、桜川低地に続く谷津北岸の台地上。調査地は県教育財団調査地の隣地。平成 30 年度は北半部、今年度は南半部を調査。縄文時代後・晩期の土坑 6 基、ピット 23 基を確認。ピットとしたものの中には柱穴と推定されるものと、小型の貯蔵穴に比定されるものがあり、深さが 1 m 超のものもあった。覆土が混貝土層となっているものがあり、使用後に貝等の廃棄場所として利用されている。貝が集中するのは、覆土の中部や下部に多い。貝とともに灰が検出されるものもある。

58 上ノ室野中遺跡 08220500 (縄文時代、古墳時代～平安時代、中・近世／集落跡、墓域)

所在地 つくば市上ノ室字七ツ地蔵 1279 番 1
 調査原因 個人住宅
 調査年月日 令和元年 6 月 5 日～6 月 26 日
 調査面積 111 m²
 調査主体 つくば市教育委員会
 資料保管 つくば市教育委員会
 報告書名 令和 3 年度刊行予定

調査概要

つくば市東部、樹枝状の谷津に挟まれた台地上。縄文時代中期の竪穴建物跡 1 棟、土坑 11 基、炉跡 1 基、遺物集中地点 1 か所、江戸時代の墓壇 1 基などを確認。土坑の平面形は、円形や楕円形を呈し、径 1.5～2 m のものと 1 m 未満のものがある。時期は、加曾利 E I 式期が中心と考えられる。遺物集中地点では炉跡が確認されており、付近に建物があった可能性がある。墓壇は、平面形が円形で、深さ 1.3 m。骨片や六文銭、磁器碗などが出土した。19 世紀のものと考えられる。

59 根崎遺跡 08220213 (縄文時代、古墳時代～近・現代／集落跡、包蔵地)

所在地 つくば市根崎 市道 5-3426 号線地内
 調査原因 市道改良工事
 調査年月日 令和元年 11 月 19 日～12 月 5 日
 調査面積 47 m²
 調査主体 つくば市教育委員会
 資料保管 つくば市教育委員会
 報告書名 『根崎遺跡 市道改良事業に伴う発掘調査報告書』令和 2 年 3 月

調査概要

つくば市南部、高岡川東岸の台地上。古墳時代中期の竪穴建物跡 1 棟、平安時代の鍛冶工房跡 1 棟、近・現代の溝跡 1 条を確認。古墳時代の建物跡は、区画整理事業の際に西半が県教育財団によって調査されたもの (23 号住居跡)。鍛冶工房跡は、竪穴建物の中央に楕円形の炉を有するもので、炉は一度作り直されている。形状や出土鉄滓等から単なる小鍛冶ではなく、精錬工程も行った可能性がある。鍛冶炉はその後埋められ、床面を貼って改築されている。溝跡は、近・現代の道路跡に関連すると考えられる。

60 島名本田遺跡 08220387 (古墳時代～近世／集落跡、墓域)

所在地 つくば市島名字薬師台 1719 番ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 11 月 30 日
 調査面積 5,312 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、谷田川右岸の標高約 24 m の台地上に立地している。調査によって古墳時代の竪穴建物跡 3 棟、奈良・平安時代の竪穴建物跡 8 棟、室町時代の掘立柱建物跡 3 棟、方形竪穴遺構 19 棟、地下式坑 10 基、土坑 9 基、道路跡 1 条、溝跡 9 条などを確認した。巨大な地下式坑群が並んで広がっているほか、墓坑群には煙管や古銭などの身近な品が副葬されていた。室町時代から江戸時代にかけての当地の葬制を知る貴重な資料となるものである。

61 上河原崎前山遺跡 08220379

(旧石器時代、縄文時代、古墳時代／集落跡)

所在地 つくば市上河原崎 403 番 3 ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和元年 8 月 1 日～11 月 30 日
 調査面積 6,871 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、西谷田川左岸の標高約 20m の台地上に立地している。調査によって旧石器時代の石器集中地点 1 か所、縄文時代の陥し穴 1 基、古墳時代の堅穴建物跡 8 棟などを確認した。第 1 号石器集中地点からは、黒曜石の尖頭器や剥片 38 点が出土した。古墳時代の堅穴建物跡 8 棟はすべて中期であり、出土遺物は土師器のほか、舟形土製品やガラス製小玉があり、特筆される。

62 元中北東藤四郎遺跡 08220381

(旧石器時代、縄文時代、古墳時代／集落跡)

所在地 つくば市上河原崎元中北東藤四郎 58 番ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和元年 11 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
 調査面積 27,735 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、西谷田川左岸の標高約 20m の台地上に立地している。調査によって旧石器時代の石器集中地点 1 か所、縄文時代の土坑 2 基、遺物含包層 2 か所、集石遺構 1 か所、古墳時代の堅穴建物跡 63 棟、土坑 58 基などを確認した。堅穴建物跡はすべて古墳時代中期で、多量の土器、焼土や炭化材が出土したものもあり、建物の廃絶行為を考える上で、興味深い資料を得ることができた。

63 島名境松遺跡 08220391

(旧石器時代、縄文時代、古墳時代／集落跡)

所在地 つくば市島名境松 3764 番 2 ほか
 調査原因 土地区画整理事業
 調査年月日 令和元年 11 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
 調査面積 10,124 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、谷田川右岸の標高約 22m の台地上に立地している。調査によって縄文時代の堅穴建物跡 40 棟、陥し穴 1 基、土坑 150 基、古墳時代の堅穴建物跡 6 棟などを確認した。縄文時代の堅穴建物跡からは地床炉が検出され、縄文土器の深鉢や小形壺などが出土した。古墳時代後期の堅穴建物跡からは、脚部に透かし孔の入った須恵器の高杯が出土した。胎土などから東海地方からもたらされた可能性がある。

64 下河原崎高山古墳群 08220054

(縄文時代、古墳時代／古墳)

所在地 つくば市下河原崎 425 番 1
 調査原因 県道つくば真岡線道路拡幅
 調査年月日 令和 2 年 1 月 6 日～3 月 31 日
 調査面積 1,065 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

つくば市の南西部、西谷田川左岸の標高約 25m の台地上に立地している。第 3 号墳は小型の前方後円墳で、板石を組んだ箱式石棺を検出した。石棺の蓋石は、盗掘によりずり落ちていたが、内部からは大腿骨の一部や刀子、土師器片が出土した。

65 清水古墳群 08441160

(縄文時代、古墳時代、平安時代、江戸時代／塚、集落跡)

所在地 稲敷市桑山 446 番 2 ほか
 調査原因 江戸崎下総線道路改良
 調査年月日 令和 2 年 1 月 1 日～3 月 31 日
 調査面積 600 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

稲敷市の南部、利根川左岸の標高約 28m の台地上に立地している。古墳とされていた盛土の調査を行ったところ、やや崩れた方形の塚であることを確認した。盛土の締め具合等から、中世以降に構築されたと推測される。旧表土下から、調査区域外へ延びる古墳時代中期の竪穴建物跡 1 棟を確認した。覆土中からは、勾玉の未製品 1 点と滑石片が出土している。

66 多聞寺遺跡 08461511

(中世／包蔵地)

所在地 かすみがうら市宍倉 5462 番地先
 調査原因 ウエルネスプラザ整備
 調査年月日 令和元年 7 月 14 日～9 月 13 日
 調査面積 649 m²
 調査主体 有限会社勾玉工房 Mogi
 資料保管 かすみがうら市教育委員会
 報告書名 『多聞寺遺跡 かすみがうらウエルネスプラザ整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和 2 年 3 月

調査概要

旧霞ヶ浦町域の北部、菱木川左岸の台地上に立地する。昭和 44 年の工事の際に緡銭が出土している。今回の調査では、15～17 世紀にかけての地下式坑を 8 基確認した。壁溝をもつ第 8 号地下式坑 (15 世紀後半) からは、鱧口、天目茶碗、内耳土器、かわらけが出土した。

67 姥久保遺跡 08464152

(古墳時代～平安時代、室町時代／集落跡)

所在地 かすみがうら市市川字宅地後 18 番 1 ほか
 調査原因 道路建設事業
 調査年月日 令和元年 6 月 1 日～9 月 30 日
 調査面積 1,004 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

かすみがうら市の北東部、恋瀬川右岸の標高 10～20 m の台地上に立地している。緩斜面部で古墳時代後期から平安時代にかけての遺構を多数確認した。これらは平成 19・20 年度に調査した遺構と同時期で、これまでの調査成果を補完する好資料となった。平安時代になると竪穴建物の棟数が増えていることや、建物が廃絶して間もなく、新たな建物が建てられている状況からも、平安時代が盛行期であったことがわかる。

68 宮脇遺跡 (第 7 次) 08443007

(縄文時代～近世／集落跡)

所在地 阿見町大字阿見字宮脇 2355 番 1 ほか
 調査原因 物販店舗建築
 調査年月日 令和元年 5 月 10 日～7 月 13 日
 調査面積 1,989.67 m²
 調査主体 有限会社日考研茨城
 資料保管 阿見町教育委員会
 報告書名 『阿見町 宮脇遺跡 第 7 次調査』令和 3 年 2 月

調査概要

標高約 25m の台地上縁辺部に位置する。今回の調査では竪穴建物跡 55 棟 (古墳 54、奈良 1)、掘立柱建物跡 2 棟、土坑 16 基、溝跡 3 条などを検出した。古墳時代の竪穴建物跡は中期から後期にかけてのもので、集落の北端部に位置している。また、調査区東端で確認した奈良時代の溝跡 2 条は、南北方向に平行して走り、第 3・5 次調査で検出した区画溝に関連していることから、区画の範囲が特定できた。同時期に比定される掘立柱建物跡は、区画の外側で確認した。

69 牛頭座南遺跡 08443216

(縄文時代／集落跡)

所在地 稲敷郡阿見町大字吉原字牛頭座 3539 番 2
調査原因 阿見吉原地区特定土地地区画整理
調査年月日 平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 5 月 31 日
調査面積 595 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 『牛頭座南遺跡 阿見吉原土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書Ⅴ』茨城県教育財団文化財調査報告第 456 号 令和 3 年 1 月 29 日

調査概要

阿見町南部、桂川右岸の標高約 25m の台地上に立地している。縄文時代中期後葉の集落跡を確認した。今回確認した竪穴建物跡 3 棟は、平成 29 年度の調査で確認した竪穴建物跡と同時期で、短期間に営まれた集落であったことが判明した。

70 久能向原古墳群 08541057

(古墳時代／古墳群)

所在地 古河市久能字向原 739 番 1 ほか
調査原因 民間倉庫建設
調査年月日 令和元年 6 月 3 日～10 月 18 日
調査面積 7,150 m²
調査主体 有限会社毛野考古学研究所 茨城支所
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第 22 集 久能向原古墳群』令和 2 年 9 月

調査概要

古河市南部の宮戸川(旧長井戸沼西枝)右岸、標高 16m 前後の台地平坦部に所在する。円墳 3 基の古墳群で、規模は最大周溝外径・墳丘径・墳丘残存高が、1 号墳 45m・36m・1.4m、2 号墳 35m・26m・0.9m、3 号墳約 43m・36m・1.4m を測る。埋葬施設は 3 基とも遺存状態は悪いが、北武蔵や上野の影響を受けたと考えられる角閃石安山岩を使用した胴張複室構造の両袖式横穴式石室とみられる。遺物は須恵器瓶類のほか、鉄刀、馬具、銅鏡、耳環、ガラス小玉などが出土した。

71 三島遺跡(第 2 次) 08543132

(古墳時代～平安時代／集落跡)

所在地 古河市尾崎字三島 487 番ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和元年 8 月 5 日～令和 2 年 3 月 19 日
調査面積 9,908 m²
調査主体 関東文化財振興会株式会社
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第 23 集 三島遺跡(第 2 次)』令和 3 年 3 月

調査概要

古河市北東部の西仁連川左岸、標高 27m 前後の台地上に所在する。平成 30 年度調査区の北側に位置し、古墳時代後期から平安時代の鍛冶工房跡 1 棟を含む竪穴建物跡 92 棟、掘立柱建物跡 42 棟などを確認した。遺物は、細片であるが地元の三和窯群産を中心とした須恵器や土師器が多量に出土した。その他に多くの鉄製品の出土や搬入品である灰釉陶器の出土している。第 1 次調査の結果と併せると、律令期と消長を共にした当地域の開発に関わる集落跡と考えられる。

72 東の門西の門城跡(第 2 次) 08543015

(古墳時代～中世／集落跡、城館跡)

所在地 古河市山田字香取東 1302 番 1 ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和元年 9 月 17 日～令和 2 年 3 月 12 日
調査面積 8,505 m²
調査主体 株式会社東京航業研究所
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第 25 集 東の門の西の門城跡(第 2 次)』令和 3 年 3 月

調査概要

古河市南東部の大川(旧長井戸沼東枝)右岸、標高 20m ほどの台地縁辺部から平坦部にかけて所在する。古墳時代後期の長軸 10m を測る大型を含む竪穴建物跡 72 棟を確認し、多量の土師器、須恵器のほか、鉄製品、土玉、白玉、紡錘車などが出土した。古墳時代後期から平安時代にかけての集落が台地上の広範囲に営まれていたと推定される。また、城館跡の遺構として、室町(戦国)時代と推定される堀跡 3 条や地下式坑、井戸跡などが確認された。溝跡を中心に、カワラケや内耳鍋、陶磁器の他に短刀、刀金具、板碑、石造物などが出土した。

所在地 古河市上和田字鹿相地 954 番ほか
調査原因 県営圃場整備事業
調査年月日 令和元年 8 月 7 日～令和 2 年 3 月 19 日
調査面積 8,940 m²
調査主体 山下工業株式会社
資料保管 古河市教育委員会
報告書名 『古河市埋蔵文化財調査報告書 第 24 集 鹿相地遺跡』令和 3 年 2 月

調査概要

古河市北東部の西仁連川右岸、標高 26m 前後の台地縁辺部に所在する。古墳時代後期から平安時代にかけての集落跡に関わる竪穴建物跡 56 棟、掘立柱建物跡 47 棟などの遺構を確認した。特に中央部の埋設谷の北側で掘立柱建物群が確認され、その性格が注目される。遺物は焼失した竪穴建物跡から、器形をとどめた須恵器の甕、甌が出土している。ほかには、灰釉陶器や銅製の蛇尾が出土しており、有力者の存在がうかがえ、同時期の集落跡が調査された南約 1 km に位置する本田遺跡との関連性が考えられる。

所在地 結城市大字結城字城ノ内 8718 番 1 ほか
調査原因 内容確認調査
調査年月日 令和元年 7 月 29 日～9 月 30 日
調査面積 2,550 m²
調査主体 結城市教育委員会
資料保管 結城市教育委員会
報告書名 『城の内遺跡Ⅱ 遺跡内容確認に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』令和 2 年 2 月 28 日

調査概要

城の内遺跡は、結成家初代の朝光が築いた館と伝わる遺跡である。東西約 180m、南北約 130m の長方形を呈し、外周には堀と土塁が残る。確認調査は、遺跡内部を中心に行い、調査の結果、堀跡、溝跡、方形竪穴建物跡、井戸跡などが確認された。遺物は土師質土器の小皿や陶器(古瀬戸、常滑)、有窓鉢形土器、古銭、刀の釷が出土した。出土遺物から、14 世紀後半に方形竪穴建物跡と 1 号堀古段階、15 世紀前半に 1 号堀新段階、15 世紀後半に地下式坑が位置付けられる。

所在地 下妻市高道祖 226 番
調査原因 倉庫建築
調査年月日 令和 2 年 2 月 3 日～2 月 13 日
調査面積 130 m²
調査主体 毛野考古学研究所
資料保管 下妻市教育委員会
報告書名 『薄久保遺跡』

調査概要

薄久保遺跡の北部にあたる。倉庫の基礎埋設箇所のみ調査であったが、掩体壕の一部と思われる遺構が確認された。他に、縄文時代土器や石器、古式土師器などが出土・採集されている。市内初の戦争関連遺跡の調査事例である。

所在地 常総市古間木 765 番ほか
調査原因 物流センター建設工事
調査年月日 令和元年 7 月 15 日～11 月 15 日
調査面積 4,933.61 m²
調査主体 有限会社日考研茨城
資料保管 常総市教育委員会
報告書名 『茨城県常総市 四ツ木遺跡発掘調査報告書』令和 3 年 3 月 31 日

調査概要

常総市北部に位置し、鬼怒川の右岸標高 20.7m の台地平坦部に位置している。調査の結果、竪穴建物跡 35 棟(縄文中期、古墳、平安)、屋外土器埋設遺構(縄文中期)、屋外炉跡(縄文中期)、土坑 92 基(縄文中期)、ピット群 12 基(縄文中期)、溝跡、井戸跡 2 基を確認した。主な出土遺物は、縄文土器、土師器、土製品、石器、石製品などで、縄文時代中期から古墳時代後期にかけての集落跡である。縄文時代の土坑は、貯蔵穴とみられる。

77 塔ノ内南遺跡 08502133 (縄文時代、古墳時代、奈良時代、鎌倉時代、室町時代、江戸時代/集落跡)

所在地 筑西市内淀字富士山 613 番 1 ほか
調査原因 つくば明野北部工業団地拡張
調査年月日 平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 10 月 31 日
調査面積 13,500 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

筑西市の東部、観音川右岸の標高約 30m の微高地上に立地している。中世の堀の内側に溝跡、掘立柱建物跡、井戸跡などを確認した。古墳時代後期の竪穴建物跡からは、他地域の須恵器や土師器が出土した。また、外周に溝のある特殊な形態の古墳時代の井戸跡を 14 基確認した。

78 談義所遺跡 08218061 (縄文時代、古墳時代、室町時代、江戸時代/集落跡)

所在地 坂東市弓田字腰巻 309 番ほか
調査原因 主要地方道結城坂東線バイパス建設
調査年月日 令和元年 9 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
調査面積 3,038 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

坂東市のほぼ中央部、江川左岸の標高約 15m の微高地に立地している。縄文時代の盛土遺構が厚く堆積しており、下部から縄文時代後・晩期の竪穴建物跡群を確認した。盛土遺構の谷側の裾部からは土坑墓を多数確認した。また、搬入品とみられる瘤付土器、石棒形の石皿や人面付き土版などが出土した。

79 長丁遺跡 08218062 (縄文時代、古墳時代、中世/古墳)

所在地 坂東市弓田字長丁 672 番ほか
調査原因 主要地方道結城坂東線バイパス建設
調査年月日 令和元年 9 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
調査面積 4,526 m²
調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
報告書名 令和 3 年度以降刊行予定

調査概要

坂東市のほぼ中央部、江川左岸の標高約 15m の微高地に立地している。径 5 m を超える大型の井戸跡を確認し、天目茶碗や常滑甕、内耳鍋、宝篋印塔などの遺物が多く出土した。確認した中世の遺構や遺物は、当遺跡の南部に所在する「元屋敷」の地名と関係する可能性がある。

令和3年3月31日印刷
令和3年3月31日発行

茨城の文化財 第59集

編集並びに
発行者 茨城県教育委員会
印刷所 佐藤印刷株式会社

